

記事の内容

No.1482 二〇一六年九月十五日

一面 自治労第八十九回大会（八／二十五～二十六 長崎市）

秋期闘争の方針確認

憲法改正阻止の運動強化

森蔭委員長 大会発言

「県本部体制強化交付金は維持を」

単組強化・組織拡大に必要不可欠

衛生医療評議会 初の総会（八／二十 共済会館）

議長に西神戸労組の飯田さん

県本部大会方針のポイント

尾西書記長に聞く

しこう

いまいち座 俺は最低だ… 吉田ノボ

二面 各評議会の総会報告①

現業評議会総会（八／五～六 舞子ビラ）

直営堅持・正規補充

現・公闘争の意思統一

障害労働者評議会（九／三 共済会館）

オルグで現状や課題確認

交流はかり幹事会参加を

都市公共交通評議会（八／十 県本部会議室）

事業の存続をかけて

都市交のアイデンティティで

全労済県支部単代会議（八／二十三 全労災兵庫県本部）

共済運動広げよう

単組推進委の設置を

但丹ブロック退職者会結成（八／十七 豊岡市内）

初代会長に湊崎さん

声かけ会員拡大めざす

阪淡ブロック 平和学習会（八／二十二 西宮）

原爆の恐ろしさを再確認

爆風で全て吹き飛ば

ひわだ充さんを推せん

二十五日投票の三田市議選

No.1483 二〇一六年十月一日

一面 現業・公企統一闘争

十月二十一日がヤマ場

「直営堅持」全単組で取り組みを
あいばの集会（九／十）

日米軍事演習反対

近畿各地から四〇〇人結集

県人事委員会申し入れ（九／九）

県人事委へ完全較差解消求める

勧告は十月半ばに予定

神戸市人事委員会勧告（九／十三）

〇・18%、一時金〇・一月引上げ

扶養手当見直しは見送り

十一月二十日の丹波市議選

前川豊市さんを推せん

しこう

いまいち座 何故、人は歴史から学ばないのか？

松本真紀子

二面 各評議会の総会報告②

町職連協（九／十四 香美町）

賃金闘争を強化しよう

秋闘、春闘に向けて議論深める

独自要求含め取り組み強化

臨職評（九／十七 神戸市教育会館）

均等待遇実現しよう

「仲間づくり」も意思統一

公共民間協（九／九県本部会議室）

多職種の交流生かし

公契約条例・組織拡大を

第二十九回全国野球大会（九／十一～十三 大阪市内）

神戸市従ベスト四

たたかい抜いた三日間

播磨ブロック新入組合員交流集会（九／九～十 赤穂市）

賃金・権利学習と分散会

バブルサッカーで交流

No.1484

一面 二〇一六年十月十五日

第六十七回県本部定期大会（九／二十二 舞子ビラ）

県本部四万人体制の再構築へ

人勧改善原資の確保

一六年秋季年末闘争 年内決着へ全力

森蔭守委員長 挨拶

平和でなければ 日常の生活営めない

第一環境労組県支部を承認

水道料金徴収など 全国に六千人

えささたかし

私の仕事は皆さんの職場を守ること

報告に関する発言

六人が組合加入 尼崎嘱託労 伊藤代議員

臨職の休暇制度で前進 芦屋指導員労組 森口代議員

しこう

いまいち座 どこ向いて仕事しているの？ 大植賢

組織の総力を結集しよう

方針に対する発言

官民較差解消を追求 県職労 青木代議員

窓口委託は反対 尼崎市職労 玉城代議員

職場がなくなっていく 三田市職労 藪田代議員

率加算・県並地域手当を 明石市職労 大岡代議員

員 前倒し交渉に理解を 南あわじ市職労 村上代議員

員 情報共有化・とりくみ協力を 国保労組 麻生代議員

員 都市交評の更なる発展を 神戸交通労組 森代議員

不誠実団交は許さない 芦屋水労 鳥代議員

管理職比率の是正をめざす 淡路市職労 清水代議員

組織拡大を果たす 猪名川臨職労 本田代議員

臨職ユニオンでの成果 明給労 確永代議員

青年部選出の執行委員が交替

メッセージ一覧

戦争法を廃止しよう（九／十九）

No.1485 二〇一六年十一月一日

一面 二〇一六現業・公企統一闘争

直営堅持を掲げ交渉を展開

諦めないことが何よりも大事

現業・公企統一交渉の状況

明石が二人採用確認

三木苦情処理で前進

現業・公企 対県交渉（十／五 神戸市教育会館）

安全衛生委員会の充実を

県本部単組代表者会議（十／十八 共済会館）

十分な労使協議で対応
県人事委員会勧告(十/十九)
賃金カット解消を強く要請
しこう

二面

いまいち座 喰いものにする悪い奴 大西英剛
各評議会の総会報告③
青年部(九/十七 神戸市教育会館)
新部長に安井さん
政治闘争で学習も
女性部(九/十七 神戸市教育会館)
問題点や悩みを共有して働き方をみつめてみよう
公企評(九/三十 共済会館)
技術の継承が課題
公企労働者の権利をフル活用
青年女性交流集会(十/十二 共済会館)
反合理化闘争の強化を
県本部第十八次沖縄視察団(九/二十四~二十六)
基地建設への警察利用は問題
県本部まんがコンクール結果発表

No.1486

一面

二〇一六年十一月十五日
二〇一六確定闘争
国との賃金格差解消を
拙速な扶養手当の見直し反対
市町振興課交渉(十一/十)
拙速な対応求めない
阪神ブロック申し入れ
官民格差分の完全解消
各地域ブロックで総会開催
阪神淡路ブロック(十一/四 共済会館)
部落解放の取り組み強化
組織強化の課題前進へ
播磨ブロック(十一/一 姫路市民会館)
秋期闘争をたたかう決意を確認
但馬ブロック(十一/九 養父公民館)
単組での問題・課題はブロック全体で支える
しこう
いまいち座 盛土はちゃんとしよう! おやすみ漫
町職連協秋期交流集会(十/十四 佐用町)
確定、人事評価、住宅手当、病気休暇、人員補充
で交流
黒豆収穫祭に二八〇人(十/二十三 篠山市内)

炊き出しの豆ご飯楽しむ
働く女性の交流集会(十/二十三 共済会館)
一人のことを皆で取り組む
職場報告と講演に学ぶ
フォーラムひょうご総会・学習会(十/二十二 ラッ
セホール)

No.1487

一面

二〇一六年十二月一日
二〇一六確定闘争第一波取り組み
四単組がストライキ配置
神戸は扶養手当独自改定
県庁前で決起集会(十一/十二)
人勸進は限界
官民格差の解消を
青年女性部確定決起集会(十一/十一 共済会館)
青年層の声を当局へ
沖縄県民の民意尊重と、基地押し付け撤回を求める
全国統一署名に協力を(案内)
しこう

二面

いまいち座 この先どうなるの? 吉田ノボ
障害労働者評議会要求書を提出(十一/十二)
障害者雇用の推進へ
健康で働き続ける環境を
部落解放研究会で浜さんが講演(十一/六 勤労
会館)
幸せのためにある経済活動
アベノミクスは戦争への道
臨職評交流会(十一/十二 共済会館)
雇用継続の不安や実態を交流
安心・安全な給食を提供しよう
丹波市議選
組織内の議席確保
前川さん再選を果たす
憲法施行七十周年シリーズ①
地方自治は住民の権利
民主主義は多数決ではない
二〇一六年十二月十五日

一面

二〇一七反行革・予算要求闘争
積み残し課題の前進へ
一月二十六日に統一行動日を配置
スキルアップセミナー(十二/二 共済会館)
産別闘争の重要性を学習
模擬交渉でノウハウを学ぶ
二〇一六確定闘争第二波交渉結果
県職労は公民格差完全解消
しこう

二面

いまいち座 安倍・トランプ会談 松本真紀子
第三十六回囲碁・将棋大会(十二/三 共済会館)
囲碁・将棋ともに連覇
高砂三谷さん、宍粟野場さん
人権シンポジウム(十二/四 神戸市内)
殺されている、差別されている民族や出自はな
い!
県本部都市公共交通評議会(十一/二十九)
利用者サービスの向上へ
ティッシュ配布でアピール
連合二〇一七春闘方針
人への投資求める
連合兵庫「絆」基金カンパへ協力を
憲法施行七十周年シリーズ②
自民議員が皇国史観発言
憲法審議会が再開
二〇一七年一月一日 新年号
二面
将来を見据え働き方を見つめ直す 森蔭 守
格差や貧困をなくし
安倍政権の暴走を止めよう
県本部役員・書記
定住、観光ともに増える外国人
多文化共生 ささえる組合員
外国人県民相談
自己決定できる情報を
行政は制度届ける工夫が必要
姫路市
十九言語のパンフ作成
文化発信と、おもてなしの心
書き損じはがきと古本で国際貢献をしよう
環境と経済は共鳴する
キーワードは「命への共感」

No.1489

一面

環境創造型農業のシンボル商品へ
私たちも自治労とともに頑張ります

共済県支部

自治研センター

組織内首長・議員

四 面
新春クロスワードクイズ

総選挙に挑む

兵庫三区予定候補よこはた和幸

No.1490
二〇一七年二月一日

一 面
二〇一七新春旗開き（二／十二 神戸市内）

生活・平和守る取り組み強化

決意固め合う

女性部・臨職評が合同学習会（十二／十一 神戸市内）
大切な私たちの権利知って、行使しよう

川西病院労

川西北部周辺の地域医療を守る取り組み

自治労本部春闘討論集会（十二／十一～十二 東京）

四つの重点課題を提起

全組合員の投票でスト批准の成功へ

しこう

いまいち座 これ以上増やさないで・リテイク大

植賢

二 面
二〇一七春闘

格差是正求め連合に結集

全国統一行動日は三月十七日

県民共闘第三十九回総会（十二／二十 ラッセホール）

あらゆる差別撤廃へ

部落差別解消推進法が成立

個人型確定拠出年金に加入可能に

憲法施行七十周年シリーズ③

国防軍の創設

憲法第九条（前編）

No.1491
二〇一七年二月十五日

一 面
二〇一七春闘討論資料

一・二六統一闘争結果

安定した職員確保を確認

七単組がストを配置

自治労第一五二回中央委員会（二／二十六～二十七 東京）

春闘勝利にむけ方針確立

兵庫からは三木裁判闘争支援を要請

公企評 水道法の改正を学習（二／三～四 共済会館）

交渉出来る体制づくりへ

臨職評学習会（一／二十八～二十九 共済会館）

教宣活動の必要性を確認

グループワークで活動力アップ

しこう

いまいち座 トタンブ旋風 地球をゆさぶる 大西

英剛

二／四 面
格差の解消は春闘から

統一行動日は三月十七日

1 一七春闘をめぐる情勢

2 春闘の具体的な取り組み

3 公務員賃金の改善と地方財政の確立

4 格差是正と公正なワークルールの確立

5 よりよい地域医療・福祉にむけた取り組み

6 組織強化の取り組み

7 反戦・平和、政治活動の推進

二〇一七春闘の行動日程

二〇一七春闘「四つの重点課題」

二〇一七春闘決起集会（案内）

三木市職 措置要求却下は違法

取り消し求め提訴

六栗市市議選

大畑利明さんを推薦

憲法施行七十周年シリーズ④

憲法九条（後編）

集団的自衛権の行使は憲法九条で禁止

障労評電話相談の実施（案内）

新春クイズ当選者発表

No.1492
二〇一七年三月一日

一 面
県本部二〇一回中央委員会（二／十 神戸市内）

一七春闘の方針確認

地域医療・福祉守ろう

六単組から発言も

春闘討論集会（二／十一 神戸フルーツフラワー

パーク）

賃金、公契約条例など四分科会で議論深める

女性部対県交渉（二／十六）

県に子育て支援の充実訴える

子の看護休暇に診断書提出は不要

宝塚市長選

いのちと暮らしを大切に

三期挑戦・中川とも市長

全国署名（案内）

しこう

いまいち座 おやすみ漫

二 面
一七春闘討論集会 分科会の報告

地方財政の確立と地方公務員賃金

多くの単組が格差是正で課題抱える

自治体内最賃と公契約条例

全ての自治体で公契約条例制定を

よりよい医療・福祉に向けて

安心の地域医療・福祉を守る

町職連協の取り組み

交渉力低下改善に向け学習会が必要

障労評 兵庫労働局と交渉（二／十三）

法定雇用率上回る指導を

阪神淡路一七アンケート結果

賃金要求二七、七五五円

課題は欠員補充・臨職の雇用

No.1493
二〇一七年三月十五日

一 面
一七春闘総決起集会（三／四 神戸・東遊園地）

「底上げ・底支え」「格差の是正」

二五〇〇人が集会・デモに結集

中央本部 政府・人事院と交渉実施

賃上げ・超勤縮減を求める

但丹ブロック青年女性部春闘討論集会（二／十七～十八 ユニピアささやま）

公務員と春闘の関係を学習

県本部春闘オルグ

超勤・人員・人事評価で意見交換

労働学校受講生募集中（案内）

しこう

いまいち座 プレミアム フライデー 吉田ノボ

衛生医療評 病院集会（三／五 共済会館）

看護・介護・看護補助の連携を

職場の問題や解決策を考える

衛生医療評 対県交渉（三／二）

地域医療を支える人材確保

環境改善を求める

現業闘争交流集会（三／三 共済会館）

コスト論のみでの骨太方針に危機

憲法施行七十周年シリーズ⑤

非核神戸方式と港湾法

自治体の姿勢が戦争止める力に

No.1494 二〇一七年四月一日

一面 春闘対県交渉

賃金水準引き上げを要請

ラス一〇〇以下の団体へ助言を

播磨ブロック青年女性部 春闘学習会（三／八／十五）

春闘の意義を学習

三・一七統一行動

継続協議を確認

公営競技評春闘学習会（三／十 労金尼崎）

組合活動に観客席はない

自治労カップへの協賛を

しこう

いまいち座 「KAROSHI」ライン超えますか

松本 真紀子

二面 第十二回卓球大会（三／十一 朝来市）

神戸が七度目の優勝

ベストメンバーで王座奪還

地方財政セミナー（三／四 神戸市内）

トップランナー方式は大問題

伊丹市・淡路市 市長選挙

予定候補を推薦決定

憲法施行七十周年シリーズ⑥

共謀罪成立に反対しよう

自由な表現活動 萎縮

盗聴・密告常態化に

労働学校受講生募集中（案内）

No.1495 二〇一七年四月十五日

一面 春闘 最終交渉（三／二十四）

超過勤務の縮減進める

再任用者の本格的活用を検討

障害者春闘二〇一七（四／一 神戸市勤労会館）

相模原事件を忘れてはいけない

加西社協で組合結成（三／二十二）

地域福祉施策の充実を求める

メーデーに結集しよう（案内）

共謀罪反対 緊急署名に協力を（案内）

しこう

いまいち座 ワークライフバランス 大植 賢

充実した職場生活のために

組合で仲間の輪を広げよう！

阪神淡路ブロック水道部会（三／二十五 宝塚市武田尾「桜の園」）

「桜の園」環境保全活動に参加

里山の保水機能を高める

芦屋非正規共闘交流会（三／二十二・二十四）

組織拡大に取り組む

二回の交流会で四人加入

憲法施行七十周年シリーズ⑦

障害者と労働権

人権は一人ひとりに

仕事の達成感が大切

県本部ナースアクション（案内）

二〇一七反行革・組織集会（案内）

No.1496 二〇一七年五月十五日

一面 人員確保・男女平等・夏期一時金闘争

事務事業に見合った人員を要求

安心して働ける職場をめざす

人員確保・男女平等産別統一闘争日程（案内）

夏期一時金闘争日程（案内）

戦争をさせない関西大行動（四／十五 大阪・扇町公園）

市民監視の共謀罪NO

安倍政権の暴走阻止しよう

第八十八回メーデー

長時間労働は正・過労死ゼロ

県内十七地区の三万人

第二十回平和・人権・環境を考える集い（案内）

第三十四回保育を考えるつどい（案内）

しこう

いまいち座 右向け右 大西英剛

三木裁判闘争（四／二十六 神戸地裁）

第一回期日が開かれる

実損回復を求める

まんが集団第三十回例会（四／二十二 県本部会議室）

パーツの配置と単純化

遊び半分で書くのが似顔絵のコツ

都市公共交通評議会 春闘学習会（四／二十 県本部会議室）

政策要求と合わせた通年の取り組み強化を

宍粟・大畑利明さん再選

宝塚など全推薦候補当選

憲法施行七十周年シリーズ⑧

過労死・過労自殺の撲滅にむけて

おかしいと言える職場づくりを

No.1497 二〇一七年六月一日

一面 二〇一七反行革・組織集会（五／十七・十八 加西市）

滋賀県本部小石委員長 基調講演

「やり切った」充実感大切

若者の感性磨く活動を

共謀罪委員会採決に抗議

一〇〇〇人委が元町駅で訴え

ナースアクションで街頭行動（五／七 川西市アステ市民プラザ）

川西市北部に総合病院を残そう

人事院退職手当 厳しい調査結果出される

人事局に十分な交渉求める

第二十七期県本部労働学校（案内）

県本部二〇一七労働安全衛生集会（案内）

しこう

いまいち座 いろいろ付度して・・・ おやすみ漫

臨職評学習会

但馬丹波ブロック

模擬団交で交渉術を学ぶ

阪神淡路ブロック

法改正に向き合う決意固める

自治労カップ少年野球大会

二十四団体が協賛

憲法施行七十周年シリーズ⑨

憲法は国家権力を縛るもの

憲法九条を次世代に

No.1498 二〇一七年六月十五日

一面 第二十回平和・人権・環境を考える集い（六／三 姫路市内）

琉球大学高良教授 記念講演

憲法の原点は人権保障
復帰後も憲法無視

記念講演要旨

臨時・非常勤の法律が改正

今後は単組交渉が重要

阪神淡路ブロック 夏期闘争で人事協申し入れ（五／二十二）

第一五三回自治労本部中央委員会（五／二十五～二十六 松山市）

現業公企闘争は十月に

産別闘争とした取り組み強化を

兵庫県知事選

井戸敏三さんを推薦決定

しこう

いまいち座 「二度あることは三度ある」 吉田ノボ

小野市裁判闘争

原告の訴え届かず

上級審へ控訴したたかう

六・二人員確保統一行動

八単組が正規補充確認

播磨ブロック 新人組合員交流集会（五／十九～二十 神河町）

新入組合員が学習と交流を行う

人との繋がりを作っていこう

島谷さん支える会 第三回総会（五／二十二 明石市内）

必要な補償を遺族の元へ

公務災害認定へ向け方針を確認

淡路地区保育所学習会（五／十七 淡路市ふるさとセンター）

保護者・他団体との連携が大切

しこう

いまいち座 「どこを削れば・・・」 大植賢

宝塚が接戦を制し二連覇

県本部女子バレーボール大会

神崎病院が悲願の初優勝

県本部人権学習会（七／一 神戸市教育会館）

無知・無理解な人が危ない

阪神淡路ブロック 地域医療の重要性を訴える（七／一 川西市内）

現業評議会定期総会（八／四 舞子ピラ神戸）

直営堅持を基本に二〇一七現業公企闘争を推進

しこう

いまいち座 「共謀罪だー」 大西英剛

労働安全衛生月間 地域ブロックの活動

統一的な作業マニュアルが必要

点検により動線など改善

神戸市従退職者会の取り組み

私たちにできる事とは

料理を通して社会貢献めざす

県本部福祉集会のご案内（案内）

しこう

いまいち座 藤井四段 快進撃 松本真紀子

第三十四回保育を考えるつどい（六／十一 明石市民会館）

安心・安全で働きやすい施設を

非正規の処置改善をめざす

反核平和の火リレー

地域で平和考えよう

七月十日、県庁前スタート

但馬丹波ブロック退職者会定期総会（五／十五 豊岡市）

現退一致の取り組みを

会員拡大をめざす

ホームページで最新情報確認

第二回女性組合員交流会（案内）

組織内参議院議員HP紹介（案内）

二〇一七年七月十五日

県本部二〇一七労働安全衛生集会（六／二十九 共済会館）

安全衛生活動の活性化を

職場点検活動のてびきを活用

労働安全衛生集会・講演要旨

長時間労働と健康障害

共謀罪成立

刑法の大原則を覆す

濫用防止が急務

県本部第二十七回労働学校（六／二十八 神戸市内）

結集力を高め交渉力強化を

次世代を担う青年女性が交流

井戸さん五選果たす

しこう

いまいち座 「どこを削れば・・・」 大植賢

宝塚が接戦を制し二連覇

県本部女子バレーボール大会

神崎病院が悲願の初優勝

県本部人権学習会（七／一 神戸市教育会館）

無知・無理解な人が危ない

阪神淡路ブロック 地域医療の重要性を訴える（七／一 川西市内）

現業評議会定期総会（八／四 舞子ピラ神戸）

直営堅持を基本に二〇一七現業公企闘争を推進

ポスティングで住民へ周知

県本部まんがコンクール作品募集（案内）

二〇一七年八月一日

二〇一七人勤期闘争

人事院勧告は八月上旬の予定

公務員給与の引き上げ求める

県本部福祉集会（七／二十二 神戸市内）

制度が現場とあっていない

政策要求を前進させよう

第三十三回平和の火リレーが出発（七／十 兵庫県庁前）

核兵器禁止条約受け「核廃絶を訴えたい」

しこう

いまいち座 「共謀罪だー」 大西英剛

労働安全衛生月間 地域ブロックの活動

統一的な作業マニュアルが必要

点検により動線など改善

神戸市従退職者会の取り組み

私たちにできる事とは

料理を通して社会貢献めざす

木村草太さん講演会（案内）

二〇一七年八月十五日 人事院勧告特集号

二〇一七人勤

四年連続のプラス勧告

月例給〇・二％、勤続手当〇・一月分引き上げ

公務員労働組合連絡会 声明

二面～三面 人事院勧告と報告（二面の続き）

四面～五面 行政職棒給表（二）

六面 行政職棒給表（二）

七面 人事院勧告と報告（二面の続き）

八面 給与勧告の骨子

公務員人事管理に関する報告の骨子

二〇一七年九月一日

一面 近畿地連スポーツ大会（七／三十一～八／一 大阪府内）

野球 宝塚が近畿の頂点に立つ

女子バレーボール 神崎病院は硬さ取れず惜敗

神戸市長選挙（十／八告示 二十二投開票）

久元きょうさんを推薦決定

現業評議会定期総会（八／四 舞子ピラ神戸）

直営堅持を基本に二〇一七現業公企闘争を推進

衛生医療評議会定期総会（八／五 共済会館）

労働条件は労使で決める

働き続けるための病院づくりを

しこう

いまいち座 迷走台風 おやすみ漫

二面 第二回女性組合員交流会

断捨離とは自身の尊重

自分を大切にできる働き方を

公企評 平和・人権・環境委員会（八／三 丹波市内）

「水と親しみ、水を考えるツアー」開催

都市公共交通評議会総会（八／十 県本部会議室）

横の繋がりを強め都市交の団結を堅持

青年女性大交流集会（七／三十～三十一 洲本市内）

あわじ島に七十八人

グループでウォークラリーを

豊岡市議選・新温泉町議選 候補者を推薦決定

* * * *

ネットワーク情報

No.161 二〇一七年六月一日

一面 県本部二〇一七 反行革・組織集会分科会報告

人員確保にむけた課題の分科会報告

臨職等の組織化と処遇改善分科会報告

二面

反行革課題の分科会報告

自治労共済の分科会報告

第二十七期労働学校受講生募集（案内）

No.162 二〇一七年六月二日

一面 兵庫県知事選挙

No.163 二〇一七年六月十五日

一面 県本部の各評議会を紹介①

町職員組合連絡協議会

構成と目的

今後の課題

二面 現在の幹事会体制

全国一般兵庫地方労働組合

結成の歴史

日常活動

組織の特徴

今後の課題

役員紹介（四役）

No.164 二〇一七年六月二十日

一面 県本部の各評議会を紹介②

障害労働者評議会

評議会の紹介

評議会の目標

現在行っている取り組みや課題など

二面 衛生医療評議会

評議会の紹介

活動状況

今後の課題

No.165 二〇一七年六月二十三日

一面 県本部の各評議会を紹介③

青年部

評議会の紹介

役員の紹介

評議会の目標

二面 現在行っている取り組みや課題

公営競技評議会

公営競技評議会とは

役員紹介

評議会構成組織

No.166 二〇一七年六月二十七日

一面 兵庫県知事選挙

投票日は七月二日、必ず投票に行こう！

No.167 二〇一七年六月二十九日

一面 県本部の各評議会を紹介④

社会福祉評議会

役員の紹介

組織と構成

目的

二面 経過と今後の課題

公営企業評議会

評議会の紹介

県本部公営企業評議会四役体制

現在行っている取り組みや課題など

No.168 二〇一七年七月五日

一面 県本部の各評議会を紹介⑤

現業評議会

評議会紹介

課題解決にむけて

役員紹介

二面 女性部

評議会紹介

役員の紹介

女性部の目標

現在行っている取り組み課題

参加要請等（集会、総会、学習会、動員など）

No.169 二〇一七年七月十八日

一面 沖縄視察を契機に平和を考える

平和・人権・環境を考える集い分科会報告

第一 平和・人権を地域で取り組む

第二 在日外国人支援の現状と課題

第三 フィールドワーク 姫路平和資料館

No.170 二〇一七年七月十八日

一面 県本部の各評議会を紹介⑥

臨時・非常勤職員等評議会

臨職評とは

結成の歴史

取り組み

今後の課題

二面 役員の紹介（四役）

公共サービス民間労働協議会

公共サービス民間労働協議会（公共民間協）と

は

No.171 二〇一七年七月二十五日

一面 県本部の各評議会を紹介⑦

都市公共交通評議会

評議会の紹介

評議会役員

評議会の取り組み

当面の日程

- 12日 現業公企統一闘争勝利県本部総決起集会
(県民会館)
- 12日 県本部青年女性現業公企闘争交流会
(ひょうご共済会館)

自治ひろこ



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL 078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail: jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1482号

2016. 9. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円
購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部
書記長/尾西亮太郎・編集人/宮本誠之



尾西書記長に聞く 県本部大会方針の ポイント

「第67回県本部大会のポイント」は？
人事院の勧告は3年連続の引き上げとなったが、原資の配分として地方にない本府省手当を引き上げ、地方との格差がさらに大くなる内容となった。各単組では改めて当局に本来の勧告の主旨を求め、たたかいて進めていかねばならない。また、扶養手当見直しで、配偶者を引き下げ、

他の扶養親族に積む勧告がされたが、拙速な制度の導入反対を基本に各単組での十分な議論ができるよう進めていかねばならない。
運動を進めるにあたり組合員へ一言
全単組で要求書を提出できるように追求する。そのため県本部は学習会の開催やオルグなどを実施する。各単組は、労使交渉による賃金決定を。



長崎で行われた大会では、核廃絶の決意も固めた

本部からは、①厳しい状況の中で「えさきたかし」の議席を獲得できたが、取り組みの課題について総括が必要②人事院勧告の課題である地域間格差解消や、扶養手当の拙速な見直しを

総括では、熊本から震災支援に対する感謝の発言など16県本部、方針では41県本部から発言があった。兵庫は組織強化の支援について発言した(別掲)。
発言では、参議院選挙の総括、人事院勧告対策を含む賃金闘争、反戦平和、非正規の組織化や交付金のあり方などについて意見が出された。

自治労第89回大会

秋期闘争の方針確認

憲法改正阻止の運動強化

させないなど人事委員会対策を強化していく③憲法改正の動きに対する「改憲阻止」や、沖縄の基地問題などのたたかいを強化する④非正規職員の雇用継続については、法改正も含め取り組み。「次世代育成」を重視した交付金を設定する等の見解が表明された。

生医療評議会第1回定期総会



あいさつを行う飯田議長

県本部衛生医療評議会は、8月20日に15単組49人の参加のもと、ひょうご共済会館で第1回総会を開催した。
主催者を代表して飯田雅子議長は「オリンピックでは400リレーで4年間積み重ねてきた練習の成果が発揮され銀メダルを獲得した。労働運動も日頃からの取り組みと継続が成果として実を結ぶと思うので、何事もあきらめず活動が続けてほしい」と、あいさつを行った。
その後、来賓として森蔭守県本部委員長と自治労本部の野村まゆみ衛生医療評議会議長より激励のあいさ

8月20日に初の総会

議長に西神戸労組の飯田さん

衛生医療評

「県本部体制強化交付金は維持を」 単組強化・組織拡大に必要不可欠

大会運営について、限られた時間の中で多くのエン発言を保障するためには理解するが、あまりにも形式的なエ運営になっていないか。検討をしていただきたい。

今回の九州地震について、被災地への支援を引き続き取り組んでいただきたい。阪神淡路大震災当時、ガレキ撤去作業に従事していた明石市職員がアスベスト暴露による中皮腫を発症し、県本部は公務災害認定の取り組みを進めている。本部においても基金本部への働きかけなど、引き続きの支援を要請する。
新たな交付金制度の創設



発言する森蔭委員長

について、県本部では、この間、本部からの交付金制度を活用し「単組運動の強化」や「組織拡大」の取り組みに総力をあげてきた。現状の本部交付金の支援は必要不可欠であり、継続していくことが、極めて重要であると考えている。改めて県本部体制強化交付金の維持を要請する。

いまいち座

俺は最低だ...



吉田ノボ

つを受け、活動報告および活動方針、西神戸医療センター労組の飯田雅子さんを議長に再任する役員体制を全体の拍手で承認した。
総会後は、山田厚甲府市議会議員から「医療をめぐる情勢について」講演を受け、会計制度の変更によって、公立病院が赤字に見える問題を学んだ。

働き盛りの労働者(メンバー)は、独立と言えは聞こえはいいが、放り出されてしまおうのではないかとともに長期間活動してきた仲間との不協和音に、つくづく労働者は弱いと感じる。メンバーを心配する業界や芸能人を見ると、職場会社を超えた様々な人間関係が課題解決や新たなチャレンジには必要と感じる。

しこう

SMAPが解散するらしい。少し前に解散を踏みとどまり、さし者のように暗い顔で謝罪していたので、「まさか」より「やっぱり」の印象。それでも会社経営労働関係で見てしまう。カリスマ経営者の家族的な人材育成でそれぞれの個性を伸ばしてきたのだろう。それが一転、同族経営の風通しの悪さが強調される。高年齢の創業者の世代交代の難しさを、トップに意見できる管理職の不在。社内の派閥もあつたのだろうか。利益を優先すれば取引先も口ごもって当然だろう。結局

自治しゅうこ

1483号

2016. 10. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/尾西亮太郎・編集人/宮本誠之

現業・公企闘争勝利へ

12日 現業・公企統一闘争勝利県本部総決起集会
(県民会館・県民ホール 14:00開会)

12日 県本部青年女性現業・公企闘争交流会
(ひょうご共済会館 10:30開会)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL:078-392-0820 FAX:078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp



県人事委員会へ申し入れを行う交渉団

県人事委へ完全較差解消求める 勧告は10月半ばに予定

県人事委
申し入れ

県本部と県職労は9月9日、県人事委員会に対し申し入れを行った。人事院は、3年連続で月例給及び一時金を引き上げる勧告を行った。しかし較差解消の原資の一部を本府省手当に回すことや、配偶者手当の見直しは、民間企業の支給実態とは乖離したもので納得できるものではない。人事委員会にもこの点を強く申し入れた。人事委員会は、「較差解消の問題は、地方独自ではむずかしい。配偶者手当を含めた扶養手当については、国や他府県の状況も踏まえていきたい」とした。県本部は、県としての立場での勧告を強く求めた。

現業・公企 統一闘争

10月21日がヤマ場

取り組み指標

1. 現業・公企職場の直営を堅持し、公共サービスの拡充・質の向上に向けて人員と予算を確保
2. 総務省通知や県の技術的な助言による国公行(二)の導入という現業差別賃金の復活・強化に反対する
3. 地域公共サービス労働者の組織化、臨時・非常勤職員等の組織化により全体の労働条件の底上げをはかる
4. 公共サービスの質を維持・向上させるために住民との共同運動を進める

県本部は9月22日の定期大会において、「直営堅持」を基本目標に、「欠員の正規による完全補充」を重点課題として、16現業・公企統一闘争を産別闘争として取り組むことを確認した。10月21日には全国統一行動(1時間ストライキ)を配置し、要求実現をめざす。12日には県本部決起集会を兵庫県民会館において開催し、闘争前進に向けた意思統一をはかる。各単組は要求書提出、交渉実施、書面協定締結の交渉サイクルの確立に向け取り組んでいく。

公企職場の迅速かつ柔軟な対応により災害復旧・復興に大きな役割を果たしている。多様な住民ニーズに対応し公共サービスの充実に向けて現業・公企職場の重

9月10日「日米合同軍事演習反対! 戦争法廃止」憲

日米軍事演習反対 近畿各地から400人結集

あいはの集会



残暑の中、各地から結集

法改正阻止! 9・10あいはの野集会」が滋賀県高島市で開催され、近畿各地から400人が参加した。陸上自衛隊あいはの演習

用凍結といった厳しい状況が続くなか、昨年の闘争では粘り強い交渉の積み重ねにより8単組で新規採用を確認する成果が現れた。県本部は9月13日、県市町振興課と県教育委員会に対し、人員確保・労働安全衛生体制の拡充・災害対策などの申し入れを提出して

「直営堅持」全単組で取り組みを

り、10月5日には現業公企闘争委員会として交渉に臨むこととしている。

16現業・公企統一闘争は「現場力を活用し質の高い公共サービスの確立と地域住民との協働関係の構築」をスローガンに県本部は10月13・20日を交渉強化ゾーンとし21日を統一行動日とする。「直営堅持」を基本目標に、現業・公企が持つ権利、団体交渉権・協約締結権を活用し、要求実現をめざそう。

今回の集会へは、先の参議院選挙で10万票以上の差で自民党の現職大臣に圧勝した沖繩県選出の伊波洋一参議院議員も参加し連帯のあいさつを行った。

11月20日の丹波市議選 前川豊市さんを推せん

11月13日告示、20日投票の日程で行われる丹波市議会議員選挙に県本部は、自治労組織内議員で現職の前川豊市さんを推薦し、取り組みを進めている。前川さんは現在3期目。丹波市内在住組合員はものごと友人・知人への働きかけを要請する。



をめぐって市当局との交渉を強めていく。

いまいち座

何故、人は歴史から学ばないのか?



松本 真紀子

しこう

この自治ひょうごも数えること1483号になる。1968年の発行から48年になる。なぜ「しこう」なのか?

調べてみると県本部運動の強化にむけて考えなければならぬこと、気付いたこと、願いや方向思考・指向・志向を「試行」錯誤しながら書こうということらしい。県本部の取り組みをタイムリーで情報提供されるが、どれだけの組合員が読んでるのだろうか?もしかして、4343人(参議院選挙の兵庫県の江崎さんの得票数)だろうか?4343でヨミヨミと語呂合わせでは良さそうだが、それでは悲しすぎる。8月以降、衆議院の解散はほとんど報道されなかったが、2年以内には必ずあるし、3年後には参議院選挙がある。組合活動を機関紙で知ることとは組合員にとって重要であり、今後、組合活動にだけ関心を持ってもらおうか。「しこう」の役割だろう。(しら)

神戸市従ベスト4

第29回全国野球大会 たたかい抜いた3日間



自治労全国野球大会が9月11～13日に大阪市内で開催され、近畿地連代表の神戸市従は全国ベスト4の栄冠を得た。

1回戦は阿南市職労連を8対6で乱打戦を制し、2回戦の黒部市職労戦では1点差を守り抜き3対2で勝利した。

準々決勝は別府市職労と対戦、1点を追う戦いとなったが8回竹田のヒットで逆転し5対4で準決勝へ進んだ。

準決勝の福山市職労連合との対戦は、3試合登板の疲れから津田投手は初回から失点を許し6対1で惜敗した。

各評議会の総会報告 ②



確定闘争勝利にむけ団結がんばろう

町職連協は9月14日に香美町で第45回総会を開催し、10単組35人が参加。

冒頭、高見議長は「今年の人勸も昨年同様不満の残る勧告。各町職単組で独自要求も含め取り組みを強化

独自要求きめ取り組み強化 組織強化と尾西書記長

町職連協

秋闘、春闘に向けて議論深める

賃金闘争を強化しよう

播磨ブロック新入組合員交流集会 賃金・権利学習と分散会 バブルサッカーで交流



均等待遇実現にむけた方針を確認

播磨ブロック青年女性部が9月9、10日にかけて、赤穂市でブロック内の単組から約40人が参加し、新入組合員交流集会を開催した。

はじめに賃金や権利について理解してもらうため、県本部青年部の安井智士書記長が新入組合員用のパンフを使用して説明を行なった。その後、3班に分かれて分散会を実施。休暇の取得状況や一時金の使い道など様々な意見が出された。

2日目は都市職チームと町職チームに分かれバブルサッカー大会を実施。初めて体



都市職チームが激戦を制す

均等待遇実現にむけた方針を確認

外郭団体や社会福祉法人等の労働者が結集する公共民間労組協議会は9月9日、第16回総会を開催し、新年度の取り組みをスタートした。

県本部、地連評議会、大阪府本部所属のウオーターエージェンシー労組から来賓あいさつの後、大野議長は、国保、市町村共済、環境福祉、指定管理者等の多職種にわたる協議会での交流を単組の取り組みに生かすことに加え、政治活動、平和運動の重要性を訴えた。

活動方針では、秋闘、春闘の要求書提出の基礎的活動に加え、公契約条例、組織拡大、自主福祉活動の方針を承認した。

多職種の交流生かし 公契約条例・組織拡大を

公共民間協

均等待遇実現しよう 「仲間づくり」も意思統一

臨 職 評

県本部臨職評は9月17日に神戸市教育会館で、27単組58人が参加し第22回定期総会を開催した。

前田克子議長は、「働き方改革」とあわせ、同一労働同一賃金の議論が進められている。また、総務省は任用のあり方研究会をつ

事務局次長、当面の活動方針は田中副議長が提起した。参加代議員からは「政治活動の総括が必要」「東北派遣や早期退職募集制度について詳細を」などの発言があった。

総会終了後は町職単組の組織強化のため、尾西県本部書記長から講演を受けた。

くり協議をはじめている。こうした動きの中で、私たちが求めてきた均等待遇な

どを実現しよう」とあいさつを行った後、経過報告、活動方針(案)、新役員選出は全て全体の拍手で承認された。

総会後の学習会は高松市非常勤労組の美馬真弓さんを迎え「仲間づくりの取り組みについて」講演を受けた。

なお、今大会で長年議長など役員を歴任された芦屋指導員労組の森口知子さんが勇退した。

ZENROSAL NEWS
5113G265

今から 未来のわたしのために
できること、
あります



※ご契約にあたっては
パンフレットを
ご覧ください

税制適格年金

新団体年金共済

- 退職後の保障を年金に絞り、在職中に掛金を積み立てる制度です
月払コースは5,000円or10,000円
- 積み立て期間中の掛金は、年末調整の「個人年金保険料控除」の対象となります
- 団体生命共済とともに、ぜひご加入ください

退職後の安心は
「年金」で!

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済本部
全日本自治体労働者共済生活協同組合

ご不明な点があれば、
まずは組合にご連絡ください。

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

当面の日程

- 18日 県本部単組代表者会議（ひょうご共済会館）
 21日 現業・公企闘争統一行動日
 22日 平和友好祭第59回兵庫県祭典（神戸市内）
 23日 県本部第9回黒豆収穫祭（篠山市坂本公会堂）
 23日 働く女性の交流集会（ひょうご共済会館）

自治しゅうご



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL 078-392-0820 FAX 078-392-0920
 http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail: jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1484号

2016. 10. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円
 購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部
 書記長／尾西亮太郎・編集人／宮本誠之



あいさつを行う森蔭委員長

平和で 日常の生活営めない

まずは4月の熊本地震については1日も早い復興をお祈りする。この間のボランティア支援活動など、自治労の復旧

のとりくみに各単組の協力を得てとりくんだ。いま1つは7月の参院選、安倍1強に対し民主主義を守るためにかしとして組織内えさきとかしと選挙区のみずおか俊一の必勝に向け取り組んだ。えさきは再選を果たしたが、兵庫では働く者の議席を失うこととなった。結果については改めて総

括を進めていきたい。大会の重点課題は組織の強化、拡大、秋季年末闘争と現業・公企統一闘争、平和人権環境を守るとりくみ強化の3点。組織の強化、拡大については、新人・臨職・未加入未組織の組織化を進め4万人を切る状態を回復したい。秋季年末闘争、人動は3年連続のプラスの仲間とともにたたかっ

た結果。昨年は政府の対応により越年を余儀なくされた。今年は年内の決着がはかれるよう全力で取り組む。最後に平和人権環境を守るとりくみ。改選勢力が衆参で3分の2の議席、改選をやりつとていばやれる状態がつくられれば日常の生活は営めない。私たちの代表を国会に送り出していくことはきわめて大切。議案を補強してほしい。

県本部4万人体制の再構築へ



賛成多数で原案どおり可決

報告の部では、尼崎嘱託労から格差是正を求め非組合員も含めた団体署名で組合員を拡大した取り組み、芦屋非正規3単組から当局の不意誠実対応で交渉決裂、一時金受け取り拒否でたたかい、休暇制度を改善した取り組みの発言があり、報告事項は承認された。

人勧改善原資の確保 16年秋季年末闘争 年内決着へ全力

県本部は第67回定期大会を9月22日、舞子ビラで開催した。大会では、「県本部4万人体制の再構築」「賃金闘争の強化」「平和人権環境を守る取り組みと政治闘争の強化」を柱にしたたかう方針を確立した。また、第1環境労働組合兵庫県支部が新たに自治労の仲間に加わった。

大会は、議長に西村代議員（三田市職労）、岡本代議員（市川町職）を選出し、議事をすすめた。森蔭委員長が執行部を代表してあいさつした後、自治労本部荒金副委員長、近畿地連石子議長、連合兵庫辻会長をはじめ、行政機関各級議員、組織内首長、福祉団体など多くの来賓からあいさつを受けた。

全国に6千人

第一環境労働組合支部を承認

県本部は県内の第一環境株式会社受託業務実態調査をきっかけに、労働実態の把握や学習を行い、第一環境労働組合支部を承認した。加盟にあたり山下和記支部長は「私たちは水道料金徴収を柱とした業務に従事

し、全国に6千人が働いているが、今後の労働組合活動を通じて兵庫県内組合員の生活向上をめざし、取り組んでいきたい。皆さんのご指導・ご鞭撻をお願いしたい」と決意を述べた。

働きの部では、11単組から発言があった。賃金闘争に関連して、較差解消は本俸で扶養手当の拙速な見直しは反対。一方的な昇格運用の改善に対する取り組み、窓口業務の民間委託反対の取り組み。不誠実交渉で労働者多数で採択された。

報告に関する発言

6人が組合加入

尼崎 伊藤代議員
 嘱託 労働者

経験を積み、何十年と働いているが、当局は経験を認めず昇給もない。今回、市で働く嘱託職員600人に「賃金表確立」「経験加算」を求める署名組合加入を呼びかけた。署名アンケートには1500人が答えてくれ、6人が組合加入にいたった。組合員以外の仲間にも声をかけていくの大切さを実感。署名は明日提出する。▼答弁とあわせ、法改正など政治闘争も重要。ともに頑張る。

私の仕事は皆さんの職場を守ることに

大会には、えさきとかし参議議員がかけつけた。参院選挙のお礼に続き政治情勢に触れたえさきさんは、「政府は地方自治のための財源を地方を縛るために利用している。地方財政確立の運動が必要と強調した。

局は経験を認めず昇給もない。今回、市で働く嘱託職員600人に「賃金表確立」「経験加算」を求める署名組合加入を呼びかけた。署名アンケートには1500人が答えてくれ、6人が組合加入にいたった。組合員以外の仲間にも声をかけていくの大切さを実感。署名は明日提出する。▼答弁とあわせ、法改正など政治闘争も重要。ともに頑張る。

昨年、確定で臨時職員への「感謝」を求めたが、「他市にない」との理由で前進しなかった。非正規共闘は一時金受け取り拒否、越年してたたかった。県本部、ブロックの仲間の支援で臨職の休暇制度は正の成果を引き出し妥結した。有給の制度化へ引き続き検討することを確認した。実態からのたたかいと組織内議員の必要性を実感した。▼取り組みに敬意を表する。格差是正へ県本部も精いっぱいたたかう。

現在政府は「日本1億総活躍プラン」や「女性活躍推進法」など、気持ちが高揚する方針を流している。また、短時間労働者の社会保険制度は週30時間から週20時間以上（他に条件あり）で適用の拡大が10月から施行になった。しかし、130万円の壁がある。1300万円を少し超え、自分で厚生年金や社会保険料を負担すれば、今までより、手取りは減る。ことなる。長時間働けない事情があるからパートなのだ。時間延長をして収入増することは厳しい。106万円の壁もどうだ。扶養の範囲内で106万円を意識しながら超えないように時間調整して働こう。この動きで内勤の功を發揮している。▼民進党の連動代表や東京都知事の小池さん。最近テレビで顔をみない日はない。女性の柔軟な考え方が、女性が働きやすくなる道づくり、インフラ整備をまずは行ってみたい。

いまいち座

どこ向いて仕事してるの？



大植 賢（豊岡市職労）

組織の総力を結集しよう

方針に対する発言

官民較差解消を追求

県職労 青木代議員



人勧は較差解消の原資を本府省に手当てに配分する。昨年は地域手当への配分が、県職労は同手当てが組合員に行き渡るよう取り組んだ。兵庫の地域手当は、まだ完成形が示されていないため、今年も較差解消とあわせて交渉することになる。また、9年目となる賃金カットを回復させることも大きな課題。

窓口委託は反対

尼崎 市職労 玉城代議員



今年1月、当局は組合との十分な協議なく市民課窓口を委託した。組合が心配した通り、窓口

局。職場を守るため雇用問題へのとりくみの一層の強化を。▼組合軽視にしっかりと対応していきたい。

率加算 県並地域手当を

明石 市職労 大岡代議員



人勧の改善原資の内、206円は本府省業務手当。人勧通りの給料表改定では官民格差が解消できない。一定率加算など人勧上回る給料表改定が必要。また地域手当は0・15%の格差がある。県に準じた地域手当支給のとりくみ。

管理職比率の是正をめざす

淡路 市職労 清水代議員

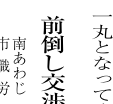


淡路市では4級在職は8年で5級昇格運用を労使確認しているが守られていない。今年4月の異動で多くが管理職の範囲である副課長へ任用され、管理職比率が27%を超え正常な組織構成にむけ交渉を進めている。一時金傾斜配分の改善も引き続き取り組みを強める。また、非正規の雇用安定を求め署名活動を実施。県本部の支援を要請す

み。不当な格差の解消へ県下全体がとりくめるよう指導を。アスベスト公災認定闘争は認定されるまでと

前倒し交渉に理解を

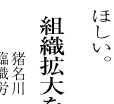
南あわじ 市職労 村上代議員



県本部統一行動日の11月18日、25日を早めに設定できないか。この時期は単組の役員交替直後と

組織拡大を果たす

淡路 市職労 本田代議員

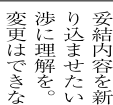


これまで児童保育事業で活動してきたが、今年2月からクリンセンターの臨時職員も仲間に加わり組織拡大を果たした。今後は他職種にも説明会を開催し、更なる組合員拡大をめざす。また、今年度か

なり、複数年体制が定着していないのとりくみが大きく変。また、この間の交渉では人勧通りを越えていないので、人勧が出たら交渉できる。そして当局の予算編成に合わせた日程、10月末日限で交渉して単組独自の交渉内容を新年度予算に盛り込ませたい。前倒しの交渉に理解を。▼統一日程の変更はできない。人勧を上回る、統一日程に結果する

情報共有化ととりくみ協力を

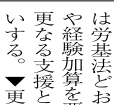
国保労組 麻生代議員



国保の財政運営は厳し

不誠実外交は許さない

芦屋水道 島代議員



芦屋市水道当局は今年の夏期一時金闘争で不誠実な

く、18年度より財政運営の軸は各市町から県へ移行される。県で標準保険料の算定、各種事業の円滑効率化を行なっていく。各市町の窓口業務等はそのまま行なうが、制度変更による労働環境の変化への対応や労働条件が改善にならないよう、情報共有し、各単組と協力してとりくみを進めたい。理解と協力を。▼

都市交渉の更なる発展を

神戸交通 森代議員



尼崎市交通局事業廃止に対する取り組みについて、尼崎市営バス事業は3月事業廃止され阪神バスへ譲渡

メッセージ

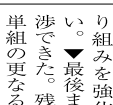
自治労関係

北海道、秋田、山形、福島、群馬、栃木、茨城、埼玉、東京、神奈川、富山、石川、静岡、愛知、岐阜、三重、滋賀、奈良、和歌山、大阪、岡山、広島、鳥取、島根、山口、香川、徳島、愛媛、高知、福岡、佐賀、宮崎、熊本、鹿児島、全労済自治労共済本部

し、尼崎交通労組は解散したが、県本部の重点的課題として尼崎市交通局民営化対策会議を立ち上げ、最善の回答を引き出すべく尽力いただき感謝を申し上げます。県本部内の都市公共交通協議会は神戸交通労組と伊丹交通労組の2単組となるが、公共交通の存続発展のため連携した取り組みを強化していきたい。▼最後まで粘り強く交渉できた。残された交通2単組の更なる県本部結集を要請する。

青年部選出の執行委員が交替

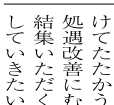
青年部としてたくさんとりくむ課題がある。ていねいに一つ一つ取り組んでいきたい。よろしくお願ひします。



専従も含め、3年間いんなことを経験した。今後は単組から県本部運動を進めていきたい。3年間ありがとうございました。

戦争法を廃止しよう

戦争をさせない1000人委員会



9月19日、元町、尼崎、姫路の3市で「毎月19日行動」を行った。この日は安倍政権が安全保障関連法を強行採決しようとして、1年の節目「戦争法を廃止にしよう」「二度と戦争で命が奪われることのない社会をめざそう」と訴えた。各ターミナルには労働組合、市民ら30人強が参加した。

団体交渉を行ってきたため、強く追及したが当局は「少数組合は大きな組合が妥結した内容には従えない」という文書が出された。このため、兵庫県労働委員会へあつせん申請を行い、今後は誠実な交渉を行うとのあつせん案を背景に交渉を進めていく。また、県本部の要求書に、再任用職員の労働条件向上にむけた内容を取り入れてほしい。▼今後の運動について県本部としてもしっかりと対応していく。

青年部選出の執行委員が交替

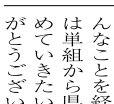
3年間いろんな経験



青年部としてたくさんとりくむ課題がある。ていねいに一つ一つ取り組んでいきたい。よろしくお願ひします。

戦争法を廃止しよう

戦争をさせない1000人委員会



9月19日、元町、尼崎、姫路の3市で「毎月19日行動」を行った。この日は安倍政権が安全保障関連法を強行採決しようとして、1年の節目「戦争法を廃止にしよう」「二度と戦争で命が奪われることのない社会をめざそう」と訴えた。各ターミナルには労働組合、市民ら30人強が参加した。

自治しゅうご

1485号

2016. 11. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円
購読料は組合費に含まれる。自治労兵庫県本部
書記長/尾西亮太郎 編集人/宮本誠之

当面の日程

- 1日 播磨ブロック定期総会(姫路市民会館)
4日 阪神淡路ブロック定期総会(ひょうご共済会館)
9日 但馬丹波ブロック定期総会(養父公民館)
11日 秋季闘争勝利! 青年女性決起集会(ひょうご共済会館)
11日 2016確定闘争勝利! 県本部決起集会(県庁2号館前)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

補強案などを協議

県本部は、10月18日に単組代表者会議を開催し、賃金確定闘争の補強案や人事

十分な労使協議で対応

部
本
会
議
単
代
表

評価制度への対応などについて確認した。
今年の人事院勧告は、月例給と一時金を引き上げる勧告を行った。しかし、較差の一部が地方にない手当ての引き上げに配分されたとや、民間の支給実態から乖離した配偶者手当の削減など課題が多い。
国との較差解消をめざす月例給の較差708円の

うち、本府省業務調整手当引き上げに配分された206円について、人権準拠では国と地方との格差がさらに広がることから、較差解消をめざす。
具体的には、①給料表での調整(給料月額に一定率を乗じた制度調整または定額加算)②一時金の調整(上乗せ)③手当ての調整(上乗せ)④昇給改善(1号特昇

など、較差解消をめざす。配偶者手当の削減に反対。給与実態調査では、配偶者手当について企業の77.6%が見直し予定がない。配偶者手当が1万3千円から6500円に減額されると、年間10万円以上の賃金カットとなる。扶養手当の拙速な見直しには反対していく。
地方における手当支給状況や雇用環境も踏まえた十分な労使協議に基づく対応が求められる。

県人事委員会は10月19日、県知事と県議会議長に給料表平均0.2%、一時金0.1%引き上げる等の「報告勧告」を行なった。県職員と民間給与との格差は3411円(0.83%)であり、給料表を引き上げて埋まらないう格差を地域手当で措置することとなった。扶養手当見直しについては、適切な

措置を講じることとされたが、実施時期については国と同様でなくとも良いことを確認した。県独自の賃金カットについては、解消方針を明確にし、確実に実行されることをこれまで以上に強く要請する内容となった。現給保障については、「本県事情」も昨年から変更がないことを確認した。



大西英剛

2016現業・公企統一闘争

直営堅持を掲げ交渉を展開



決起集会で統一闘争への結集を確認

2016現業・公企統一闘争が10月21日、1時間ストを背景にたたかわれた。「直営堅持」を基本目標に掲げ、「欠員の正規職員による完全補充」を重点課題に、要求実現に向け11単組がストを配置した。10月12日県民会館で開催した決起集会には240人が参加した。あいさつに

の骨太方針2015での公的サービスの産業化に基づく外部委託化への圧力が強まることを踏まえ、安全、安心の公共サービスを提供できる体制の確立、災害時対応などライフライン確立が急務。技術の継承のためにも新規採用を勝ち取ろう」と結集を呼びかけた。

また、闘争委員会の吉田秀夫事務局長より、「直営堅持」を基本目標に団体交渉権、労働協約締結権の権利を活用し、「要求交渉・妥結(書面協約)」の交渉サイクル確立をめざす方針が提起された。

各ブロック決意表明では勤務労働条件や、臨時非常勤等職員の処遇改善が報告され、赤穂市労連の室井孝志さんが、「現場から諦め

ず」に要求を訴え、今年4月に3人が採用された。今年も粘り強い交渉で2人の採用を確認した。諦めないことが何よりも大事」と訴えた。

集会後はJR元町駅でビラを配布し市民へのアピール行動を行った。

諦めないことが何よりも大事

現公統一交渉の状況

明石が2人採用確認
三木苦情処理で前進

10月21日の統一行動日に、11単組がストを配置し交渉を展開。宝塚市職労では、定数職場は正規職員で配置することを確認。明石市職労は昨年

に、11単組がストを配置し交渉を展開。宝塚市職労では、定数職場は正規職員で配置することを確認。明石市職労は昨年

現業公企 安全衛生委員会の充実を

県本部現業・公企闘争委員会、現評、公企評は9月13日、16現業・公企闘争に関する申入書を県に提出。10月5日に神戸市教育会館で市町振興課、教育委員会と交渉を行った。

交渉冒頭、回答期日に回答が示されなかったことに、互いの信頼関係を保つうえで県当局の姿勢を正し

た。労働安全衛生体制で県は、法令上設置が義務付けられている自治体は全て安全衛生委員会の設置がされていると回答。交渉委員から設置はされていない運用がされていない実態があることや設置義務のない職場であつても設置し、安全衛生の確保をはかるよう強く求め、県当局の安全衛生の

希薄とも考える考え方を追及した。また技能労働職員の賃金決定等、労働条件に関する決定は労使協議で合意が前提であることをあらためて確認した。



県の考え方を追及する交渉団

明らかだ。自衛隊員に犠牲が出たらどうするのか?衆参で改憲勢力が3分の2を超えたことを受け、安倍首相は憲法改正の議論を進めていくと表明した。今こそ「戦争への道」を断ち切らなければならない。(誠)

しこう

政府は、安全保障関連法で可能になった「駆けつけ警護」を、南スーダンにPKOで派遣されている自衛隊の任務に付与する方向で検討をはじめた。安倍政権は、集団的自衛権の行使の閣議決定、安全保障関連法の成立、実行と着々と「戦争への道」を歩みはめている。その先は、憲法第9条を改正して国防軍の創設である(自民党憲法改正草案)▼

県本部まんがコンクール 結果発表

大笑

県本部は「ベット」と「オリンピック」をテーマにまんがコンクールを開催。11作品が寄せられ、厳正な審査の結果、大笑は豊岡市職労OBの池上見さんの作品「さじは投げるな!!」が見事大笑に輝いた。



おもしろ笑3作品







新部長中央に安井さんを選出

16年度経過報告、17年度活動方針の提起を受けた質疑では、神河町職の石橋代議員から「民間出身者が増加し、新卒で採用された職員と賃金格差がある。その改善に向け取り組みたい」と青年層の課題が出され

新部長に安井さん 政治闘争で学習も

青年部第20回総会

各評議会の総会報告 ③

青年部は9月17日、神戸市教育会館で第20回総会を開催し、新部長に安井智士さん(香美町職)を選出した。34組52人が参加した。冒頭、藤原敏也青年部長は人勤今年青年部で取り組んだ参院選挙、反合理化闘争の成果や課題に触れ、「みんなで一緒に頑張るための意思統一をはかる場にしよう」と総会の意義を訴えた。

女性部 問題点や悩みを共有して 働き方をみつめてみよう

県本部女性部は30組48人の参加で9月17日、神戸市教育会館で第20回定期総会を開催し、来年度の運動方針を確認した。総会後には分散会交流の時間を設け、職場実態を議論した。総会では本部女性部の毛利珠代常任委員、県本部森

藤原執行委員長、I女性会議の加納花枝代表から激励のあいさつを受けた。分散会交流では、「働き方をみつめてみよう」をテーマに、年休、超勤、権利の取得の悩みや仕事と家庭の両立など様々な問題点や悩みを共有した。なお、役

技術の継承が課題

公企労働者の権利をフル活用

公企評

県本部公営企業評議会は、9月30日にひょうご共済会館で第18回総会を開催した。10組から27人が参加し、活動経過報告や運動方針案、四役体制を確認した。はじめに甘中章二議長は、「水道職場の人員削減、



あいさつを行う甘中議長

高齡化が進み、技術の継承

や施設の更新など課題も多い。当面する現業・公企統一闘争において、我々に与えられている団体交渉権、協約締結権をフルに活用しながら取り組んでいってほしい」とあいさつした。総会終了後は、兵庫県企画県民部企画財政局市町振興課上野幹より「地方公営企業等の現状と課題について」兵庫県水道事業のあり方懇話会での議論経過を交え記念講演を受けた。



分散会で問題提起する藤原潤子さん

員体制は引き続き藤原潤子部長(明石市職労、川上久美副部長(豊岡市職労、前垣志穂書記長(八鹿病院職組)の体制を確認した。

青年女性交流集会

反合理化闘争の強化を

青年部・女性部は現業公企闘争総決起集会の午前交流集会を実施し、現業公企闘争の意義を学習した。安井智士青年部長は、「現業や公企職場の委託化で自治体のノウハウが低下している。反合理化闘争の課題と位置づけ取り組みを強化しよう」と述べた。講演は青木慎吾現業公企



熱心に講演を聞く参加者

県本部第18次 沖縄視察団 基地建設への警察利用は問題

参議院選挙以降、安倍政権は沖縄県民の民意を踏みにじり、新基地建設を強行している。県本部の高江では機動隊・自衛隊を導入して県道封鎖や重機移送を行い、辺野古では和解協議を反故にし、訴訟を起した。緊迫する情勢の中、9月24・26日、県本部は第18次沖縄視察団を取り組み、32

人が参加した。26日には、沖縄の現状を自治労組織内の仲村未央県議から説明を受けた。政府が警察を基地建設に動員している現状に触れ「戦後の民主化政策で『政治的中正』など警察権力に制限をかけてきた。警察利用は民主主義の問題だ」と訴えた。視察団は、ひめゆり記念



仲村県議(中央)より説明

長期共済

在職中：新団体年金共済
退職後：新団体年金共済 個人年金共済 個人長期生命共済 終身生命共済

退職後の保障に備え、在職中に掛金を積み立て、退職時に保障を選択する制度です。
団体生命共済とのセット加入で、在職中から退職後まで安心が続きます。



退職後も安心!!

いつでも、あなたの笑顔が見たいから...

③契約にあたってはパンフレットを③願ください。



全労済 自治労共済本部

全日本自治労労働者共済生活協同組合

ご不明な点がございましたら、まずはお問い合わせください。

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいた組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

自治ひょうこ

1486号

2016. 11. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/尾西亮太郎・編集人/宮本誠之

確定闘争に勝利しよう

第1波統一行動日 11月18日

第2波統一行動日 11月25日



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

確定闘争勝利にむけ意思統一

各地域ブロックで総会を開催



あいさつをする酒井議長(中央)

**部活解放の取り組み強化
組織強化の課題前進へ**

阪神淡路ブロックは、11月4日に、ひょうこ共済会館で第46回定期総会を開催した。

24単組62人が参加し2016年度の総括、2017年度の活動について討議をした。

深め、今後1年間の方針を確立した。

総会では、酒井ブロック議長、森田県本部委員長、自治労組織内議員の堀川宝塚市議、綿瀬尼崎市議から来賓あいさつを受けた。

報告・方針にかかわる質疑では、芦屋非正規3単組共済の感染症休暇のたたかい、尼崎市窓口業務委託問題のとりくみ、公立病院を取り巻く課題、三田市学童保育の民間委託の課題などが報告されたほか、部活解放の取り組み強化や組織強化の課題、確定一時金闘争にむけた取り組みについての要望が出された。

**秋季闘争をたたかう
決意を確認**

播磨ブロック定期総会では、11月1日姫路市市民会館において、31単組78人の参加で開催した。

総会では、明石市職労から「較差解消のために原資配分の追求を統一闘争として取り組むべき。引き続きアスベスト公務災害認定闘争に支援を」との意見や、三木市職から「三木市独自の給与改善に対し、措置要求を取り組むが、却下の判定。今後は、裁判闘争を取り組む」との発言、神河町職からは「昨年青年女性



あいさつをする宮本議長(中央)

**単組での問題 課題は
ブロック全体で支える**

但馬丹波ブロックは11月9日に養父公民館において第46回定期総会を開催し全体の拍手で議案すべてを承認した。

主催者を代表し隅田龍議長は、「今年の年功では、官民格差708円のうち、正規職差708円のうち、3単組4人が発言した。足立育生ブロック事務局長は、「補強意見として方針に反映したい。各単組の取り組みを広げていただきたい」と答弁し、報告議案は採択された。



10単組38人が参加

り組を強化して「こう」とあいさつをした。

また、森田守県本部執行委員長からは「労働者の格差が広がり、非正規職員が増加している。人動により都市と地方との較差も広がっている。働く者が安心して暮らせる社会にするため、自治労に結集し闘争強化を」とあいさつを受けた。

館に「ガマ」の様子が表示されている。そこでは、日本兵の持つ銃剣の向きがその時の政治状況により、ガマの中の住民と入口(敵)の間を行き来するようだ。『つちが真実だったのか』私たちがそれを見極める力を持たなければならぬ。

市町振興課を追及する交渉団



賃金確定闘争は、11月18日、25日に県本部統一行動日を配置し、たたかいます。人事院勧告に基づく月例給と一時金のアップなど賃金水準の引き上げはもたらんであるが、広がる国との賃金格差の解消や、扶養手当の見直しなどが課題となっている。各単組の統一した行動で要求の前進をめざす。

2016賃金確定闘争は、賃金水準確保のため県本部大会で確認した取り組みの柱に基づき、県職労、都市職は独自要求書を、町職は統一要求書を提出し交渉をすすめている。

県本部は、10月18日に単組代表者会議を開催後、県

内金単組オルグに取り組み意思統一を図ってきた。そして、11日には県庁前で、2016確定闘争勝利、地方財政確立をめざす兵庫県本部総決起集会を開催し氣勢をあげた。

各単組は県本部統一行動日を背景に、以下の確認した①④の重点目標のもと、交渉を強化していく。

①官民較差に基づく給与引き上げは実施(2016年4月まで適及)

県本部は11月10日、人事院勧告の取扱いなど今確定闘争の課題について県市町振興課交渉を行った。

本府省業務調整手当のない地方では官民較差が解消されない課題について県は、「昨年の地域手当と同様に地方は国と同じにはならない」と居直った。県本部は、「地方では地域手当や他の手当で工夫できるところもある。むしろ国の賃金水準を下回る団体こそ上げる

ための手当の前倒し
④人事評価制度の導入や運用・等級別基準職務表の条理化・職員数の公表については労使合意での実施

よう助言しろ」と迫った。扶養手当の見直しについて県本部が、「人事委員会は地方で対応は異なっている。国通りと助言しないよう」求めたのに対し、県は「細かい内容について国からの指示はない。各団体により状況は異なるため拙速な対応は求めない」とした。最後に同一労働同一賃金の観点から、臨時・非常勤職員の処遇改善を各団体に助言するよう強く求めた。

賃金確定闘争は、11月18日、25日に県本部統一行動日を配置し、たたかいます。人事院勧告に基づく月例給と一時金のアップなど賃金水準の引き上げはもたらんであるが、広がる国との賃金格差の解消や、扶養手当の見直しなどが課題となっている。各単組の統一した行動で要求の前進をめざす。

2016確定闘争

国との賃金格差解消を

拙速な扶養手当の見直し反対

拙速な対応求めない 市町振興課交渉

県本部は11月10日、人事院勧告の取扱いなど今確定闘争の課題について県市町振興課交渉を行った。

本府省業務調整手当のない地方では官民較差が解消されない課題について県は、「昨年の地域手当と同様に地方は国と同じにはならない」と居直った。県本部は、「地方では地域手当や他の手当で工夫できるところもある。むしろ国の賃金水準を下回る団体こそ上げる

阪神ブロック申し入れ
官民格差分の完全解消

ブロックは10月31日阪神7市人事協、11月1日淡路3市と広域水道に、「官民格差分の完全実施」「扶養手当の十分な協議」「臨職等の均等待遇」等について申し入れ、誠意ある交渉と回答を求めた。臨職部会は「感染症休暇と労基法通りの年休付与を強く訴えた。

しこう

沖縄視察団は、今回も沖縄県本部や平和運動センターのご協力です。実りあるものとなった。▼戦争法の強行など民主主義否定の安倍政権の策動や、それらに対するマスコミの姿勢を見ると、先人たちが聞かされてきた「戦前」を彷彿させるものがある。沖縄の現状に同じく経ても多くの基地が生活



おやすみ漢

当面の日程

- 2日 県本部スキルアップセミナー
(ひょうご共済会館)
3日 県本部開基・将棋大会 (ひょうご共済会館)
4日 障問連第36回総会と人権シンポジウム
(県民会館)
11日 女性部・臨職評合同学習会 (ひょうご共済会館)

自治ひろこ



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL 078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail: jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1487号

2016. 12. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円
購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部
書記長／尾西亮太郎・編集人／宮本誠之

人勧準拠は限界 官民較差の解消を

11月11日 県庁前で決起集会



県庁周辺をデモ行進する県職労の仲間

「官民較差の解消」「扶養手当の拙速な見直し反対」などの確定闘争の課題を前進させるため、県本部は11月11日、県庁前で総決起集会を開催した。54単組695人が参加し、決意表明や

デモ行進を行った。情勢報告では尾西亮太郎書記長が、10日の県市町振興課交渉の内容に触れ、「地域手当や本府省業務手当で官民較差を解消する人勧準拠は限界にきている」と強調

調、「現状を突破するたたかい」と呼びかけた。決意表明では、神戸市職労の藤原さんが「神戸は9日に交渉妥結した。人事評価制度では『標準者』からの引き下げ提案を阻止することができた」と報告。淡路市職労の清水さんは、管理職範囲の見直しや臨時職員の試験制度撤廃などの課題をあげ、「確定で前進をめざす」と述べた。

女性部の前垣志穂書記長が集会宣言を読上げたあと、安井智士青年部長の音頭で団結ガンパローを行った。集会後は、県庁周辺をデモ行進し「賃金引き上げ」を訴えた。

県本部青年部女性部は11月11日に確定闘争の取り組みを強化するため決起集会を開催し、30単組110人が結集した。

北村望青年部書記長の市町振興課交渉報告では「振興課は定員管理計画なしに急激に人員増やすなど助言は行が、計画的な人員増に関しは特に助言の対象にはならない。急激な人員減によりいびつな年齢構成になることで、青年層の業務負担は増大する。計画の内容を確認し人員増につながらよう、青年層の声を当局に訴えられるよう各単組で『尽力いただきたい』と訴えた。

また決意表明として、国保労組、神戸市役、淡路市職、赤穂市役、朝来市職の5単組が職場の課題やブロックでの組織強化の取り組みについて報告し、最後は、安井青年部長の団結ガンパローで閉会した。



人員増めざし意思統一

入し、民間活力の導入というキレい事を並べて委託労組は労働条件改善を主張する「団結」の現場は決して居心地の良いことばかりではないが、団結力は強い力を発揮する。

青年層の声を当局へ

青年女性部
確定決起集会

以降8500円。
姫路3単組は扶養手当の見直しについては近隣の状況を見て対応することとし、継続協議となった。

但馬丹波ブロックでは、新温泉町職労が人勧どおり改定で妥結している。
神戸は11月9日に妥結
神戸市労連は、給料表一律700円増額を4月に遡及、一時金は0.1月増と

沖繩県民の民意尊重と、
基地押し付け撤回を求める
全国統一署名に協力を
組合員1人・5筆／12月19日県本部必着

先というところだが、合衆国の民主主義の底力を感じた「団結、自由、民主主義」という言葉に労働組合活動と重ねて考えてみる。公務員と民間、国家公務員と地方公務員、正規と非正規、行政職と現業職、直営と外部委託。違いをあげればきりがなが、同じ公共の労働者だ。同一労働同一賃金なら地域活性化、経済の好循環の実現に近づく。県本部大会には分断を乗り越え県内の仲間が同席する。その姿は自治体当局や経営者にはどう映るだろうか。合理化による退職不補充でも臨時・非常勤職員が組合加入し、民間活力の導入というキレい事を並べて委託労組は労働条件改善を主張する「団結」の現場は決して居心地の良いことばかりではないが、団結力は強い力を発揮する。

2016確定闘争
第1波取り組み

4単組がストライキ配置

神戸は扶養手当独自改定

以降8500円。

姫路3単組は扶養手当の見直しについては近隣の状況を見て対応することとし、継続協議となった。

但馬丹波ブロックでは、新温泉町職労が人勧どおり改定で妥結している。

神戸は11月9日に妥結
神戸市労連は、給料表一律700円増額を4月に遡及、一時金は0.1月増と

先というところだが、合衆国の民主主義の底力を感じた「団結、自由、民主主義」という言葉に労働組合活動と重ねて考えてみる。公務員と民間、国家公務員と地方公務員、正規と非正規、行政職と現業職、直営と外部委託。違いをあげればきりがなが、同じ公共の労働者だ。同一労働同一賃金なら地域活性化、経済の好循環の実現に近づく。県本部大会には分断を乗り越え県内の仲間が同席する。その姿は自治体当局や経営者にはどう映るだろうか。合理化による退職不補充でも臨時・非常勤職員が組合加入し、民間活力の導入というキレい事を並べて委託労組は労働条件改善を主張する「団結」の現場は決して居心地の良いことばかりではないが、団結力は強い力を発揮する。

いまいち座

この先 どうなるの？



吉田ノボ

地方自治は住民の権利

民主主義は多数決ではない

シリーズ 憲法施行70周年 ①
公布70年を迎えた日本国憲法が大きく揺らいでいる。国会では憲法改正に積極的な勢力が衆参ともに3分の2を占めるにいたった。憲法問題がクローズアップされる中、憲法をめぐる課題を考えていく。

11月12、14日、富山市内で第53回護憲大会が開かれた。各地で平和運動を担う労組や市民が年一回集う場だ。基調では、①憲法をめぐるとたかひは正念場②軍学共同や武器輸出など強まる戦争ビジネス阻止③沖縄のたたかいへの連帯などが確認された。

「地方主権 市民政治の分科会Ⅱ写真Ⅱ」では、琉球大学の高良教授が次のように述べた。地方自治の本旨とは、デモクラシー 住民による自己統治であり、原則は直接民主主義である。原発や

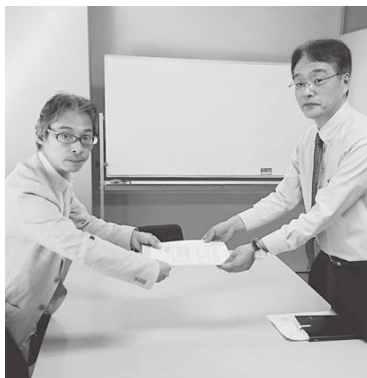
基地をめぐる住民投票では、「NO」が多数をしめることが多いが、国策と住民の人権は対立することがある。民主主義は多数決選挙結果ではないということだ。間接と直接に乖離が生じたとき、直接示された声に近づく努力をすることが、憲法の求める人権の支配である。地方自治は与えられたものではなく、私たちの権利だ。そして国が決めたことに反対する住民の行動は表現活動。それをぶつなら、民主主義は存在しない。「こうした現状が沖縄だ」。

はじめにアレギー対応について、各学校で行っている除去食の報告をした。県からの通達で除去対象アレルギー7品目(食品衛生法)のみを除去する17品目を除去する市まで、各自自治体によって対応はまちまちであった。

前田臨職評議長は「子どもたちのためにアレギー対応をしを命を預かってい

丹波市議選 組織内の議席確保 前川さん再選を果たす
任期満了に伴う丹波市議会議員選挙は、11月13日告示、20日投票の日程で行われ、定数20に対し28人が立候補する激戦となった。

原本部は、現職で自治労組織内候補の前川豊市さんを推薦決定し、取り組みを進めた結果、前川さんは1396票を獲得し、見事11位で再選を果たした。



河合議長より要求書を提出

要旨として、①障害者の雇用状況を明らかにすること。特に非正規雇用の障害者数や離職者数について調査を行うこと②重度障害者のダブルカウント制についての見直しを行うこと③点字・手話等の様々な障害に対応した採用試験方法の実施や自力通勤の条件を撤廃し、介護付き就労ワークアシスタントを認めること④障害者が働き続けるために合理的配慮を行うこと。特に障害を理由とした解雇を行わないことや、安定雇用の観点から雇用にあつ

臨時・非常勤職員等給食調理員交流会は、11月12日

雇用継続の不安や実態を交流
安心・安全な給食を提供しよう
臨職評会 交流

ひょうご共済会館で開催し、21人が参加者した。現業合理化の中、調理職場への攻撃が強まり、直営で行われるべき給食が、セクター方式や民間委託となった。雇用継続の不安や働く職場の実態まで、普段非正規調理員だけの集まりがない中、多くの意見交換をした。

フとコラボし、地産地消を基本とした給食を取り入れ、今年は鯉を使った給食が提供された。

多くの単独で正規調理員の退職者不補充で新規採用者がなく、経験者は非正規職員が多い。正規調理員は一人だけではすべて非正規センター方式の職場では嘱託職員やアルバイト職員で調理をしている報告もあった。また、正規職員がいなくなり嘱託職員も減っている中、次の世代に仕事の伝承がうまくできず、安心安全な給食が今後も提供できるか心配な意見も出された。

前田臨職評議長は「子どもたちのためにアレギー対応をしを命を預かってい

障害者雇用の推進へ

健康で働き続ける環境を

健康で働き続ける環境を

健康で働き続ける環境を

県本部障害労働者評議会の河合良宣議長と山中一慶書記が11月11日、兵庫労働局に対し、「障害者雇用の推進にむけた要求書」を提出し、交渉に応じるよう申し入れを行った。

要旨として、①障害者の雇用状況を明らかにすること。特に非正規雇用の障害者数や離職者数について調査を行うこと②重度障害者のダブルカウント制についての見直しを行うこと③点字・手話等の様々な障害に対応した採用試験方法の実施や自力通勤の条件を撤廃し、介護付き就労ワークアシスタントを認めること④障害者が働き続けるために合理的配慮を行うこと。特に障害を理由とした解雇を行わないことや、安定雇用の観点から雇用にあつ

ては正規職員を基本とする内容で、河合議長から申し入れの趣旨を説明し健康で働き続けられる職場環境づくりを強く求めた。

今後は、労働局からの回答を受け、来年2月に交渉を実施する予定にしている。

部落解放研究第37回兵庫県集会在、11月6日神戸市勤労会館で開催された。集会では、「憲法公布70年ー貧困格差・社会的排除の克服に向けた実践から学び、ともに人権社会の確立をめざそう」をテーマに、イン

ターネットでの社会的弱者に対するパッシングなどに対して、社会に根強く存在する誤解や偏見を批判する力をつける同和教育の推進を訴えた。

記念講演では、浜矩子さんが、「経済活動は人間の幸せのためにある。経済政策は弱者救済のためにある」として、「安倍政権の推し進めるアベノミクスの本音は、安全保障政策のため、国防費増額のための経済政策で人間の幸せの対極にある」と切つて捨てた。

ZENROSAI NEWS 5116G219

余裕資金は、退職後のために

長期共済

税制適格年金

の随時払へ!

かしくく 積み立てよう!

ご存知ですか?

便利な掛金 随時払 払込方法

(月払または半年払契約がある方が利用できます)

随時払は、月払などと異なり、定期的に払い込むことができます。余裕資金ができたときに使える積立金を積み増しできる払込方法です。

大好評!

例えば **100万円を随時払すると20年で124万円に!**

(10万円から1万円単位で利用できます。)

100万円	UP!	104万円	UP!	110万円	UP!	117万円	UP!	124万円
払い込み		5年		10年		15年		20年

効率的に プラス!

口数やコース、払込方法にかかわらず、積立金の一部分のみ、解約・払い戻しはできません。

※2016年10月現在の予定利率等にもとづき試算したものです。なお、予定利率等は将来変更することがありますので、将来の支払額を約束するものではありません。随時払は積立期間が1年未満のとき、積立金・解約返戻金が掛金を下回ります。

ご契約にあたってはパンフレットをご覧ください。ご不明な点があれは、まずは所属の組合にご連絡ください。

全労済 自治労共済本部

全労済は、密利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお返ししたい、給付金にたいは、各種共済をご利用いただけます。

自治ひろこ

1488号

2016. 12. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円
購読料は組合費に含まれる。自治労兵庫県本部
書記長/尾西亮太郎・編集人/宮本誠之

当面の日程

県本部旗びらき

とき 2017年1月12日(木)

ところ ラッセホール



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL 078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail: jhyogo@jichiro-hyogo.jp

2016確定第2波交渉結果 県職労は公民較差完全解消

県本部は、確定第2波統一行動日を11月25日に設定し、県職、伊丹4単組、宝塚、三田、明石2単組、豊岡病院の10単組がストを配置し、交渉を展開した。

県職労は、11月25日をヤマ場にした。交渉を進めた。

交渉では、行革による独自カット回復や公民較差の解消方法などで紛糾した。最終的に、「給料表一時金は勧告とおり改定」「公民較差解消として今年度地域手当0.8%引き上げ。来年度の取り扱いは県人事委勧告を踏まえて対応」「育児介護休業制度の拡充」などの回答を引き出した。また、扶養手当、再任用成績

率は国に準じて見直されることとなった。改善提案されていた現給保障、勤勉手当の期間率見直しについては改定された。

なお、独自カット回復については、確定交渉と切り離し別途協議となった。

阪神淡路ブロックでは、第2波で伊丹・芦屋・宝塚・三田・猪名川・共済尼崎環境・淡路・洲本・広域水労が給料表と一時金改定で妥結。臨職等は西宮・宝塚・淡路で改善。伊丹・三田が改善に向け協議を確認した。

宝塚は独自減額中に限り1〜3級に加工。南あわじが職務加算を改善。芦屋は退職手当調整額改善を確

認、扶養手当見直し等は伊丹・三田・洲本・淡路・広域水労が継続。伊丹は住居手当(持家)見直しを継続。洲本は賃金2%削減提案等を継続交渉とし、猪名川・淡路・広域水労は独自課題で12月に交渉を行なう。

播磨ブロックでは、明石市職労と明石水労が1時間ストを構えて交渉を実施した。独自課題として当局からラッパ抑制のため1月昇給・2号昇給でされた。扶養手当の見直しについては、配偶者にかかる手当の減額について2020年度まで段階的措置とすること、また、子の看護休暇取得要件

を中学校就学前の子に拡大することを確認した。

なお、人事院勧告に基づく賃金の引き上げ改定と一時金の増額については、国どおり完全実施し、年内に差額支給を行うことで合意した。

但馬丹波ブロックは、11月25日の第2波統一行動日を基本に行動の強化にむけ、定期総会で取り組みを提起した。

結果として、豊岡病院が1時間ストを配置し、養父・朝来・丹波・篠山・香美・南但・広域は統一行動日後の交渉や事務折衝を行い、賃金引上げと一時金改定、扶養手当も人勧どおり妥結した。

ひょうご共済会館で21単組37人の参加で開催した。

県本部を代表して森藤守委員長より、「単組の運動強化次代の担い手育成を県本部の運動方針に掲げており、どう単組の運動を強化していくのか、しっかりと学習してほしい」とあいさつを行った。

第1講座は、宮本誠之副委員長が、「自治労運動の基礎と執行委員の任務」と題して、パワーポイントをを使いながら、労働組合の役割と産別闘争としての年間闘争サイクルを中心に説明し、単組独自の闘争ではなく、自治労全体の力を背景に連携した取り組みの重要性を訴えた。

第2講座では、戎剛県本部執行委員より実践講座として、「模擬交渉と交渉のノウハウ」について自らの交渉体験を基に、交渉時の不

いまいち座
安倍・トランプ会談
戦前の日本を取り戻す
松本真紀子



11・11には県下各地から県庁前へ結集

反行革・予算要求闘争では、年々、1月末にあらためて交渉を行うことが非常に困難な単組が増加しているが、各単組ではこの一年間の状況を踏まえ、反行革・予算要求闘争のヤマ場を基本に、当局と交渉を行えるような状況を作りあげていくことを目指す。

各単組は、この闘争の取

り組みの指標を①確定闘争の継続した取り組み②定年

組合活動が弱体化の傾向にある実態を考慮し、経験3年未満の単組役員を中心に、県本部第3回スキルアップセミナーを12月2日に、

スキルアップセミナー

産別闘争の重要性を学習 模擬交渉でノウハウを学ぶ



真剣に耳を傾ける参加者

上になる2025年という必要がある。数字上は県全体で662床多いと考えられている。しかし、県内では10の医療圏域があり、西播磨や淡路では約400床多く、神戸では600床不足と明記されている。地域差はあるにせよ、今後各公立病院が改革プランの策定が義務付けられており、何がでるか戦々恐々である。地域完結型医療を今後益々求められているなか、各医療圏が、各病院がボタンを掛け違え、おらが村の病院の存続問題にまで発展する可能性がある。2025年の地域包括ケアシステム構築を図るためには病院だけが考えるのではなく、行政も地域住民も一緒に考えていかなければならない。あと9年そんな時代が現実になってくる。どう

積み残し課題の前進へ

1月26日に統一行動日を配置

2017反行革 予算要求闘争

まで健康に働きつづける快適な職場づくり③住民が安心して暮らせる街づくりとし、要求の実現を図るとともに組織強化のために要求書の提出、団体交渉の実施、書面協定の締結という闘争サイクルを確立する。具体的なたたかひの進め方については①要求書は年内にはすべての単組が提出②第1次集中行動期間とし

て年内に予算編成方針に対する労使交渉を実施する③年内から創意工夫をした行動を背景に交渉を強化するとともに年明け以降の1月19日〜25日を第2次集中行動期間として全組合員参加による取り組みで更に労使交渉を強化④1月26日(木)に早朝1時間ストライキを配置し、要求の実現にむけ全力をあげる。

しこう

兵庫県の地域医療構想が10月に発表された。この構想は、現在だけの医療資源があって、団塊世代が75歳以上になる2025年

自民議員が皇国史観発言 憲法審査会が再開

シリーズ
憲法施行70周年 ②

憲法審査会は、日本国憲法及び日本国憲法に密接に関連する基本法制について広範かつ総合的に調査を行い、憲法改正原案、日本国憲法に係る改正の発議または国民投票に関する法案等を審査する機関である。

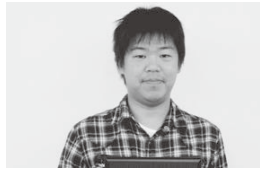
この間中断していたが、安倍首相は臨時国会で「憲法改正」に意欲を示し、憲法審査会も衆参両院で再開された。

憲法改正が党である自民党は、2012年に「憲法改正草案」を策定し、改憲に意欲をみせる。

公明党は現行の憲法を評価し、必要な要素を加える「加憲」の立場。日本維新の会は道州制を含む統治機構改革など改憲に強い意欲を持っている。民進党は憲法と関連法制の調査に重点を置き改憲に慎重な姿勢。社民党・共産党は安倍政権の下での憲法改正に強く反対。11月17日の衆院憲法審査会でトンデモ発言が飛び出した。自民党の安藤裕議員が、天皇の「生前退位」に関連して、「本来皇室の地位は、日本書紀における『天壤無窮の神勅』に由来するものであり、憲法が起草される遥か昔から存在するものです。...だからこそ早急に改正すべきは憲法第2条であると主張したい」としています。

これは、神話である日本書紀を持ち出し、国民主権を否定する皇国史観を持ち出し戦前の明治憲法に回帰しようとする発想だ。

このような発言が飛び交う憲法審査会に危うさを感じる。「改憲ありき」の議論であってはならない。



囲碁の部本因坊優勝の三谷さん

第36回囲碁・将棋大会
高砂三谷さん、実業野場さん

県本部は12月3日、ひょうご共済会館で第36回囲碁・将棋大会を開催。囲碁の部に10組16人、将棋の部に20組54人の総勢70人がエントリーした。囲碁・将棋ともに昨年優勝者が連覇した。

開会にあたって大野義政副委員長は、「熱戦を期待する。あわせて囲碁・将棋を通して組合員間の交流も深めてほしい」とあいさつ。

囲碁の部は本因坊・A・B・Cクラス、将棋の部は名人戦・A・B・Cクラスにわかれて熱戦を繰り広げた。結果は次の通り。

【本因坊】
優勝 三谷 幸司
準優勝 北垣 康雄 (神戸市職労)
第3位 仲埜 陽一 (宝塚市職労)

【名人戦】
優勝 野場 敢滋 (実業市職労)
準優勝 高橋 正行 (兵庫県職労)
第3位 八木 勇 (伊丹市職労)

途中、ピンチの局面もあったが運よく勝つことができた。まんが「ピカルの碁」人気で囲碁人口が増えたように、人工知能との勝負で注目が広がってほしい。

名人戦優勝の野場さん

相模原市の障害者施設での殺傷事件を受けて12月4日神戸で「人権シンポジウム2016」が開催された。

高砂三谷さん、実業野場さん

囲碁・将棋ともに連覇



将棋の部名人戦優勝の野場さん

殺されている、差別されている民族や出自はない!!

障害連の野場さんは、障害者は生きていても仕方がないは許せない、殺された人達の事の報道が一切ない」と怒り、「家族だけに介護を押し付け、障害者が施設に入れられ生き生きと生活できなくなる。この構造を変えないと。どの命も大切、社会を変えていく取り組みをしないと、優生思想に取り込まれてしまふ。健康者と障害者の接点がないと、皆がこの問題を考えてほしい」と訴えた。

様々なマイノリティの立場から「無条件に抹消を呼びかけているヘイトスピーチの恐怖」「続発・悪化する差別事件、差別を罰する法律がない」「精神障害者を簡単に社会に出すのは許せない」「毎月のマイクスビーナを通して事件を生み出す



障害連主催で開催された

人への投資を求める

連合兵庫は11月30日、ラッセホールにおいて2017連合本部春闘方針について説明会を行った。

17春闘では「人の投資」を求めると同時に、「働き方と処遇のあり方」の見直しを進めるとし、賃上げは2%程度を基準とし、定期昇給

利用サービスの向上へ

ティッシュ配布でアピール
都市交評

県本部都市公共交通評議会は11月29日、神戸市内で伊丹市内の主要ターミナル・主要駅にて、利用サービスの向上と地域住民との連携強化に重点を置いた取り組みとして「安全・安心・信頼の公営交通」一歩運動統一行動を実施、あいさつ運動並びにティッシュを配布した。

都市交評は年2回統一行動



地下鉄三宮駅の様子

連合兵庫・経団連基金 カンパへ協力を

連合兵庫は、自然災害等で被災した組合員への生活支援を目的に、自然災害等救援基金を創設しており、兵庫県本部はこの基金に賛同し、今年の大分方針で基金へのカンパを取り組むことを決定しており、各単組においても基金の趣旨をご理解いただき、格段のご協力を要請する。

一人500円(ワンコイン)

じちろうマイカー共済

自動車総合補償共済

自治労共済生協組合員なら

契約者=組合員で
家族の車も

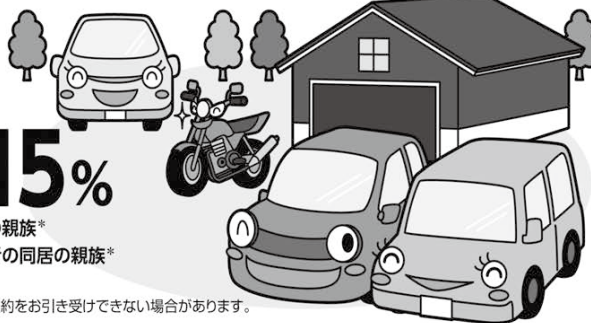
団体割引15%

主たる被共済者になれる方

- 1 組合員本人
 - 2 組合員の配偶者
 - 3 組合員の同居の親族*
 - 4 組合員の配偶者の同居の親族*
- *別居の未婚の子も含まれます。

※現在ご加入の保険(共済)の適用等級や過去履歴によっては、ご契約をお引き受けできない場合があります。

※2018年1月までの団体割引率を記載しています。



ZENROSAINews
5116A230

ご契約にあたっては
パンフレットをご覧ください

ご不明な点があれば、
まずは組合にご連絡ください。

全労済
自治労共済本部

全日本自治労連労働者共済生活協同組合
全労済は、富利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金を支払っていない組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

全労済自治労共済本部より引用



定住、観光ともに 増える外国人

多文化共生 ささえる組合員

「文化を発信するためには、書いたもので伝えることが大切」と、2016年4月から姫路城の外国人版パンフを19言語に増やした

自己決定できる情報を

行政は制度届ける工夫が必要

外国人県民相談

2016年の外国人観光客は、初めて2千万人を突破し、いまだここに行っても外国人を見かけるとい状況にある。県内では、城崎温泉や姫路城、神戸が人気スポットだ。一方、定住外国人も2000年に入って定住化が進んでいる。暮らしの場にも、外国人の姿がある。国境を越えた移動が活発になり、「多文化共生」が益々求められる中、自治ひようこでは、外国人支援や国際交流にたずさわる組合員を訪ねた。

IA労組を結成している。同労組は、県本部平和人権環境を考える集いでは「多文化共生」の分科会を運営、全国自治研集会へのレポート発表など、ノウハウをいかし自治労働運動に参加している。今回、同労組の村松紀子さんに外国人支援の現状や課題を伺った。

外国人県民インフォメーションセンターは、外国人が安心して暮らせるよう生活相談、情報提供を行う窓口だ。英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、そして日本語の5カ国語に対応している。(公財)兵庫県国際交流協会が兵庫県から委託を受け運営し、そこで働く相談員で日

19言語のパンフ作成

文化発信とおもてなしの心

姫路市



資料の説明をする古川さん

その美しさから「白鷺城」と呼ばれる姫路城は、建築技術の粋を極めた傑作として、93年に世界遺産に登録された。天守閣の改修を終え、15年3月にケランドオープンして以降、外国人観光客はうなぎ上りだ。

外国人観光客に姫路城や姫路市の魅力をアピールす

「姫路城の外国語版パンフを16年4月から19言語に増やしました。観光客の95%に対応しています」

古川さんは「姫路城に来てよかった」との声を聞いたときは嬉しいう。姫路城プラスワンとして、城以外の姫路の魅力の発信にも注力したい」と力を込めた。

姫路城を訪れた外国人観光客は、16年度上半期で20万人(15年度は年間20万人と、過去最高となった。こうした動きを背景に、同市は、観光客をはじめとする交流人口増加を市の活性化につなげるべく、15年にシティーブローモーション課を設置、さらに16年4月に同課からMICE推進課を設けた。

「姫路城の外国語版パンフを16年4月から19言語に増やしました。観光客の95%に対応しています」

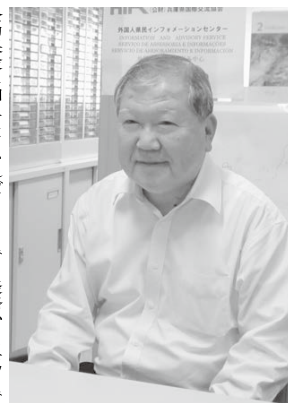
古川さんは「姫路城に来てよかった」との声を聞いたときは嬉しいう。姫路城プラスワンとして、城以外の姫路の魅力の発信にも注力したい」と力を込めた。

書き損じはがきと古本で国際貢献をしよう

ベトナム、ラオス、カンボジアなどで国際貢献活動を展開する「エファジャパン」が自治労は支援しています。

書き損じはがきと古本の活動を支援できます。エファの活動内容など、詳細は以下のURLで

<http://www.efa-japan.org>



相談業務を担うHIA労組の仲間

公的保険に加入していれば帰国せずに日本での治療を希望するケースも増加している。それだけに村松さん

村松さんは「地域で実施されている日本語教室学習支援、協会、NGO等が在日外国人の抱える課題や情報を最先端で把握している」と述べる。そして自治体には「こうした支援者との連携を行ってほしい」と続けた。「日本で生活する外国人は、「生きる力」という意味では日本人以上に持っている。言葉や文化の違いで制度がうまく届いていない

外国人が増加する一方、ヘイトスピーチに象徴される排除の風潮が高まっている。「多文化共生社会」の

「多文化共生社会」の必要な人」と位置づけ、自治体が通訳を配置したり、支援者と連携することで自己決定できる環境をつくる必要がある。

支援者の仕事は代わりに行うのではなく、自己決定できる環境を整えること。当事者支援の原則だ。最近では、自治体職員が「やさしい日本語の使い方」を研修したり、ひらがなのルビ打ちや多言語で情報発信している例も見られる。

外国人が増加する一方、ヘイトスピーチに象徴される排除の風潮が高まっている。「多文化共生社会」の必要な人」と位置づけ、自治体が通訳を配置したり、支援者と連携することで自己決定できる環境をつくる必要がある。

環境と経済は共鳴する

キーワードは「命への共感」

コウノトリが1971年に日本の空から姿を消した。その後1985年にロシアから野生の幼鳥6羽が最後の生息地である豊岡市に寄贈され、1989年に増殖に成功。現在、野外個体数は91羽、飼育個体数は95羽となっており、野外放鳥された鳥は国内では45道府県へ、2014年には韓国でも確認がされている。こうしたコウノトリ野生復帰の経験から学んだ「コウノトリも暮らせるまちづくり」を推進する豊岡市の農業戦略について、水嶋弘三さんに話を伺った。

2005年秋、日本の空 不可欠であると確信した。ジョウといった田んぼに住から一度は姿を消したコウノトリが再び豊岡の空に羽ばたき、この時、私たちは「環境と経済は共鳴する」と言うことに気づいた。

この風景をこれからも守り育てるためには、豊かな環境の創造を文化として暮らしの中に融け込ませることが



のんびりと田んぼで羽を休めるコウノトリの親子

2003年、わずかに0.7haの面積（甲子園球場約半分の面積）で始まったこの

農法は、2016年には約366haに広がり、本市が推進する環境創造型農業のシンボル商品として、全国500を超える店舗で販売されている。

農業や化学肥料に頼らない分、除草作業が大変だったが、乗用除草機の開発で効率的な除草作業が可能となった。また、2014年

からは背丈が高く初期生育が旺盛なポット成苗により、深水管理を田植え直後から実施でき、収穫量が多くなり、高水準を確保できることとなり、農家の手間

では、化学肥料は一切使用せず、農業の使用も厳しく制限した栽培（慣行レベル75%以上低減）が行われている。

また、冬期や早期に水を張り、深水管理で栽培される田んぼにはイネミズやユスリカといった小さな生きものが活発に活動し、肥

沃な土の層が形成され、この層が苗の生育に必要な養分となり、また雑草を抑制する効果を生み、農業や化学肥料に頼らないこの農法を支えている。

そして、カエルやドジョウといった多くの生物に溢れた田んぼでは、カメムシなどの害虫をカエルが捕食し、そのカエルを餌としてコウノトリが舞い降りる豊物連鎖が生じ、かつての豊岡の光景が戻りつつある。

環境創造型農業のシンボル商品へ

水嶋弘三さん

2005年4月に1市5町合併時の豊岡市職労初代委員長。現在、コウノトリ共生部農林水産部長。



ポット成苗の特徴



ポット成苗

一般的なマット苗

ポット成苗の特長

- 草齢4.5以上、草丈15cm以上
- 葉肉が堅いため、病害虫に強く悪条件にも耐えることができる
- 根鉢付で根も多く、生育停滞がない
- 一株2〜3本の確実な植え付けが可能

私たちも自治労とともに頑張ります

組織内首長・議員									
加西市市長	西村 和	稲美町長	古谷 博	神戸町長	山名 宗	第三区予定候補	よこはた和幸	兵庫県議会議員	黒田 一美
兵庫県議会議員	上野 英一	宝塚市議会議員	梶川みさお	猪名川町議会議員	久保 宗一	明石市議会議員	永井 俊作	加古川市議会議員	松崎 雅彦
西脇市議会議員	村井 正信	丹波市議会議員	大畑 利明	前神戸市議会議員	伊藤めぐみ	前芦屋市議会議員	山口みさえ		

自治研センター									
理事 木谷 晋	副理事 坪田 真樹	副理事 伊藤 弘孝	理事 市来 信弥	事務局 兵藤 宏	研究員 浜崎 利澄	研究員 塩見 幸治	研究員 清水 誠一	研究員 高山 博司	研究員 芝野 照久
研究員 米澤 正紀	研究員 小和田 敏晴	研究員 北川 博巳	研究員 奥井 重	研究員 同	研究員 同	研究員 同	研究員 同	研究員 同	研究員 同

共済県支部	
事務局長 西田 浩樹	職員 高木 さつき
職員 飯田 美佳	

総選挙に挑む

兵庫3区予定候補 よこはた和幸



初春を穏やかに迎えられましたこと、県本部に結集する組合員・ご家族の皆様お一人お一人に心よりお祝い申し上げます。
日頃は自治労組織内と

私の活動に際しましてご理解をいただき深く感謝申し上げます。
永田町・霞が関では来年度予算に向けての各自自治体や各種団体からの要望など

活発です。自治労からも各省市に向けての要請活動がされ、参議院では、あいはらくみこえさきたかしさんが頑張っていますが、衆議院では自治労関係議員は残念ながら激減しており、早急に組織内として私が自治労と永田町・霞が関の橋渡しをする使命を果たさねばと強く感じています。

高い支持率の中、強行採決など何でもありの安倍政権ですが、おこりやアベノミクスでも陰が見えています。戦争法が発展する平和を乱す憲法の問題や年

今年も皆様からのご指導をお願い申し上げます。今年も皆様の願いを叶えたいと強く感じています。
今年も皆様の願いを叶えたいと強く感じています。



- 1 腹をかかえて、ひつく
- 2 夏に着る木綿のひとえ
- 3 工芸品などの形や模様
- 4 〇〇〇〇はなぜ、遠く
- 5 江戸時代に盛んに描かれた風俗画
- 6 胡麻から採った油
- 7 諸大名が江戸屋敷に置いた連絡などを担当する役職
- 8 淡紅色・桃色
- 9 建物の土台、〇〇工事
- 10 淡紅色・桃色
- 11 建物の土台、〇〇工事
- 12 ベッパ

自治ひろこ新春クロスワードクイズに挑戦して下さい。クイズを解きA～Nまでの文字をつなげて現れた言葉をお答え下さい。正解者から抽選で5人に5000円商品券、10人に1000円図書カードを贈呈します。1月16日(月)までに県本部「教宣部」宛にはがき、FAX、Eメールで応募下さい。(宛先は本紙1面を参照。)
①答え②名前③組合名④住所 景品の届け先を必ず明記して下さい。連名での応募、複数回答は無効となります。当選者は2月15日号に掲載します。

新春クイズにチャレンジを 職場・家庭で楽しもう 1月16日締め切り

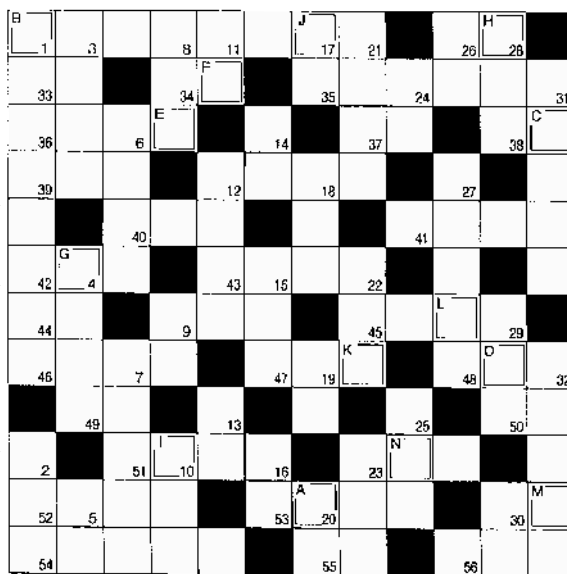
AからNまでの文字をつなげると問題ができます。その答えが解答です。

- 17 刀剣の手で握る所
- 18 ジェントルマン
- 19 ミン
- 20 レインボー
- 21 自尊心
- 22 知らせること。しらせ
- 23 トウモロコシ
- 24 〇〇食いねえ
- 25 〇〇びより
- 26 たより、手がかり
- 27 五等爵(公・侯・伯子・男)の第五
- 28 物事を気にせず心配性
- 29 古い塩水にひたしたム
- 30 ロアジのひもの
- 31 鮮やかな青色。群青
- 32 牛の肋骨部の霜降り肉

金カット法、TPPなど国民にとって安心安全な国になつてほしいと思いませんか。私は日々自己研鑽を重ね、街頭やタウンミーティングなどで訴えています。そこで全世代に共通して言えるのは年金医療介護子育て教育雇用など身近な生活に關しての将来不安が顕著です。私は社会保障を含めて国民生活に安心を与えていきたいと強く感じています。

静かな〇〇〇の森のかげから、
〇〇〇出せ、やり出せ、
頭出せ、
カウ
衣服の下部のふち
カラスのようなくちば
しや羽を持つ天狗
用意してないこと
〇〇〇の上にも3年
元素記号Au
エア
講演などで述べられた
ことを短くまとめたもの
他者の考えを素直に取り入れ、自己主張を控え

静かな〇〇〇の森のかげから、
〇〇〇出せ、やり出せ、
頭出せ、
カウ
衣服の下部のふち
カラスのようなくちば
しや羽を持つ天狗
用意してないこと
〇〇〇の上にも3年
元素記号Au
エア
講演などで述べられた
ことを短くまとめたもの
他者の考えを素直に取り入れ、自己主張を控え



たすけあいの保障 じちろう共済

ご不明な点があれば、まず組合にご連絡ください。

ご契約にあたってはパンフレットをご覧ください

全労済

全労済共済連立協同組合

自治労共済本部

全日本自治労共済共済生活協同組合

全労済は、安楽を目的とした保障の生活として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心と希望を実現しをめざしています。出資金をお支払いいただく組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

総合共済

長期共済

介護保障

じちろうマイカー共済

全労済の住みいる共済

団体生命共済

税制適格年金

親子共済

自賠償共済

火災共済・自然災害共済

明けてしまて
おめでどう
ございます

ZENROSAI NEWS
5118V270

当面の日程

- 3日 県本部公企評水道集会（ひょうご共済会館）
 3～4日 県本部公企評下水道交流会（ひょうご共済会館）
 4日 県本部青年女性春闘討論集会（神戸市教育会館）
 10日 県本部第201回中央委員会（中央労働センター）
 11日 県本部春闘討論集会（フルーツフラワーパーク）

自治ひろこ



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
 http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1490号

2017. 2. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円
 購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部
 書記長／尾西亮太郎／編集人／宮本誠之

生活・平和を守る取り組み強化

17新春旗開き 決意固め合う

県本部は1月12日、神戸市内で2017新春旗開きをおこない、各単組連合・自治体・協力政党各級議員・友誼団体、組織内首長・議員ら180人が参加。来賓あいさつを受け、1年間のたたかう決意を固め合った。

あいさつした森蔭守県本部委員長は、安倍政権による憲法改正を含め日本の平和が危うい状況に対する取り組み強化を訴え「当たり前

前に働けば当たり前前の生活ができる兵庫を作り上げていきたい」と述べた。

来賓あいさつで辻芳治連合兵庫会長は「16春闘は3



年連続の賃上げ、中小未組織へ反映した。17春闘はス

トップ・ザ・格差社会、くらしの底上げを訴え運動の広がりを追求していきたい」と表明。井戸敏三知事は、地域を元気にする、市町が元気になる、それを支える職員、その中核が自治労、がんばってほしいと語った。

中川ともこ宝塚市長は「学校給食民営化に対して考える会を作って取り組んだのが私の原点。命にかかわることは直営でがんばりたい」と決意を述べた。坂

「楽しく学ぼう！私たちの権利」をテーマに12月11日、神戸市内で第9回女性部臨職評合同学習会を開催し、44人が参加した。

どんな権利があるのか、女性部と臨職評が寸劇でアピールした。女性部は年休取得の理由を聞いた時、時期を変更しようとする管理

職の対応に「ブー」と不正解音を鳴らし、正しい説明を行った。臨職評は非正規には病欠休暇がない実態と正規・非正規が協力して働きやすい職場づくりを進めることの大切さを訴えた。

分散会では、「忌引休暇でも正規は休日を含まないが非正規は含む。改善を求めている」「寸劇はわかりやすい」と話し合った。

アドバイザーとして参加した戎剛執行委員が、「年休申請すること、組合で交渉すること、どれも大切なたたかい。それぞれのたたかいを少しずつがんばろう」とまとめた。

大切な私たちの権利 知って、行使しよう

女性部・臨職評が合同学習会



生理休暇の必要性を訴える寸劇

自治労本部
 春闘討論集会

4つの重点課題を提起

自治労の春闘討論集会が12月11～12日に東京で開催

本部方針が提起された

された。集会では、「公務員賃金の改善」「地方財政の確立」「格差是正と公正なワークルールの確立」よりよい地域医療・福祉に向けた取り組みの4つの重点課題を掲げる2017春闘方針提起がなされた。

川本淳委員長は、「春闘討議案は各単組に送付しており、意見集約をはかり春闘方針の確立をめざす。

要求基準は、連合要求2%に加え総合的見直しのみナス2%分の回復を求め、非正規職員の処遇改善、公契約条例の制定が必要」と決意を述べた。

討議案は各単組に送付しており、意見集約をはかり春闘方針の確立をめざす。

川西北部周辺の地域医療を守る取り組み

昨年12月に、市立川西病院の経営改革プラン(案)が、市HPで突然公表されパブリックコメントの募集がはじまった。これには、経営形態や場所の変更が盛り込まれており、川西市北部周辺(川西市北部・猪名川町・能勢町・豊能町)の地域医療の拠点がなくなるおそれがあることから、川西病院労組が地域医療を守るたたかいを進めている。

昨年12月に、市立川西病院の経営改革プラン(案)が、市HPで突然公表されパブリックコメントの募集がはじまった。これには、経営形態や場所の変更が盛り込まれており、川西市北部周辺(川西市北部・猪名川町・能勢町・豊能町)の地域医療の拠点がなくなるおそれがあることから、川西病院労組が地域医療を守るたたかいを進めている。

川西病院労組が地域医療を守るたたかいを進めている。

川西病院労組が地域医療を守るたたかいを進めている。

いまいち座

これ以上増やさないで・リタイク



大植 賢(豊岡市職労)

しこう

明るい朝日に輝く新雪、そんな紙面を眺めて心に新しい空気を感じて早一カ月過ぎ。初詣で大吉が出て、先の

良い予感を感じ、思わず小躍りした先日。恵方巻きのCMを見かけるこの頃は、新しい空気なですっかり忘れ、いつもの自分だ▼数冊の読みかけの本を今年は読む事・押入れの上段を片付ける事など、去年も決心を

2017春闘

格差是正求め連合に結集

全国統一行動日は3月17日

連合の2017春闘は、「底上げ底支え」格差是正」でクラシソコアを實現しよう！長時間労働撲滅でハッピーライフの實現を！をスローガンに掲げ、「働くことを軸とする安心社会の實現に向けて、2月3日の連合2017春季生活闘争・闘争開始宣言集を起し、全国における春闘の諸行動が開始される。

今春闘は、16春闘から引き続き、すべての働く者の賃金の「底上げ底支え」格差是正」を重点課題として取り組み、4年連続の賃上げの實現を求め、民間大手のヤマダは3月第3週(3月13~17日)を回答ゾーンとし、最大のヤマダは3月15日に設定。

自治労は1月26~27日に開催した中央委員会で、全組合員が参加する「自治労全国統一行動」を3月17日に配置し、当局回答を迫ることを確認した。

17春闘方針では、公務員賃金やワークルールなど賃金労働条件の改善はもちろんのこと、社会保障を重点項目に加え、地域医療福祉の充実に力を入れることを確認した。

自治労が春闘を取り組む意味は賃金労働条件改善だけでなく、住民サービスに関わる政策課題を合わせて要求することにある。

春闘で政策要求を行い、その後の人員確保闘争や男女平等推進闘争、現業公企統一闘争、そして確定闘争へとつながっていくためにも、年間闘争のスタートとして春闘をしっかりとた

あらゆる差別撤廃へ

県民共闘 39回総会

部活解放兵庫県民共闘会議第39回総会が12月20日、ラッセホールで開催された。主催者を代表して川原芳和議長(兵庫県教職員組合)は「部活差別解消法」の早期制定が必要。また、イ

進法が12月9日に成立したが、差別の行為者に対する罰則規定のない理念法であり、人権尊重の社会を作るため「人権侵害救済法」の早期制定が必要。また、イ

部活解放兵庫県民共闘会議第39回総会が12月20日、ラッセホールで開催された。主催者を代表して川原芳和議長(兵庫県教職員組合)は「部活差別解消法」の早期制定が必要。また、イ



主催者あいさつをする川原議長

ンターネットによる人権侵害や差別事象は後を絶たない。一人ひとりが差別を許さないとの理念のもと、あらゆる差別撤廃に向け、運動を進めていかなければならない」とあいさつを行った。

方針では、「実効ある関連法律等の制定」「あらゆる差別の撤廃と人権平和擁護の取り組み」などを全体の拍手で確認した。

総会後は、証人開示された録音テープをもとにした「冤罪を作り出す「取り調べ」―狭山事件の場合」のDVDが上映された。

国防軍の創設

憲法第9条(前編)

シリーズ 憲法施行70周年 ③

安倍首相は、とにかく憲法を改正したい。そのためには、「緊急事態条項」などを持ち出し、「できるところから」といつているが、本音は、憲法9条を改正し、軍隊を持つことである。自民党の「憲法改正草案」では国防軍の創設を謳っている。

安倍政権は、「集団的自衛権の行使容認」の閣議決定、その後に「安全保障関連法」を強行採決したが、これについては、多くの学者や、元最高裁判事等が、「違憲」であると断定している。



戦争法案を強行採決

①我が国の平和と独立並びに国及び国民の安全を確保するため、内閣総理大臣を最高指揮官とする国防軍を保持する。

②国防軍は、前項の規定による任務を遂行する際、法律の定めるところにより、国会の承認その他の統制に服する。

③国防軍は、第1項に規定する任務を遂行するための活動のほか、法律の定めるところにより、国際社会の平和と安全を確保するために国際的に調整して行われる活動及び公の秩序を維持し、また

④第2項に定めるもののほか、国防軍の組織、統制及び機密の保持に関する事項は、法律で定める。

⑤国防軍に属する軍人その他の公務員がその職務の実施に伴う罪又は国防軍の機密に関する罪を犯した場合の裁判を行うため、法律の定めるところにより、国防軍に審判所を置く。この場合において、被告人が裁判所へ上訴する権利は、保障されなければならない。

部落差別解消推進法が成立

昨年12月9日、部落差別解消推進法が議員立法として自民・公明・民進・社民などの賛成多数で成立した。この法の理念として「部落差別は社会悪である」とし、国や自治体に相談体制の充実、教育啓発の推進、実態調査などを求めている。

法律に「部落差別」という文言が盛り込まれるのは、初めてであり、画期的なことだ。しかし、差別等の行為に対する禁止や罰則規定がない。今なお、就職や結婚差別があり、ネット上で部落差別が絶えない。今後の課題は、人権侵害救済法の制定を求め、さらなる運動の強化が必要だ。

個人型確定拠出年金に加入可能へ

確定拠出年金法が改正され、今年1月より公務員等共済加入者も、個人型の確定拠出年金(個人型DC)に加入が可能となった。

県本部は、運営管理機関については「労働金庫に一本化」し、各年金支部からの制度説明や制度学習会を推進していくとしており、各支部においては、年金各支部からの説明・学習会の受け入れについて対応を要請する。

「こんな運転」は危険です!

- 青信号が変わるとすぐに発進しがち
- ミラー・バックモニターだけでバックしがち
- 対向車の切れ目をねらって無理に右折しがち
- 睡眠不足や体調のすぐれないときでも運転しがち
- 走行中の飲食・わき見などの「ながら運転」しがち

1つでも がある方は事故を引き起こす可能性大!

危険を予測したあなたの安全運転で、**団体割引15%**が維持されます!

さらに 注意しましょう!

- 自転車
- 交差点
- 夜間走行
- 高齢者
- 子ども
- 二輪車

ZENROSAI NET 5116A304

気を付けていても起きてしまう車の事故への備えは...

じしろ マイカー共済

自動車総合補償共済

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会 自治労共済本部

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお預けいただく組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

※2018年1月までの団体割引率を記載しています。

2017春闘 討議資料

3月17日 全国統一行動

自治ひょうこ



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1491号

2017. 2. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/尾西亮太郎・編集人/宮本誠之

1・26統一闘争結果

安定した職員確保を確認

7単組がストを配置

反行革予算要求闘争は、確定闘争の積み残し課題と合わせ、新年度予算編成に反映する最終段階の闘争と位置づけ、1月26日を統一行動日として取り組んだ。闘争では7単組がストライキを配置。その他多くの単組で1月25日を前後して交渉が実施された。具体的成果として、播磨ブロックでは、明石が業務実態に合わせた人員配置、加古川も安定した職員確保を実施することを確認。高砂が結婚休暇の取得期間と

あわじで職務加算、淡路では職務加算と臨時職員の賃金引き上げを勝ち取った。但馬丹波ブロックでは、養父が合併後初めて技能労働者1人を募集、豊岡病院は、臨時職員の賃金改善と空白期間について前向きな回答を引き出した。県職労は1月31日に交渉を行い、適正な人員配置、業務削減、超勤削減の更なる推進など当局姿勢を確認した。また、行革プラン見直しに対する取り組みも並行して行っている。なお、神戸2単組(市職労、市従)は昨年12月にヤマ場を設定し、人員交渉を実施。市職労は人口急増の中央区市民課など人員配置で前進。市従は減員提示に対し、給食調理など一部修正し妥結している。

交渉出来る体制づくりへ 水道法の改正を学習

水道法の改正を学習

公企評

県本部公企評は、2月3(4日)ひょうこ共済会館で、水道集会和下水道部会交流会を開催した。

水道集和では、自治労働部公企評の奥野和人公企局長を講師に招き、公企労働者を取り巻く情勢や水道法の改正などを学び、広域化に対応するため県本部や単組の取り組みとして評議会を設立し情報共有や賃金、労働条件などについて労使交渉が出来る体制づくりが大事と強調された。



環境センターでの事前説明を受ける

臨職評学習合宿

教宣活動の必要性を確認

グループワークで活動力アップ

臨時・非常勤等職員の処遇改善の学習と交流を兼ねて、全単組代表者会議学習合宿を、1月28(29)日、ひょうこ共済会館で59人の参加のもと開催した。県本部臨職評の前田克子議長は知る事の必要性を訴え、「研究会の報告が年末

にあり、今後任用が変わっていく。今までの雇用や処遇も変わる心配がある。自分たちが働き続ける職場を守っていくために、二日間学習しよう」と述べた。また、県本部の尾西亮太郎書記長は「非正規だけでは声は出にくい。正規と共に結束し組合の力を付けて共に頑張ろう」と力強いあいさつを受けた。

その後、臨職評年間スケジュールの確認とストライキ批准投票実施の要請など、今後の活動の報告した後に、全単組報告を受けた。2日目は学習会「私たちの活動力アップ」と題してグループワークを開催し、①組織拡大について②賃金労働条件の改善について、班ごとに問題点を考え改善する方法を議論し導き出した。

組織化の問題点では、組合費を払いたくない、役員になりたくない等の意見が多く、組合に入らなくても改善された権利は非組合員にも波及する不満が複数の単組から出た。

賃金労働条件の改善では、自分たちの要求を諦めずに言い続ける事の大切さを全員で確認した。また、組合で勝ち取ったことをアピールするには、ニュース



グループワークで議論

を出すなど、教宣活動の必要性も確認した。(誠)

春闘勝利にむけ方針確立

兵庫からは三木裁判闘争支援を要請

自治労本部第152回中央委員会が1月26(27)日に東京で開催された。議案の部では、「総合的見直し」で広がった地域間格差差正に対する取り組み強化、非正規職員の雇用止め問題処遇改善や組織強化、脱原発、沖縄の反基地闘争への支援などの意見が出され、春闘方針及び当面の闘争方針について承認された。報告の部では、滋賀県本部から大津市当局の労使合意のない賃金改善に対する全国支援要請。鳥取県本部から境港市で臨時嘱託部会を結成し、雇用延長と賃金改善した報告がされた。



宮本副委員長が発言

なお、兵庫県本部からは宮本誠之副委員長が、三木市職の三木市公平委員会に対する裁判闘争への支援を全国の中央委員会に訴えた。(4面記事参照)

しこう

虚偽うその情報でつくられた「フェイクニュース」が拡散している。アメリカ大統領選挙では、「ローマ法王がトランプ支持を表明した」(クリントンがISに武器を供与した)という明らかにうそのニュースが発信され影響もあつたとされる。問題はこれらのうその情報を真実と受け止めることにある。客観的なデータや事実よりも、感情や個人的な心情へのアピールが世間形成に大きな影響を与えてしまう。パキスタンでは、フェイクニュースに反応した国防相がイスラエルへの核攻撃を警告する騒ぎもあつた。広告コードを張り付けると収入が開設者に入ってくるため、より扇情的な情報を発信することで収入を得ようとする者が後をたない。この仕組みを改めたい限り、「フェイクニュース」を止められない。うそと真実を見分けることが出来るかどうかで社会の行方は左右される。(誠)

いまいち座

トランプ旋風 地球をゆさぶる



大西 英剛

2C

①要求書提出 2月8日
遅くとも

②春闘キャ 3月8日
ポケット

③統一交渉 3月13日

④全国統一 3月17日
29分時間

2017年

①公務員賃 民間春闘
にむけた要

②地方財政 公共サー
vice、政府
時の取り組

③よりよい 取り組み
安心の地
にも、地域
連携を強化
とともに、
この確保・処

④格差は正 取り組
臨時・非
正規の取り
労働者の月
是正をめざ
労働者保護

4 格差是正と公正なワークルールの確立

(1) 非正規労働者の処遇改善

【処遇改善の取り組み】

年度末の雇用止め、雇
用制限等、雇用継続に向
け取り組みを強化する。総
取り組みを「2014 通知」を
活用し、「空白期間」の廃止
に取り組む。また、「通知」
曲解した不利益変更を伴
う一方的な任用根拠の見直
を阻止する。

賃金については、17春闘
において掲げる自治体最低
賃金（月額15万5800円以
上、日給7790円以上）を
確保し10100円以上の確
保。賃金改善額は、連合方
針などを踏まえ、「37円／
h・2％以上」の確保をは
かる。

(2) 民間・中小の労働条件底上げ

公共サービス民間労組と国一般労組の共闘強化により、地場の賃金相場の向をはじめ、共通する課題解決をめざす。

【公共サービス民間労組】
いため点検に取り組む。

賃上げ要求は「賃金カーブ維持相当分45000円＋賃金改善分60000円」を

(3) 労働者保護ルールを守る取り組み

改正労働者派遣法への対応について、採用は期間の定めのない直接雇用を前提に派遣労働者の保護の強化をはかる。

裁量労働制の緩和や特定強化する。5年を経なくても無期労働契約に転換等できるよう求める。

連合の「クラシソコアゲキャンペーン」に参加し世論喚起を行う。

労働契約法第18条

有期雇用が繰り返し更
ない。

新され

第19条
「雇止の法理」を規定し、無期労働契約（のときは労働者の申し込みにより、期間の定めのない労働契約に転換できる。）との間で、期間の定めがあることにより不合理に労働条件を相違させることの禁止。

6 組織強化の取り組み

「格差社会」や「官製ワーキングプア」などに象徴される社会状況は一向に改善されず、劣悪な条件で働く非正規労働者が増加している。また、安倍政権をはじめ保守勢力が労働組合を攻撃する中で、異本館は、運動そのものを敵視する情勢の中で、組合員の声を拾い上げ、たたかいて進めるという当たり前の労働組合活動を職場から作りあげることを求められている。

5 よりよい地域医療・福祉にむけた取り組み

賃上げ要求基準について基本的考え方とは次の3つ視点とする。

① 1点目はポイント賃金をざしつと少なくとも4%度以上の賃上げを獲得することである。2015年与制度の総合的見直しに生じたマイナス2%の復と、連合の掲げる「底上げ・底支え」(格差是正)の2%程度の2つを合わせた4%程度(定期昇給分を除く)の賃上げをめざす。

② 2点目は、すべての単組に年地域給与給与制度見直しによって引き下げられた4.8%と2010年の独自カット全国平均1.2%を足した6%の回復に必要な数値に、旧調整手当支給率5% (町村会準則)を2015年度賃金実態調査における実在者中央値に乘じて算出。

賃金到達目標を達成するためには、昇格・昇給運用を改善することが必須である。そのためにも、春の段階から調査シート(検付中)「ラスパイレス指数10%を最低水準」とする運動針を踏まえ、「ラス逆数から算出した率を運用改善の具体的目標に設定する」など、運用改善による賃金率の維持・向上をめざす。

③ 3点目は自治体最低賃金の確立。自治体に雇用されるすべての労働者、地域共サービス民間労働者は月額15万5800円、日給7790円、時給1011円、円の最低賃金以上を要求する。

組織化の3つを最重要課題

2016年6月の中央委員会で「組織強化・拡大のための16年次推進計画」を策定し、2016年7月から2020年6月までの4年間を対象とし①次代の担い手育成②新規採用者の組織

県本部の組織現状は、時の急激な減少は治まりつつあるものの基礎自治体職員員の減少が続いて、2016年6月調査は県本部組合員数は3万

「でももう限界が
院単組が」
おいても、医療従事者の雇

大、民間委託状況等の「見える化」の徹底、深化、拡大等に対し政府・国会対策を強化する。

骨太方針2016においては、地方行財政の「見える化」を前年度に比べてより一層強調し、窓口業務の委託については、民間委託等への加速に加えて、業務改善をはじめとするさまざまな取り組みの全国展開や広域化・共同化を軸に各種取り組みを行うとしている。特に、交付税算定に行

ど地域に必要な行政サービスを引き統確保することをめざして、「自治体財政確立の取り組み」を2017年の春開期から始める。2018年度では地方財政計画の確立をめぐっては、自治体議員連合と連携し地方自治法第99条に基づく地方議会の決議、意見書採択をめざす。また、公務労協の「良い社会をつくる公共サービスキャンペーン」と連携して春開期から地方財政確立の取り組みを進める。

の組織拡大を進めていかな

ている。しかし、地道な組織拡大活動により、一時の急激な減少は治まってきている。今後は、更なる組織全体の取り組みにより、当然に組織及び関連団体を正規職員及び関連団体を組織を上げて具体的な取り組みを進めている。このために県本部は、組織的影響力を発揮するためにも大変重要と言える。そのために県本部ブロック単組、各評議会が組織を上げて具体的な取り組みを進めている。

7 反戦・平和、政治活動の推進

1月20日に開会した第193回通常国会の冒頭、安倍首相は憲法審査会に具体的な議論を呼びかけた。憲法施行70年を迎える本年、改憲をめぐる攻防は激しさを増す。

県本部は、本部や平和フォーラムに結集して、安倍政権や自民党が企図する「憲法改正」の中身を考え、改憲阻止の運動を強める。

憲法記念日には、「戦争させない、9条壊すな!総がかり行動兵庫県実行委員会」が主催する集会成功に全力をあげる。地域では戦争をさせない1000人

委員会・ひょうごが毎月行
う19日行動をはじめとする
幅広い運動を追求しよう。

政府は今国会で「共謀罪
(テロ等組織犯罪準備罪)
の成立を目論んでいる。共
謀罪は、「行為を処罰する」

という刑事法体系の基本原則を覆し、国民の基本的人権を制限するおそれがある。共謀罪阻止の取り組みを強める。

安倍首相は昨夏の参院選挙以降、沖縄の新基地建設を強行している。東村高江に建設したヘリパッドでは、昨年末に墜落したオスプレイが昼夜問わず訓練を

行い、住民生活を脅かしている。辺野古は、和解協議を反故にし沖縄県を提訴、上告審において沖縄県の敗訴が確定したことを受け建設工事を再開している。

「沖縄県民の民意尊重と、

基地の押し付け撤回を求める全国統一署名」(3月22日集約)への取り組みに集中しよう。

安倍内閣は、反動的な政治を推し進めている。根本部は、次期衆議院選挙に向けてよこした和幸(組織内兵庫3区)を推薦している。総力をあげ議席確保へ向けたたたかいを強めよう。

三木市職
措置要求却下は違法
取り消し求め提訴

三木市職は、三木市公平委員会の「措置要求を却下する」との判定に対し、「地公法上の措置要求制度を否定するものであり、却下判定は違法」として2月3日、神戸地裁に対し「却下を取り消す」よう提訴した。県

記者会見を行う三木市職
の西垣委員長（中央）

本部も対策委員会を設置し、共に裁判闘争と取り組む。

三木市当局は、15年4月に労使合意なく一方的に「給与制度の見直し」を行なった。月額給与3万4千円減る職員もあり、組合員66人が、この見直しにより「大幅減額となった給与を、現給保障もしくは激変緩和を講じる」と公平委員会に対し「措置要求」を提出したが、公平委員会は16年9月12日に「条例の制定改廃を要求するものではない」として「措置要求を却下する」との判定を下していた。

長期共済 | **税制適格年金**

退職後：新団体年金共済 個人年金共済 個人長期生命共済 終身生命共済

じちろう共済で
年金への不安を解消しよう。○○○

未来の安心のために
今から積み立て！

将来の資金のためなら「長期共済」「税制適格年金」がおすすめです。

理由1 将来の見通しがハッキリ！

例えば、組合員本人の年金年額は12万円～120万円で選択。「決まった額を受け取る」から安心です。

理由2 運用の知識は不要！

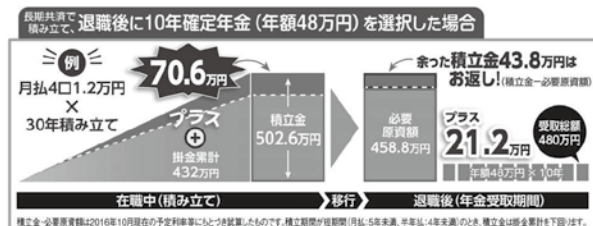
積立金は全労済が管理・運用を行います。あなたはコツコツ積み立てるだけでOK。

理由3 お得な「随時払」も利用できる！

余裕資金を積み立てに充当できる「随時払」。しかも積立年数1年以上で、積立金
が払い込んだ掛金を上回ります。月払契約が1口でもあれば利用できます。

理由4 積立金や必要原資額があらかじめ把握できる！

在職中の積立金は、積立年数でおおよその額がわかります。また、退職後の年金給付に必要な掛金額（必要原資額）もだいたい決まっていますので、「いつまでにいくら貯めたい」という目標から、毎月の積立計画が立てられます。



※ご契約にあたっては、パンフレットをご覧ください。ご不明な点があれば、まずは所属の組合にご連絡ください。

集団的自衛権の行使 は憲法9条で禁止

憲法第9条（後編）

シリーズ ④
憲法施行70周年

「すべての加盟国に対し
平時は、武力を用いる行
動をしてはならない」と
定めている。

他国から侵略行為があつた場合、安全理事会が決定すれば、加盟国が団結して武力行使を行うことが許される。ただし、この定めだけでは、他国からの侵略行為があつた場合、責められてゐる国は安保理の決定を下すまでの経過措置として、全加盟国につ



昨年5月の憲法集会

変遷の末、1981年5月29日の政府答弁により、一個別的自衛権は、憲法9条の範疇内にあり、「集団的自衛権」については、許容範囲を超え憲法上許されないとの考えで固まった。

2014年7月1日政府は、集団的自衛権の行使を容認する閣議決定を行った。その理由は「我が国を取り巻く安全保障環境の変化に対応するには、これまでの憲法解釈のままで十分な対応がとれない」といっている。

これでは憲法上
ない」とされてき
を閣議決定や法律
により変更すること
質的な憲政であり、
主義に反するもの
憲法第9条

日本国民は、(中
権の発動する戦争
力による威嚇又は
行使は、国際紛争
する手段としては
にこれを放棄する

2項

前項の目的を達
め、陸海空軍その
は、これを保持し
交戦権はこれを認

「でき
たこと
改正に
は、実
立憲
ある。
と、武
武力の
を解決
、永久
するた
他戦力
ない。
ない。



市選
大畑利

大畑利明さんを推薦

自治労組織内予定候補者で現職の大畑利明さんを推薦し、取り組みを進めている。

大畑さんは2期目に挑戦する。県本部は当該単組とともに取り組みを進めており、兵庫県内在住組合員はもちろんのこと友人・知人への働きかけを要請する。

ホウ	イシ	ー	ル	キ	ヤ	ツ	ブ	ツ	ノ
フク	ヨウ	ウ	ス	ソ	カ	カ	ラ	ン	グ
ク	ウ	キ	イ	ト	シ	ド	シ	キ	ン
ゼ		コ	ウ	シ	ン	ケ	ダン	キ	ジ
ツ	ク	エ		ヨ	ク	シ	ツ	シ	ウ
ト	チ	マ	エ	ウ	ス	リ	ウ	ヤ	ク
ウ	ブ	ゴ			ツ	キ	チ	ク	サ
	エ	マ	エ	シ			コ	ハ	ヤ
	ユ	ア	ビ	ー	ル	ニ	ハ	ン	カ
カ	ナ	ブラ	ン	ク	ジ		ン	アイ	ス
タ	カ								

障労評電話相談の実施

期 間 2月27日(月)～3月4日(土)
 受付時間 9:00～17:00
 連絡先 TEL 078-392-0820
 FAX 078-392-0920
 E-mail
 k-yamanaka@iichiro-hyogo.jp

新春クイズ当選者発表
正解は「日本最速のピッチャーは」
と「大谷翔平」でした

自治ひょうご1月1日号の新春
クロスワードクイズへの応募総数
は270人でした。厳正な抽選の結
果、当選者は以下の通りです。

【5000円商品券】 5人

大西 礼子さん(市町村共済労組)
中野 孝也さん(神戸市役)
金井 照恵さん(尼崎市職労)
後藤 智美さん(加西調校員労組)
高槻 淳一さん(丹波市職労)

【1000円図書カード】 10人

前田 順子さん(尼崎競艇労組)
中田 理香さん(淡路市職労)
義穂 輝之さん(神戸市役)
藤原 守さん(姫路市役)
大前 昌代さん(篠山市職労)
前野 良輔さん(宍粟市職労)
岡田 健児さん(宝塚市職労)
中川 裕之さん(尼崎水労)
楠目友恵さん(神戸市職労)
浜田 佳奈さん(丹波市職労)

当面の日程

- 3日 県本部現業闘争2017交流集会（共済会館）
 4日 2017春闘勝利官公部門連絡会決起集会（東遊園地）
 連合兵庫2017春季生活闘争総決起集会（東遊園地）
 兵庫自治研究センター地方財政セミナー（共済会館）
 8日 春闘地域宣伝行動（主要ターミナル）
 11日 県本部卓球大会（和田山体育センター）

自治ひろこ



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL 078-392-0820 FAX 078-392-0920
 http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail: jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1492号

2017. 3. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円
 購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部
 書記長／尾西亮太郎・編集人／宮本誠之

子の看護休暇に 診断書提出は不要

女性部 県に子育て支援の充実訴える



制度未実施の実態改善を求めた

女性部は対県交渉を2月16日に行った。子育て支援の制度化未実施団体の状況確認では、男性の育児参加休暇、短期介

護休暇などで改善があったものの、まだ未実施自治体があることを確認した。女性部は、「職員の多くがマイカー通勤を理由に妊婦の通勤緩和を求めない自治体がある」と指摘すると、県は「制度なので導入すべき」との見解を示した。

子の看護休暇の手続きは簡素化として、女性部は「診断書は不要では」と追及。県は「自治体の運用に細かく助言できないが、問合せがあれば県の運用（診断書も領収書も不要）を伝える」との回答にとどまった。

更に、低成長でデフレ脱却をめざす取り組みについては、「仕事に見合っていないか」「産業／地域の相場と比較して不合理な格差はないか」を点検し、課題が



6本の発言で確定総括の議論を深めた

47単組51人が参加。議案「闘争中間総括」「参議院議員選挙闘争総括」「春闘方針及び当面の闘争方針」が

県本部2017春闘討議集会を2月11日、神戸フールツフワーパークで開

賃金、公契約条例など 4分科会で議論深める

春闘討論集会

論を深めた。

問題提起を行う連合の福永事務局長



4月16日投開票の宝塚市長選挙。県本部推薦の中川ともこ市長は、2代続けて市長が汚職で逮捕され混乱した市政を立て直した。

現職市議2人も出る。「民営化しろ」の候補に、「いのちと暮らしを大切に」の市政を根こそぎにさせたくないという期目と挑戦する。宝塚市在住の組合員友人の紹介を要請する。



中川ともこ宝塚市長(左)

地域医療・福祉守ろう

17春闘の方針確認
 6単組から発言も

第201回中央委員会

県本部は、2月10日神戸市内で第201回中央委員会を開催した。春闘方針では、「4つの重点課題」について取り組みを強化し、3月17日の統一行動日を背景に要求の前進をめざすことを確認した。

47単組51人が参加。議案「闘争中間総括」「参議院議員選挙闘争総括」「春闘方針及び当面の闘争方針」が

春闘方針では、①公務員賃金の改善めざし、民間春闘の動向を踏まえた賃金到達目標に向けた要求を行う

差是正。労働者保護ルール改悪に反対」の4つの課題について重点要求として取り組みことを提起した。

質疑では、6単組から発言があった。人事評価後の分布状況の公表をさせた。今後の意見反映をめざす。合併後初めて現業職を採用。（養父市）

沖縄県民の民意尊重と基地押し付け撤回を求める全国署名
 取り組み期間を延長
 3月22日(水)まで

に取組む。支援をお願いする。（三木市職）

臨時職員の公募試験撤廃闘争で、能力実証制度に。3年・5年の公募は課題として残る。淡路市職労「独自の賃金カット撤回」に向け、「公平委員会の措置要求却下取り消し裁判」

病気休暇・夏季休暇改悪反対で取り組み強化。夏季休は継続交渉で現行どおり。（新温泉町職労）

宝塚市長選挙

いのちと暮らしを大切に
 3期挑戦・中川ともこ市長

しこう

トランプ米大統領のツイッターでのつぶやきの真偽が問題視されている。大統領の「不勉強」が根底にあると

いまいち座



おやすみ漫

第1分科会は、「地方財政の確立と地方公務員の賃金を考える」をテーマに24人が参加した。「地方公務員の賃金改善」について、「人勤率」では地方での給与水準を確保・底上げは困難な状況。給与制度の総合的見直しなどにより、地域手当では支給地域と無支給地域で自治体間格差が生じるなど、国と地方、そして自治体間で格差拡大傾向にある状況が説明された。参加単組からも賃金交渉経過が報告され、格差は正への取り組みで多くの単組が課題を抱えていることが浮き彫りになった。「地方財政の確立」への対応では、「骨太方針」の「トップラン

参加者の自己紹介のち、奥本部が依頼した、武庫川ユニオン小西純一郎書記長より「最低賃金制度の重要性」と題し問題提起。小西さんは、「格差と貧困が広がる中、最賃制度は重要な役割を担っている。自治体の中心を担っている」とした。

安心の地域医療・福祉を守る

よりよい医療・福祉に向けて

2017春闘の重点課題に今回「よりよい地域医療・福祉に向けた春闘の取り組み」が新たに付け加えられた。消費税の引き上げが先延ばしにされる社会保障費が削減される中、安心の地域医療・福祉を守るためにどのような取り組みを行うべきか、現在の地域医療の実態も交えながら19人が討論を行った。



町職連協の取り組み分科会では、各単組の交渉力と闘争への結束力が低下しており、改めて組織強化に向けた取り組みが重要であることを分科会の目的として、5単組の参加で相互討論を行った。

交渉力低下改善に向け学習会が必要

町職連協の取り組み

町職連協の取り組み分科会では、各単組の交渉力と闘争への結束力が低下しており、改めて組織強化に向けた取り組みが重要であることを分科会の目的として、5単組の参加で相互討論を行った。



阪神淡路17アンケート結果 賃金要求27,755円 課題は欠員補充・臨職の雇用

回答は3,988人(73.2%)、半数近い46.0%が「生活の苦しさ」を訴えている。切実な問題は「貯金・保険(老後生活の備え)」で39.4%、重視すべき課題では「欠員補充・人員増・労働量の軽減」が44.9%、臨職は「雇用確保・待遇改善」が50.2%と大きな割合を占めている。賃金要求は平均27,755円。重視する手当は一時金で71.9%、一時金要求の平均は夏2,460円、冬2,880円となっている。そして、厳しい生活と職場実態の改善に向け「年休闘争」77.2%、「超勤拒否」66.3%、「決起集会」79.4%、「ストライキ」69.2%と多くの参加の声が示されている。



労働局と交渉する障勞評の幹事

法定雇用率上回る指導を
障勞評 兵庫労働局と交渉
県本部障勞者評議会
は、昨年1月に提出した「障害者雇用の推進にむけた要求書」に対する回答に基づき、2月13日に兵庫労働局と交渉を行った。

ZENROSAI NEWS
5113F049

団体生命共済

団体定期生命共済

ライフステージに合わせて、毎年保障を見直そう!

自分にはこの保障...あってるのかな...?という方も安心!団体生命共済なら、1年更新なので、ライフステージに合わせて毎年保障も見直すことができる☆

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済本部

全日本自治体労働者共済生活協同組合

ご契約にあたっては、パンフレットをご覧ください。

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいた組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

結婚 出産 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代 90代 100代

◆ご不明な点があれば、まずは組合員にお問い合わせください◆

全労済自治労共済本部資料より引用

当面の日程

- 16日 春闘中央行動（東京）
 17日 春闘自治労全国統一行動日
 18日 近畿地連現評組織集会（大阪 PLP 会館）
 25日 連合兵庫政策懇談会（中央労働センター）

自治ひろこ



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
 http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1493号

2017. 3. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円
 購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部
 書記長／尾西亮太郎・編集人／宮本誠之

超勤・人員・人事評価 で意見交換(県本部春闘オルグ)

県本部は「春闘を年間闘争のスタート」とし、2月16日から単組オルグを実施。県本部春闘方針の説明と、各単組の状況と課題について聞き取りを行った。阪神淡路ブロックでは、北阪神で、三田・川西でそれぞれ出された「市民病院経営改革プラン案」を受け、当該単組と対策を協議するとともに、近隣単組とも課題を共有した。南阪神では、芦屋非正規3単組の組織拡大の取り組み、淡路地区では、洲本市の独自カットの課題や3単組に共通する人員要求の課題などについて、意見交換した。播磨ブロックではオルグで31単組と意見交換を行った。都市職のみならず、多くの町職も長時間労働が増加し、とりわけサービス残業が横行しているため、交渉のみならず安全衛生委員会でも労使でサービス残業の

存在を確認し是正していく事を確認した。但丹ブロック内では、人事評価に伴う一時金への反映が既に養父と朝来で導入されているが、今年6月から豊岡、香美、新温泉、篠山で導入。今後は公平性・透明性の追求とともに、評価面の検証と意見反映など、取り組み強化が必要。八鹿病院は夜勤手当引き上げ検討、丹波臨職は今年1月から賃金改善となった。

開催された。講演では安井智士県本部青年部長を講師に「春闘とは何か？」をテーマに公務員にとって春闘がどう関係するのか、賃金の用語説明や賃金決定までの流れについて説明を受けた。分散会では、事前に配布したアンケートを参考に各職場の問題など意見を出しあった。

2日目の講演では山本由美子県本部女性部常任委員を講師に「女性の働く権利を確立強化月間について」と題し、出身単組（神戸市延の活動や女性の権利と労働組合の意義について学習し、その後の分散会では「知らない（休暇）制度や権利などがあつた」「休暇を取得しやすい環境が必要」「男性女性がお互いに理解し合う」とを単組でも活かしていただきたいと総括し、藤野祐希但丹ブロック青年女性部長の団結がんばろうで春闘討論集会を締めくくった。

いまいち座

プレミアムフライデー



吉田ノボ

2月17日の交渉では、委員長クラス交渉委員が要求書を提出し、非常勤職員を含めた公務員労働者の賃金を引き上げること、超過勤務を着実に削減すること、職員の希望通りの再任用を実現し生活水準を確保することなどを強く求めた。

リットありますか？」



自治労からは県下各地から250人の組合員が結集

単組からは約250人が結集した。集会では県本部委員長でもある森薩守官公部門連絡会委員長は「長時間労働の規制や臨時職員の処遇改善のための国会審議がされているが、私たちは春闘のたたかいを通じて、働き続けられる取り組みを進めていかなければならない」とあいさつを行った。

来賓としてあいさつに立った辻芳治連合兵庫会長から「消防職員の団結を是とするILO勧告の早期批准や、パート労働法適用除外となっている公務員職場における臨時職員の雇用安定をめざさなければなら

ない」と激励を受けた。集会では「公共サービス基本条例・公契約条例の制定をめざし、地域経済の活性化に取り組む」ことを決議した。

11時からは参加者全員が、連合兵庫総決起集会に参加し、集会後は元町駅までデモ行進を行った。

但丹ブロック 青年女性部

公務員と春闘の関係を学習



講演を行う安井県本部青年部長

賃上げ・超勤縮減を求める

中央本部 政府・人事院と交渉実施

労働学校受講生募集中

労働組合の基礎を学習する労働学校の受講生を募集中

日時	4/21(金)13:30～22(土)正午
場所	ひょうご共済会館
内容	講義① 労働組合の意義と自治労の取り組み 講義② 自治体労働者の賃金分散会交流 講義③ 組合活動活性化に向けて
参加費	①夕食代 2,000円 ②宿泊代（朝食含）3,000円
対象	①青年女性組合員 ②労働組合の基礎を学びたい組合員
申込み	各組合書記局を通して県本部まで

しこう

「一年生になったら友達百人できるかな」入学式はおおらかな学校開校自体が危ういニュースを興味深々見る。そ

も「学校」と言えるのか。国有地がパーセンセルでも届かないような値引き率で売られていたら税負担がアホらしくなる。思えば、

小な会社で社会人一年生になつて労働組合に入ったおかげで交流は広がり「友達百人できたなあ」と安心した。組合活動をしなが、組合費負担と税金負担を考えるようになった。地域の自治会、PTAも組合と同じ感覚で違和感なく受け入れられた。「自治」の意識を育ててもらったのだらう。

「組合に入ったらメリットありますか？」組合未加入者の言葉だ。地方「自治」の現場で働く公務員なのにね。税金を滞納しても、県道は通行できるし、市民病院も受診できる。組合入らなくとも同じように改善される。「税金払ったらメ

自治体の姿勢が戦争止める力に 非核神戸方式と港湾法



非核「神戸方式」の碑。海岸通りの神戸華僑歴史博物館の前にある

1975年3月18日、神戸市議会は、神戸港に入る外国艦船に非核証明書提出を求め、「非核神戸方式」を決議した。その前年、元米海軍提督のラロックが「日本に寄港する艦船は核を外さない」と発言、政府方針である非核三原則を実効的

なものにするために、決議にいたった。背景には、商業港として発展してきた神戸港を平和な港にしたいと願う市民、そして港湾労働者の思いがある。敗戦後、米軍の占領下におかれた神戸港は、52年以降順次返還され、最

後の第6突堤が帰ってきたのは74年である。その間、朝鮮戦争時には軍需物資を載せた軍艦や民間船が神戸港を出発、港湾労働者は荷役としてかり出された。戦争と隣り合



今後の取り組みへの豊富化を議論

核を搭載しているかどうか公開しない。非核証明書提出できないため入港できず、事実、75年以降、米艦船は1隻も神戸港に入っていない。根拠となつてゐるのは、自治体に港湾施設管理権を認める港湾法だ。政府は周辺事態法や重要影響事案法を定め、有事の際自治体の協力を得るとしてゐるが、あくまでも「要請」で強制はできない。自治体が平和行政を進めるため、戦争につながる動きには声をあげる必要だ。

シリーズ 憲法施行70周年 ⑥

県本部衛生医療評議会主催の病院集会を3月5日に75人の参加のもと、ひょうご共済会館で開催した。集会は「労働組合の視点でチーム医療を考えよう」をテーマに、公立紀南病院

の9人のグループを組んだほか、職種混合で職場の問題や解決策のアイデアなどを話し合った。参加者アンケートでは「臨床工学技士にスポットを当ててもらえてよかった。まだまだ確立されてい



主催あいさつをする飯田衛生医療評議長

衛生医療評病院集会

職場の問題や解決策を考える

する運営形態変更の動きについて、当該労組の山元祐

副委員長から、県本部ブロックや北上哲仁川西市議と連携した取り組みの報告がされた。

分散会は、臨床工学技士のみ9人のグループを組んだほか、職種混合で職場の問題や解決策のアイデアなどを話し合った。

参加者アンケートでは「臨床工学技士にスポットを当ててもらえてよかった。まだまだ確立されてい

地域医療を支える人材確保

衛生医療評 環境改善を求める
対県交渉

県本部衛生医療評議会は、今年度の「兵庫県の医療介護の環境改善を求める要求書」を2月13日に提出。3月2日に県当局（健康福祉部）との交渉を実施した。

交渉では、特に「地域医療構想や新公立病院改革プランが策定される中で、労働条件を引き下げるような方向で進めば地域医療を支える人材の確保はできない」「介護福祉士の受給者数が半減したとの報道がある。職業のイメージアップと処遇改善をしないと定着は見込めない」「医療勤務改善交換や要望を伝えた。



現場の実態を訴える交渉団

コスト論のみでの骨太方針に危惧

県本部現業評議会は3月3日、現業闘争2017交

流集会を開催し、20単組71人が参加、16現業闘争の中間総括から今後の取り組みへの豊富化を図った。

講演では青木慎吾現業、公企部長が、骨太方針2016について「地方交付税の単位費用をトップランナー方式で積算を反映、イノベーション化見える化では民間委託状況と比較

可能な形で公表され、委託が進んでいない分野の更なるコスト比較の公表へと公共サービスがコスト論のみで進められている」と述べた。分科会では、現業賃金労働条件改善、安全衛生体制、闘争サイクル、介護職場改善のテーマごとに実施し、参加者の活発な議論、交流が交わされた。

資金づくりに「失敗」はありますか？

ワタシは失敗しないので

将来の資金のために

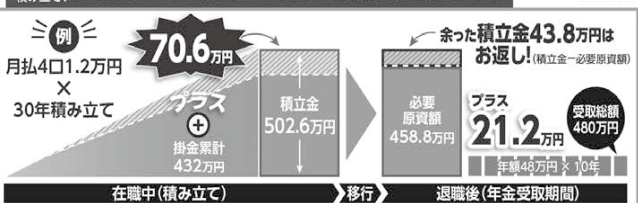
長期共済

税制適格年金

- 年金は「決まった額を受け取れる」から安心です。●あなたはコツコツ積み立てるだけでOK。
- 「いつまでいくら貯めたい」という目標から、毎月の積立計画が立てられます。

長期共済で積み立て、退職後に10年確定年金（年額48万円）を選択した場合

ZENROSAI NEWS 5116G199



在職中（積み立て） 移行 退職後（年金受取期間）

積立金・必要原資額は2016年10月現在の予定利率等に基づき試算したものです。積立期間が短期間（月払：5年未満、年払：4年未満）のとき、積立金は掛金累計を下回ります。税制適格年金は、積立金全額を年金給付の原資に充当していただきます。

ご契約にあたっては（シ）プレットをご覧ください。ご不明な点があれは、まずは所属の組合にご連絡ください。

全労済

自治労共済本部

全労済自治労共済本部資料より引用

当面の日程

- 1日 障害者春闘2017（神戸市勤労会館）
15日 「ピースファースト」戦争をさせない関西大
行進」（大阪市北区・扇町公園）

自治ひろこ



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL 078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail: jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1494号

2017. 4. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円
購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部
書記長／尾西亮太郎・編集人／宮本誠之

春闘対県交渉

賃金水準引き上げを要請

ラス100以下の団体へ助言を

県本部は春闘期の取り組みとして、3月9日に県人事委員会、3月10日には兵庫県知事に申し入れを行い、3月13日の市町振興課との交渉では、自治体労働者の賃金労働条件の改善に向けて最大限の努力を行うよう要請した。

県本部は県職労とともに 太田和成委員長へ、翌10日3月9日に県人事委員会の

申し入れを行った。

3月13日の市町振興課交渉では、「ラス100以下の団体に対して、特別昇給の運用などを活用し水準引

き上げを助言すべき」と要請。市町振興課は「給与実態調査で要因を分析したうえで、給与制度に問題がないか助言はしている」と回答。県本部は「制度上の特昇運用がされていない事が問題であり、自治体の財政上の問題ではない。各自自治

体が特昇財源を確保しているのか」と質したのに対し、「国や県の財源確保方法などについて助言したい」とした。

また「非正規職員について3年後の改正地公法施行時点での、この間労使交渉で積み上げた現行の給与水準が引き下げにならないかと懸念している」と質したのに対し、市町振興課からは「各市町で取り扱いが異なっている事実は確認している。そのため施行後円滑に進めるように制度運用の仕分け作業の中で国の方針も踏まえ、労使で検討されるものと考えている。水準

継続協議を確認

3・17統一行動



3月16日中央行動の様子

今年も4分の1が経過。1月、2月、3月と目まぐるしく過ぎて行った。そんな中、子どもの教育に関する施設の問題が連日報道されている。森友学園しかり、姫路では認定こども園のいろいろな問題が噴出している。この時期に子ども達の進路がなくなってしまうということは、子どもの未来に影響し、そして働く人の負担も大きな課題となってしまう。なんのために認定こども園なのか。認定こども園を否定するわけではないが、小泉内閣で、行政サービスは「民にできることは民に」を合言葉にいろいろなサービスが民間へと変わってきた。民営ならなおさら、財政を追求するだろうが、そのついでにこうしている形で表面化してきている。▼今も役所の窓口を民間委託しよう、法改正しようとしたりしている。行政サービスって何なんだろうと考えさせられる今日この頃である(と)

自治労カップへの協賛を

県本部は、結成50周年を記念し「自治労カップ」と称し少年野球大会を後援している。

5月3日、「第4回自治労カップ・全日本少年軟式野球大会兵庫県予選会」第3回自治労カップ・学童軟式野球大会兵庫県決勝大会」が、尼崎市ベイコム野球場で開催される。そして、多くの組合員が審判や応援で大会に関わっている。予選を勝ち抜き各地区代表の中学生36チーム、学童32チームが、自治労カップめざし覇を競い合う。地元代表を応援する意味でも各単組、野球部からの協賛をお願いします。



昨年は27団体が協賛

春闘の意義を学習

播磨B
靑女部

播磨ブロック青年女性部は春闘期の取り組みとして3月8～15日の間に4地域に分かれて青年女性部地域別春闘学習会を開催した。4地域で18単組延べ70人が参加。「なぜ自治体労働者が春闘を取り組むのか」という基本的な課題をブロック青年女性部員が講師となり学習会を実施。1年間の闘争サイクルを見ながら春闘と人事院勧告の関係、民間春闘の構造、人事院の官民比較方法などを学習した。

参加者からは「何となく春闘という言葉は理解しているつもりだったが、学習会であらためて、春闘と人事院勧告の関わりが分かった」などの感想も聞かれた。播磨ブロック靑女部では5月19・20日に新入組合員交流会も実施予定としており、引き続き学習と交流を深めていく。



春闘と人勤の関係性を学習

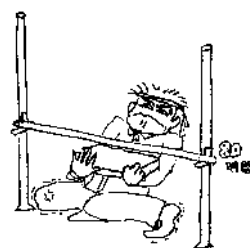
公営競技春闘学習会 組合活動に 観客席はない

公営競技春闘学習会が3月10日、労金尼崎で40人が参加し開催された。講演で県本部の青木慎吾現業公企部長は「安倍政権の掲げたきたアベノミクスによる消費税の見送りは、更なる歳出削減として「公共」に働く者に焦点をあてた賃金労働条件引き下げ攻

撃へと拍車をかけている。対峙していくために団体交渉権・労働協約締結権を活用し、「要求交渉・妥結協約」交渉サイクルの確立が重要で組織強化にも繋がる。組合活動の取り組みに観客席はない。組合員全員がプレーヤーである」と今春闘への結束を訴えた。

「公共」に働く者に焦点をあてた賃金労働条件引き下げ攻撃へと拍車をかけている。対峙していくために団体交渉権・労働協約締結権を活用し、「要求交渉・妥結協約」交渉サイクルの確立が重要で組織強化にも繋がる。組合活動の取り組みに観客席はない。組合員全員がプレーヤーである」と今春闘への結束を訴えた。

いまいち座
「KAROSHU」ライン越えますか



松本 真紀子

自由な表現活動 萎縮 盗聴・密告常態化に 共謀罪成立に反対しよう



テキスト「一からわかる共謀罪」(200円)。問い合わせは県本部まで

「表現の自由」は、憲法に明記された権利の中でも、最も重要な権利の一つといわれる。その理由は、表現活動は民主主義が機能するための大前提であること、そして権力によって傷つけられる危険性が高いからだ。3月21日に政府が議決した共謀罪を盛り込んだ「組織的犯罪処罰法改正案」は、権力が市民生活を監視し、自由な表現活動を萎縮させるおそれがある。

法律に違反する行為を話し合い「合意する」として共謀罪になる、これが共謀罪である。日本の刑事法体系は、実際の行為や結果が生じなければ罪に問われないのが原則だが、共謀罪はこれを覆す。例えば、イスラエルに爆撃されたパレスチナのハマスが関与する学校を再建するための募金活動を行おうと、現地の状況を調べはじめた。この時点でテロ資金供与防止違反の共謀罪が成立する。犯罪組織の規定も曖昧だ。法案では2人以上で、その目的が罪を実行する集団という。しかし、犯罪遂行を目的に定める組織とされる恐れがある。

決定した共謀罪を盛り込んだ「組織的犯罪処罰法改正案」は、権力が市民生活を監視し、自由な表現活動を萎縮させるおそれがある。

法律に違反する行為を話し合い「合意する」として共謀罪になる、これが共謀罪である。

共謀罪である。日本の刑事法体系は、実際の行為や結果が生じなければ罪に問われないのが原則だが、共謀罪はこれを覆す。例えば、イスラエルに爆撃されたパレスチナのハマスが関与する学校を再建するための募金活動を行おうと、現地の状況を調べはじめた。この時点でテロ資金供与防止違反の共謀罪が成立する。犯罪組織の規定も曖昧だ。法案では2人以上で、その目的が罪を実行する集団という。しかし、犯罪遂行を目的に定める組織とされる恐れがある。

共謀罪である。日本の刑事法体系は、実際の行為や結果が生じなければ罪に問われないのが原則だが、共謀罪はこれを覆す。例えば、イスラエルに爆撃されたパレスチナのハマスが関与する学校を再建するための募金活動を行おうと、現地の状況を調べはじめた。この時点でテロ資金供与防止違反の共謀罪が成立する。犯罪組織の規定も曖昧だ。法案では2人以上で、その目的が罪を実行する集団という。しかし、犯罪遂行を目的に定める組織とされる恐れがある。

シリーズ 憲法施行70周年 ⑥



決勝戦の様子②
ふるまわれた若津ねぎの天ぶら①

神戸が7度目の優勝 ベストメンバーで王座奪還

第12回卓球大会

県本部は第12回卓球大会を3月11日、朝来市内で開催し、神戸市職労が優勝した。12チームが出場。予選リーグを勝ち抜いた県職労、神戸市職労、神戸市従、六栗市職労で決勝トーナメントをたかった。決勝には神戸市職労と六栗が

進み、男女の総合力で勝る神戸が優勝した。「今年は若手、ベテランともにベストメンバーで挑めた。予選で昨年優勝の姫路に勝ち、勢いに乗れた」キャプテンの三宅栄治さんは笑顔を見せた。神戸は通算7回目の優勝、六栗は初めて準優勝まで進み、今後の活躍を伺わせた。

大会は、朝来市職労に受け入れ準備をいただいた。開会式で同労組の足立尚幸委員長は、「大会にあたって市職労で歓迎のほり旗を作成し、組合員にメッセージを書いてもらった。また地元特産の岩津ねぎの天ぶらを会場前で準備している。楽しんでほしい」とあいさつ。市職労全体で大会を盛り上げた。

労働学校受講生募集中

労働組合の基礎を学習する労働学校の受講生を募集中

日時	4/21(金)13:30~22(土)正午
場所	ひょうご共済会館
内容	講義① 労働組合の意義と自治労の取り組み 講義② 自治体労働者の賃金分散交流 講義③ 組合活動活性化に向けて ①夕食代 2,000円 ②宿泊代(朝食含) 3,000円
参加費	①青年女性組合員 ②労働組合の基礎を学びたい組合員 各組合書記局を通して県本部まで
対象	
申込み	

地方財政 セミナー トップランナー方式は大問題

兵庫地方自治研センターは3月4日「地方財政セミナー」を開催し自治体議員、首長らを含め24人の参加があった。

共謀罪である。日本の刑事法体系は、実際の行為や結果が生じなければ罪に問われないのが原則だが、共謀罪はこれを覆す。例えば、イスラエルに爆撃されたパレスチナのハマスが関与する学校を再建するための募金活動を行おうと、現地の状況を調べはじめた。この時点でテロ資金供与防止違反の共謀罪が成立する。犯罪組織の規定も曖昧だ。法案では2人以上で、その目的が罪を実行する集団という。しかし、犯罪遂行を目的に定める組織とされる恐れがある。

講座Iでは、奈良女子大学名誉教授の澤井勝さんから「2017年度地方財政計画の内容・評価と財政分析活動のすすめ」の講演を受けた。

講座IIでは、上野英一県会議員から、兵庫県の「平成29年度当初予算案」と「最終2カ年行革プラン案」の課題を中心に説明を受けた。講演から学んだ特徴点は次のとおり。

2017年度地方財政計画のもっとも大きな問題は、「トップランナー方式」の導入で、基準財政需要額算定を通して各自治体運営方針を一定の方向(ここでは民営化)に持っていくことにある。これは、一般財源を保障し、地方自治を支えてきた地方交付税制度を

市長選挙 予定候補を 推薦決定

県本部は3月6日の執行委員会で4月に行われる伊丹市と淡路市の市長選挙に、それぞれ次のとおり予定候補を推薦決定した。

伊丹市長選挙
4月9日告示、16日投開票
予定候補者 藤原 保幸
淡路市長選挙
4月16日告示、23日投開票
予定候補者 門 康彦

総合共済 団体生命共済 長期共済 税制適格年金 親子共済 全労済の住みいる共済 マイカー共済

新生活の季節 安心の花を 育てませんか?

在職中の保障に加えて、積み立て型の共済もあります。 ※ご契約にあたってはパンフレットをご覧ください。

この春、新生活を始める
あなたのニーズに合わせた
プランをご用意いたします。

ZENROSAI NEWS 5114V351
ご不明な点がなければ、まずは組合にご連絡ください。

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済本部 全日本自治体労働者共済生活協同組合

全労済は、営利を目的としない保障の生命として共済事業を営み、組合員の皆様の安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただけて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

全労済自治労共済本部資料より引用

当面の日程

- 21日 連合兵庫政策フォーラム定期総会(ラッセホール)
 25～26日 自治労本部中央委員会(松山市内)
 27日 人権教育ひょうご第20回総会(ラッセホール)
 31日 小野市非常勤職員任用義務付損害賠償請求事件第11回裁判(神戸地裁)

自治ひょうご



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部
 〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL 078-392-0820 FAX 078-392-0920
 http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail: jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1496号

2017. 5. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/尾西亮太郎・編集人/宮本誠之

人員確保・男女平等
 夏期一時金闘争

事務事業に見合った人員を要求

安心して働ける職場をめざす

県本部は、人員確保男女平等差別統一闘争について6月2日に1時間ストを配置。夏期一時金闘争は、6月9日に29分時間内食い込み集会を配置し取り組みをすすめる。職場実態の点検改善に力をあけよう。

地方公務員の数は、22年連続で減少しており、自治体職員は、市民の多様化する行政ニーズや業務量の増えに十分対応できない状況となっている。多くの職場で人員不足による長時間労働が続き、過労やストレスで心身の健康を害する職員も増えている。

一方、政府は3月28日に「働き方改革実行計画」を決定し、非正規労働者の処遇改善や長時間労働の是正に取り組むとした。自治体職場においても現状を改革するために、ワークライフバランスの確立と人員確保の取り組みを進めていく。

各職場の4月の配置人員を点検し、職場での討議を

市民監視の共謀罪NO 安倍政権の暴走阻止しよう

関西大行動

共謀罪の新設や原発再稼働、沖縄新基地建設を強行する安倍政権の暴走を阻止しようと、4月15日、戦争をさせない関西大行動(主催)

共謀罪が一般市民を対象としない」という政府の説明に、歴史的には、明らかに危険分子を監視対象にした後、範囲を拡大していった。戦前の特別高等警察やナチスは市民の思想に介入した。人々のプライバシーを丸裸にして国民を監視する代物だと指摘した。



扇町公園から大阪駅までデモ行進

服部良一前衆議院議員は、政府が米国に追随し北朝鮮への圧力を強める現在の状況に「戦争で犠牲になるのは誰か。絶対に戦争をさせてはいけない」と憤った。集会後は、2コースにわかれデモを行った。

第88回メーデー

長時間労働是正・過労死ゼロ 県内17地区に3万人

第88回メーデーは、4月23日から5月1日にかけて県内17地区で約3万人が参加して行われた。

第88回兵庫県メーデー神戸中央大会は、長時間労働の是正、ディーセント・ワークの実現、労働者の権利、生活、健康の実現をテーマとし、約3万人が参加した。朝晩の雨にもかかわらず、多くの人が参加した。



晴天のもと8千人が集結した神戸中央メーデー

第20回 平和・人権・環境を考える集い

とき 6月3日(土) 13:00～17:00
 ところ 姫路労働会館
 記念講演 沖繩から見る憲法と暮らし
 講師 高良鉄美さん
 琉球大学法科大学院 憲法学教授

※講演後は分科会を行います

第34回 保育を考えるつどい

とき 6月11日(日) 10:00～16:00
 ところ 明石市立市民会館
 記念講演 障害児保育・発達支援について
 講師 宮田 広善さん (聖マリア病院・小児科医師)

※講演後は分科会を行います

人員確保・男女平等 差別統一闘争日程

5月16日(火) 要求書提出
 5月26日(金) 回答指定日
 5月26日(金)～6月1日(木) 統一闘争強化期間
 6月1日(木) 統一交渉日
 6月2日(金) 統一行動日(1Hスト)

夏期一時金闘争日程

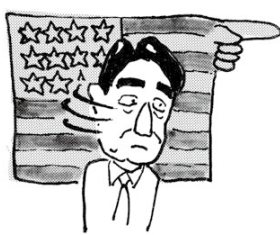
5月24日(水) 要求書提出
 5月31日(水) 回答指定日
 5月31日(水)～6月8日(木) 交渉ゾーン
 6月9日(金) 統一行動日 (早朝29分時間内食い込み集会)

しこう

安倍政権が、北朝鮮を「重大な脅威」として危機感を煽っている。しかし、よく考えてみれば、この危機をつくりだしているのは、アメリカのトランプ大統領ではないか。北朝鮮の核・ミサイル開発は今に始まった問題ではない。これまで戦争の多くは、デマによって操作され始まった。満州事変は、関東軍(日本軍)が満州州鉄道を爆破し、それを中国軍の仕業であるとの口実で軍事行動を開始した。イラク戦争でアメリカは、大量破壊兵器を保有していることを口実にイラクを攻撃したが、後の調査で大量破壊兵器は見つからなかった。戦争は、情報操作によってつくられた。ボスニア紛争では、情報戦を左右する「戦争広告代理店」の暗躍が明らかになった。5月1日、自衛隊は新安保法に基づき初めて「米艦防護」を実施した。情報操作に惑わされ、すすむべき道を見誤ってはならない。

いまいち座

右向け右



大西 英剛

過労死・過労自殺の撲滅にむけて おかしいと言える職場づくりを



豊岡の闘争では地方公務員が、11年間にわたって、災害補償基金に及ぶた。断念し、最終的に報告集の判断後の報告集の様子 (2014年3月11日)

シリーズ
憲法施行70周年 ⑧

日本国憲法第25条に「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」が定められ、労働基準法では、労働者が人たるに値する生活を営むための必要を満たすべき最低基準として、週40時間1日8時間労働の原則を定めている。

しかし、多くの職場では長時間の超過勤務が発生し、その結果過重労働による過労死や過労疾患、また、精神疾患による自殺が発生している。

■ 県本部は2002年5月に過労に伴う精神疾患が原因とみられる自殺で亡くなった豊岡市職員の公務災害認定闘争をたたかった。11年間に渡る闘争で公務災害認定を勝ち取ったが何とかなければならぬ。職場が病んでいるのだから、二度と悲劇は繰り返さない」と豊岡市職労委員長だった川端啓介さんは当時を振り返った。

■ この間、過労死をめぐる2014年には「過労死等防止対策推進法」が制定された。しかし、その後も過労が原因による自殺は後を絶たない。

経団連と連合は今年3月に時間外労働の上限規制に「月45時間」「年360時間」を基本とする内容で労使合意した。豊岡での闘争で命令簿による時間外は月20時間程度だったが、実際は80時間を超える超勤があった。時間外命令簿に記入しない残業、一旦タイムカードで退社記録を付けてからの残業などがないか、今一度確認しなければならぬ。おかしい事はおかしいと言える職場づくりが、過労死をなくすために必要である。



事例紹介をする北川主席研究員

4月に行われた宝塚市長選の中川ともさんは前市議2人との激戦を制し3選、伊丹市長選は藤原保幸さんが無投票で4選、淡路市長選の門康彦さんは前市議を破り4選を果たした。また、宍粟市議選では組織内の大畑利明さんが3位で再選した。

大畑大畑利明さん再選宝塚市長推薦候補当選

宝塚市長推薦候補当選

宝塚市長推薦候補当選



小川顧問弁護士より公平委員会について説明

三木市では15年4月に労働使合意なしに給与制度が改悪され、16年3月に当事者72人が三木市公平委員会に對して現給保障もしくは激変緩和措置を取るべきとの立場から措置要求を行ったが、同年9月に「却下」判定が下された。

この事を不服として今年2月3日に提訴した、三木市における公平委員会却下判定取り消し訴訟の第1回期日が4月26日神戸地裁で開かれ、各単組から30人が傍聴にかけられた。

閉廷後の報告集会で三木市職の西垣弘志委員長は「賃金が引き下げられたまま3月末で退職した仲間が、支援に協力する。」と決意を述べた。

■ 次回期日は6月21日。引き続き、賃金減額を強行された組合員の実損回復と公務員労働者の権利を守るため、支援に協力する。

三木裁判闘争

実損回復を求め 第1回期日が開かれる

三木市では15年4月に労働使合意なしに給与制度が改悪され、16年3月に当事者72人が三木市公平委員会に對して現給保障もしくは激変緩和措置を取るべきとの立場から措置要求を行ったが、同年9月に「却下」判定が下された。

この事を不服として今年2月3日に提訴した、三木市における公平委員会却下判定取り消し訴訟の第1回期日が4月26日神戸地裁で開かれ、各単組から30人が傍聴にかけられた。

閉廷後の報告集会で三木市職の西垣弘志委員長は「賃金が引き下げられたまま3月末で退職した仲間が、支援に協力する。」と決意を述べた。

■ 次回期日は6月21日。引き続き、賃金減額を強行された組合員の実損回復と公務員労働者の権利を守るため、支援に協力する。

まんが集団第30回例会

パーツの配置と単純化 遊び半分で書くのが似顔絵のコツ



素早く書き上げるほうらいさん

県本部まんが集団は4月22日に第30回例会を開催し、技術向上に向けた意見交換を行うとともに、まんが集団役員体制については大植賢代表(豊岡市職労)を再任した。

また、県本部まんがコンクールについては「アナログ」と「ぬくもり」をテーマに今年も7〜8月にかけて募集する事も確認した。例会後は、大阪を中心に活躍中の似顔絵師「ほうらい」さん(大阪)を講師に似顔絵教室を開催。ほうらいさんからは「表情によって顔は大きく変わる。パーツをどう配置するか、またどう単純化するか大切」との話を聞いた後、約10分で書き上げるプロの技術を見学した。

都市交評 春闘学習会

政策要求と合わせた 通年の取り組み強化を

県本部都市公共交通評議会は、4月20日に春闘学習会を開催した。

主催者を代表して五百旗頭英裕議長は、「旧都交から自治労と統合して4年が経過し、自治労運動の中に公共交通を根付かせていく」と色々と発信してきたが、全国的にまだまだ浸透していない。今後は新たな統一行動も企画しており政策要求などと合わせて通年の取り組みとして浸透させていく。

きたい」とあいさつした。学習会では、自治研センター生活支援交通研究会主席研究員の北川博己さんより講演を受け、地域公共交通のあり方について全国や兵庫県内の事例の紹介や調査結果、課題に学んだ。

じちろうマイカー共済

自動車総合補償共済

自治労共済生協組合員なら

契約者=組合員で

家族の車も

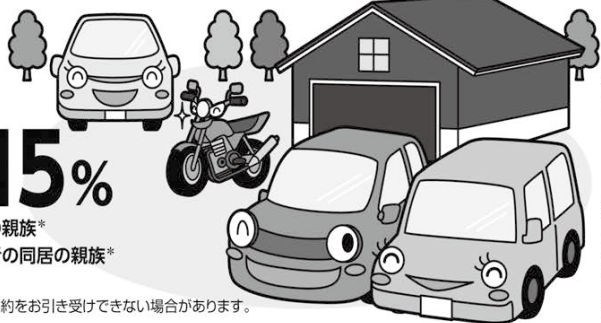
団体割引15%

主たる被共済者になれる方

- 1 組合員本人
 - 2 組合員の配偶者
 - 3 組合員の同居の親族*
 - 4 組合員の配偶者の同居の親族*
- *別居の未婚の子も含まれます。

※現在ご加入の保険(共済)の適用等級や過去履歴によっては、ご契約をお引き受けできない場合があります。

※2018年1月までの団体割引率を記載しています。



ZENROSAL NEWS
5116A230

ご契約にあたっては
パンフレットをご覧ください

ご不明な点があれば、
まずは組合にご連絡ください。

全労済
自治労共済本部

全日本自治労連合会共済生活協同組合

全労済は、富利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金を支払っていただいている組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

全労済自治労共済本部資料より引用

当面の日程

- 3日 県本部第20回平和・人権・環境を考える集い
(姫路労働会館・多目的ホール他)
- 14日 県本部第34回保育を考えるつどい
(明石市立市民会館)

自治ひろこ



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL 078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail: jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1497号

2017. 6. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円
購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部
書記長/尾西亮太郎・編集人/宮本誠之

川西市 北部に総合病院を残そう ナースアクションで街頭行動

県本部衛生医療評議会は5月7日に、川西市「アステ市民プラザ」でナースアクションを開催し、県内各病院職場の組合員約90人が参加した。

昨年末では元町駅周辺で開催していた本集会だが、今回は川西市当局から市立川西病院に対する指定管理制度導入・市役所近辺(市の中央部)への移転という方向性が示されたため、川西市で開催し、市民に対し市北部に総合病院が必要で



市民へ呼びかける参加者

あること、経営や効率性だけを重視する民間病院ではなく直営で病院が必要であることを訴える取り組みとした。

集会は、和歌山県有田市立病院の道場浩幸さんから若手が主導した病院再生の取り組み報告と、川西病院制度導入・市役所近辺(市の中央部)への移転という方向性が示されたため、川西市で開催し、市民に対し市北部に総合病院が必要で



いまいち度
いろいろ付度して...

おやすみ漫



滋賀の取り組みを説明する小石さん(左)

31組87人が参加。開会にあたって県本部の森藤守委員長は、「2日間を通して有意義な議論と交流を」と呼びかけた。

「組織の活性化・強化」をテーマにした講演を行った小石さんは、滋賀で取り組んだ①テーマソングづくり②ユース部の力を借りた新規採用者の組織化③若者プロジェクトについて説明した。

憲法や平和と向き合った若者プロジェクトは「賃金労働条件」という目先の課題ではなく、社会と向き合う人づくりを大切にして

合員の訴えに対し、市民からは「病院がなくなったら困る」等の反応があり、足を止めて真剣に耳を傾けて話を聞いていた。

人事院は4月19日、国家公務員と民間企業の従業員が退職後に受け取る退職一時金(退職手当)と企業年金を合わせた退職給付の比較調査結果と見解を内閣総理大臣と財務大臣に提出し、公表した。

退職手当

厳しい調査結果出される 人事局に十分な交渉求める

う厳しいものとなった。人事院は、調査結果を踏まえ、「官民均衡の観点から、比較結果に基づき、退職給付水準について見直しを行うことが適切」とした見解を表明した。

自治労は、人事院の調査結果等を踏まえ、退職手当法の改正が検討されることから、内閣人事局に十分な交渉、協議を求め、合意に基

第27期県本部労働学校

日時 6月28日(水) 10:30~17:00
場所 ひょうご共済会館
内容 講義①「労働組合の意義と組合活動活性化に向けて」
講義②「自治体労働者の賃金」
分散会交流
「職場の問題点を話し合う」

県本部2017労働安全衛生集会

日時 6月29日(木) 13:30~17:00
場所 ひょうご共済会館
内容 集会基調と今後の取り組み提起
単組報告
講演「長時間労働・過重労働」
分散会

反行革・組織集会

滋賀県本部
小石委員長

若者の感性磨く活動を

県本部は5月17・18日、2017反行革・組織集会を川西市で開催した。新規採用者の組織化や次代の担い手育成が課題となる中、滋賀県本部の小石さんと委員長の基調講演に学んだ。

31組87人が参加。開会にあたって県本部の森藤守委員長は、「2日間を通して有意義な議論と交流を」と呼びかけた。

「組織の活性化・強化」をテーマにした講演を行った小石さんは、滋賀で取り組んだ①テーマソングづくり②ユース部の力を借りた新規採用者の組織化③若者プロジェクトについて説明した。

砂が職場オールの重要性を報告。参加者からは「超勤実態の把握」「現業職場の確保」など課題が出された。(4分科会の内容はネットワーク情報に掲載)



共謀罪反対を訴えた

委員会採決に抗議 1000人委が元町駅で訴え

戦争をさせない1000人委員会が5月19日、元町駅で街頭行動を行い、「共謀罪の成立反対」を訴えた。

共謀罪

しこう

安倍首相が、憲法9条1項2項をそのままに、自衛隊の存在を明記するとの憲法改正案に言及した。2020

年施行をめざすという。この動きに対する報道各社の世論調査では、安倍首相の9条改正案に対して賛成は28・56%、反対は20・44%と結果は二様ではない。一方で「どちらとも言えない」がNHKの調査で41%となるなど、国民の意見が分かれているのが現状だ。安倍首相は、自民党内の改憲案を年内にまとめ、「民の議論が活発化するよう」にリーダーシップを示していくと放った。いまの憲法改正論議が国民からの声ではないことを自ら認めたのだ。憲法は、国民が国や国会議員を縛るためのものである。かつての戦争の反省から、国の暴走を許さないための国民の誓である。私たちは、憲法の名において、何としても安倍首相の暴走を止めなければならない。

憲法は国家権力を縛るもの 憲法9条を次世代に

シリーズ
憲法施行70周年 ⑨

5月3日に憲法施行70周年を迎えるにあたり、半年にわたるシリーズで「憲法」を取り上げてきた。ところが、その3日に安倍首相は、「憲法9条を残したまま、自衛隊の存在を明記する文言を追加する。改憲を実現し、2020年に新憲法を施行する」と表明した。衆参両院の憲法審査会を無視した独断発言である。

危機感を煽り憲法改正に突き進む安倍首相に、現在、北朝鮮の核・ミサイル問題が大きく取り上げられ、安倍政権は北朝鮮を



5・3兵庫県憲法集会には1200人が集まり、憲法の大切さを参加者全員で再確認した

「重大な脅威」として危機感を煽っている。内閣府から唐突に「ミサイル落下時の緊急連絡」を自治体に指示するなど、危機感を背景に、「国を守る」との意識づけを強めてきた。一方で、安全保障関連法を改正し、南スーダンに自衛隊を派遣するなど自衛隊の国際的認知に力を注いできた。そのうえで用意周到に話ってきた「9条への自衛隊の存在明記」発言である。

5月18日には、衆議院憲法審査会が開催され、民進党などは、憲法改正の発議権を有するのは国会であ

り、安倍首相の改憲をめぐる発言は、国会の立法権を著しく侵害するものだとして反発した。

憲法9条を引き継ぐ
5・3憲法集会
憲法記念日の5月3日神戸(あすわ兵庫)のメンバーで、明日の自由を守る若手弁護士会兵庫支部(あすわ兵庫)のメン

バーが、劇で「共謀罪」が成立した社会を舞台に監視社会の危険性を訴えた。また、記念講演で沖繩選出の糸数慶子参議院議員は「憲法改悪に危機感を感じ

「憲法改悪に危機感を感じ」憲法は4人に1人が無くなった沖縄戦の反省が込められている。こうした戦争を否定する憲法9条こそ次世代に引き継いでいかなければならない」と結んだ。憲法を守るべきは権力

「まず、憲法について知ってもらいたい」としてあすわ兵庫は気軽に憲法を学べる「憲法カフェ」を

開いている。はじめに出されるクイズがある。「憲法を守らなければならぬのは誰か」答えは「憲法は、国家権力を縛るものであって、国民から国家権力側に対して向けられているルール」である。立憲主義とは、個人の権利、自由を守るために、国家権力が暴走、濫用しないように憲法で縛ろう」という考え方である。

2020年改正との具体的な日程が示されただけに、改めて「憲法の大切さ」を広め続けていかなければならない。(終わり)



緊張しながらも模擬団交に挑む参加者(但丹B学習会)

但丹B 模擬団交で交渉術を学ぶ 法改正に向き合う決意固める 阪淡B

臨職評
学習会

但馬丹波ブロック
各組から活動報告がされた後、前田克子県本部臨職評議長より、臨時・非常勤職員の現状や模擬交渉へ

会を開催した。各組から活動報告がされた後、前田克子県本部臨職評議長より、臨時・非常勤職員の現状や模擬交渉へ

むけ、目的やノウハウについて講義を受けた。講義後は模擬団体交渉のテーマ別に3つのグループに分かれ、交渉役や要求内容を決め意思統一を図り、3グループそれぞれが模擬交渉に挑戦。当局交渉団には人事課長に 県本部

4月23日に尼崎市すこやかプラザにおいて、阪神淡路ブロック臨職部会学習会を開催した。11組66人が参加し、県本部の森哲二組

について説明を受けた。法改正の概要として、新たに22条の2で「会計年度任用職員フルタイムパー

び旅費、各種手当が、パートタイムには報酬及び費用弁償、期末手当のみ支給されるようになる。

組織強化、拡大をさらに進めていかなければならないと強調した。

参加した臨職部会組合員からは、これからどうなっていくのか不安はあるが、県本部ブロックに結集し、一丸となつてたかつていく決意が表明された。

自治労兵庫県本部直属支部

自治労カップ少年野球大会
今年で4回目となる少年

今年で4回目となる少年

今年も各組(呼びかけ)た結果、24団体に協賛いただき感謝申し上げます。

24団体が協賛

24団体が協賛

24団体が協賛

余裕資金は、退職後のために

長期共済

税制適格年金

の随時払へ!

かしこく
積み立てよう!

ZENROSAIN NEWS
5116G219

ご存知ですか?

便利な掛金
払込方法

随時払

(月払または半年払契約がある方が利用できます)

随時払は、月払などと異なり、
不定期的に払い込むことができます。余裕資金ができた
ときに使える積立金を積み増
しできる払込方法です。

大好評!

例えば 100万円を随時払すると20年で124万円に!

(10万円から1万円単位で利用できます。)

100万円 払い込み

5年 104万円

10年 110万円

15年 117万円

20年 124万円

効率的に
プラス!

口数やコース、払込方法にかかわらず、積立金の
一部分のみ、解約・払い戻しはできません。

※2016年10月現在の予定利率等にもとづき試算したものです。なお、
予定利率等は将来変更することがありますので、将来の支払額を約束
するものではありません。随時払は積立期間が1年未満のとき、積立
金・解約返戻金が掛金を下回ります。

ご契約にあたってはパンフレットを
ご覧ください。
ご不明な点があれば、まずは所属
の組合にご連絡ください。

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済本部
全日本自治労労働者共済生活協同組合

全労済は、党利を目的としない「保障の生協」として共
済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある
暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただ
いて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

全労済自治労共済本部資料より引用

当面の日程

- 17日 県本部野球大会1日目(上郡町スポーツセンター他)
19日 県本部第202回中央委員会(中央労働センター)
22日 県本部野球大会2日目(上郡町スポーツセンター他)
24日 県本部女子バレーボール大会(新温泉町健康公園体育館)
28日 県本部労働学校(ひょうご共済会館)
29日 県本部労働安全衛生集會(ひょうご共済会館)

自治ひろこ



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL 078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail: jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1498号

2017. 6. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/尾西亮太郎 編集人/宮本誠之

平和・人権・環境を考える集い講演要旨

沖縄から見る平和憲法と暮らし

高良鉄美 琉球大学法科大学憲法学教授



沖縄には憲法がない？
那覇空港は国交省に管制
返還されたが、現在でも
米軍の監視下にある。空
だけではなく、陸では米
軍基地、海でもそう。

沖繩には憲法がない？
那覇空港は国交省に管制
返還されたが、現在でも
米軍の監視下にある。空
だけではなく、陸では米
軍基地、海でもそう。

が失われ、人権を奪われ
た。沖縄戦を教訓に命の
大切さを改めて認識しな
ければならない。
自民党の改憲案では、
天皇元首、国防軍、愛国
心、公益など、戦前に逆
戻りする内容に米軍のオ
スプレイが墜落したが、
本土のマスコミ各社は
「着水」という表現であつ
た。パラパラの機体を見
なれない。

「共謀罪」の参院での廃案
をめざすなど当面の課題に
取り組む決意を述べた。
議案は、当面の闘争方針
の他、自治労基金のあり方
（討議案、今後の現業公企
統一闘争のあり方 討議案
などが提案され、全議案が
承認された。

兵庫県本部からは、尾西
亮太郎書記長が、現業公企
統一闘争のあり方について
「闘争を年2回に分け
るよりも、現行の10月に集
中して取り組みを強化する
べき。直営堅持を基本にた
たかいをすすめる」と意見
を述べた。

兵庫県知事選挙
井戸敏三さんを
推薦決定
県本部は5月8日の第8
回執行委員会、6月15日
に告示される兵庫県知事選
挙に、現職の井戸敏三さん
の推薦を決定した。元上司に
加勢したのか省内外メールで
出ている。安倍総理は辞め
るべきである。地位に恋々
としがみつくのは如何なも
のか。前回は所信表明後に
辞意表明。大丈夫、仕事は
事務方がまわしますから。

辞めさせたはず
の目障りな事務
方は共謀罪の成
立前に戻ってき
た。もはや失う
物はなく正々
堂々とたたかう
姿勢である。前事務次官の
記者会見を見ながら、事務
方トップでも意見できない
圧倒的な権力構造を考える
▼数日後、パワハラを告発
して雇止めになった小野
市非常勤職員の裁判を傍聴
する。管理職と同僚を証人
として出廷させた当局とた
たかった末端の非正規職員
の声は司法には届かなかった。
一黒を白にしろと言わさ
れているようなもの。「気の
毒だ」と思っています」とい
う前次官の言葉を重ねる▼
非正規職員の声は跳ね返し
やすいかもしれないが、政
権に異を唱えたのは事務方
トップである。元上司に加
勢したのか省内外メールで
出ている。安倍総理は辞め
るべきである。地位に恋々
としがみつくのは如何なも
のか。前回は所信表明後に
辞意表明。大丈夫、仕事は
事務方がまわしますから。



第1分科会では沖縄視察団の報告がされた

20回を数える平和人権
環境を考える集いは、「平
和」をメインテーマに開催
し、140人が参加。憲法
が危機的な状況にある中、
憲法とは何かを考えた。
「渡航の自由、財産権、
大学の自治、国民主権など
がなかった。琉球大学法
科大学の高良教授は、憲
法が適用されなかった米
占領下の事態に言及。「し
かし民意に反する基地建設
や住民の命を脅かす訓練な
ど、今も憲法無視の実態は
変わらない」と続けた。最
後に「人権保障のためにあ
る憲法が、転換させられよ
うとしている」と警鐘を鳴
らした。

自治労本部第153回中
央委員会が5月25、26日に
松山市で開催された。
冒頭、川本淳委員長は、
自治労本部第153回中
央委員会が5月25、26日に
松山市で開催された。

「共謀罪」の参院での廃案
をめざすなど当面の課題に
取り組む決意を述べた。
議案は、当面の闘争方針
の他、自治労基金のあり方
（討議案、今後の現業公企
統一闘争のあり方 討議案
などが提案され、全議案が
承認された。

兵庫県本部からは、尾西
亮太郎書記長が、現業公企
統一闘争のあり方について
「闘争を年2回に分け
るよりも、現行の10月に集
中して取り組みを強化する
べき。直営堅持を基本にた
たかいをすすめる」と意見
を述べた。

兵庫県知事選挙
井戸敏三さんを
推薦決定
県本部は5月8日の第8
回執行委員会、6月15日
に告示される兵庫県知事選
挙に、現職の井戸敏三さん
の推薦を決定した。元上司に
加勢したのか省内外メールで
出ている。安倍総理は辞め
るべきである。地位に恋々
としがみつくのは如何なも
のか。前回は所信表明後に
辞意表明。大丈夫、仕事は
事務方がまわしますから。

辞めさせたはず
の目障りな事務
方は共謀罪の成
立前に戻ってき
た。もはや失う
物はなく正々
堂々とたたかう
姿勢である。前事務次官の
記者会見を見ながら、事務
方トップでも意見できない
圧倒的な権力構造を考える
▼数日後、パワハラを告発
して雇止めになった小野
市非常勤職員の裁判を傍聴
する。管理職と同僚を証人
として出廷させた当局とた
たかった末端の非正規職員
の声は司法には届かなかった。
一黒を白にしろと言わさ
れているようなもの。「気の
毒だ」と思っています」とい
う前次官の言葉を重ねる▼
非正規職員の声は跳ね返し
やすいかもしれないが、政
権に異を唱えたのは事務方
トップである。元上司に加
勢したのか省内外メールで
出ている。安倍総理は辞め
るべきである。地位に恋々
としがみつくのは如何なも
のか。前回は所信表明後に
辞意表明。大丈夫、仕事は
事務方がまわしますから。

県本部は6月3日、姫路市内で「集い」を開いた。憲法施行70年を踏まえた記念講演で高良鉄美教授は、「憲法の原点である「人権保障」が安倍政権で転換させられようとしている」と強調した。

講演後は、①平和人権
環境を考える集いは、「平
和」をメインテーマに開催
し、140人が参加。憲法
が危機的な状況にある中、
憲法とは何かを考えた。
「渡航の自由、財産権、
大学の自治、国民主権など
がなかった。琉球大学法
科大学の高良教授は、憲
法が適用されなかった米
占領下の事態に言及。「し
かし民意に反する基地建設
や住民の命を脅かす訓練な
ど、今も憲法無視の実態は
変わらない」と続けた。最
後に「人権保障のためにあ
る憲法が、転換させられよ
うとしている」と警鐘を鳴
らした。

自治労本部第153回中
央委員会が5月25、26日に
松山市で開催された。
冒頭、川本淳委員長は、
自治労本部第153回中
央委員会が5月25、26日に
松山市で開催された。

「共謀罪」の参院での廃案
をめざすなど当面の課題に
取り組む決意を述べた。
議案は、当面の闘争方針
の他、自治労基金のあり方
（討議案、今後の現業公企
統一闘争のあり方 討議案
などが提案され、全議案が
承認された。

兵庫県本部からは、尾西
亮太郎書記長が、現業公企
統一闘争のあり方について
「闘争を年2回に分け
るよりも、現行の10月に集
中して取り組みを強化する
べき。直営堅持を基本にた
たかいをすすめる」と意見
を述べた。

兵庫県知事選挙
井戸敏三さんを
推薦決定
県本部は5月8日の第8
回執行委員会、6月15日
に告示される兵庫県知事選
挙に、現職の井戸敏三さん
の推薦を決定した。元上司に
加勢したのか省内外メールで
出ている。安倍総理は辞め
るべきである。地位に恋々
としがみつくのは如何なも
のか。前回は所信表明後に
辞意表明。大丈夫、仕事は
事務方がまわしますから。

辞めさせたはず
の目障りな事務
方は共謀罪の成
立前に戻ってき
た。もはや失う
物はなく正々
堂々とたたかう
姿勢である。前事務次官の
記者会見を見ながら、事務
方トップでも意見できない
圧倒的な権力構造を考える
▼数日後、パワハラを告発
して雇止めになった小野
市非常勤職員の裁判を傍聴
する。管理職と同僚を証人
として出廷させた当局とた
たかった末端の非正規職員
の声は司法には届かなかった。
一黒を白にしろと言わさ
れているようなもの。「気の
毒だ」と思っています」とい
う前次官の言葉を重ねる▼
非正規職員の声は跳ね返し
やすいかもしれないが、政
権に異を唱えたのは事務方
トップである。元上司に加
勢したのか省内外メールで
出ている。安倍総理は辞め
るべきである。地位に恋々
としがみつくのは如何なも
のか。前回は所信表明後に
辞意表明。大丈夫、仕事は
事務方がまわしますから。

復帰後も憲法無視

平和・人権・環境を考える集い

憲法の原点は人権保障

臨時・非常勤の法律が改正

今後は単組交渉が重要

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律が、5月17日に公布された。改正法では、①特別非常勤職員(地公法第3条3項3号)は専門性の高い者に限定②臨時任用職員(地公法第22条の3)は常勤の職に欠員を生じた場合に限定し、勤務時間はフルタイムのみ③会計年度任用職員に係る規定を新設(地公法第22条の2)し、一般職の非常勤の職として新たに「会計年度任用職員」を規定、勤務時間はフルタイムと短時間職員の2種類④フルタイムの会計年度任用職員に対して給料・旅費・手当を支給、短時間勤務の会計年度任用職員に対して報酬・費用弁償・期末手当を支給するなど、施行は20年4月1日。本部は改正法成立を受け引き続き総務省交渉を強化する。

夏期闘争で人事協申し入れ

阪神淡路ブロックは毎年、夏期闘争と年末闘争にあわせ、阪神7市の人事当局で構成する協議会への申し入れを行っている。5月22日、夏期闘争の申し入れ行動、人事協議会の幹事市である芦屋市役所で行った。ブロック・単組、臨職部会役員など20人が出席し、当局代表の芦屋市総務部長に申入書を手渡し、各単組の状況課題を訴えた。申し入れの最後に7市人事協の場で、ブロックからの申し入れ内容を報告することを総務部長と確認した。

しこう

辞めさせたはずの目障りな事務方は共謀罪の成立前に戻ってきた。もはや失う物はなく正々堂々とたたかう姿勢である。前事務次官の記者会見を見ながら、事務方トップでも意見できない圧倒的な権力構造を考える▼数日後、パワハラを告発して雇止めになった小野市非常勤職員の裁判を傍聴する。管理職と同僚を証人として出廷させた当局とたたかった末端の非正規職員の声は司法には届かなかった。一黒を白にしろと言わされているようなもの。「気の毒だ」と思っています」という前次官の言葉を重ねる▼非正規職員の声は跳ね返しやすいかもしれないが、政権に異を唱えたのは事務方トップである。元上司に加勢したのか省内外メールで出ている。安倍総理は辞めるべきである。地位に恋々としがみつくのは如何なものか。前回は所信表明後に辞意表明。大丈夫、仕事は事務方がまわしますから。

いまいち座

「二度あることは三度ある」



吉田ノボ (明石市職労OB)

当面の日程

- 1日 県本部人権学習会（神戸市教育会館）
 10日 反核平和の火りレー出発式（県庁前）
 14～15日 県本部書記会議総会
 （ホテル北野プラザ六甲荘）

自治ひろこ



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部
 〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL 078-392-0820 FAX 078-392-0920
 http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail: jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1499号

2017. 7. 1

月2回（1日、15日）発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長／尾西亮太郎・編集人／宮本誠之

法違反には助言する 臨職評が対県交渉

6月15日、臨職評は対県交渉を行った。14総務省通知で臨時職員等の「空白期間」は不要としているが、阪神間では今だ空白期間がある現状を訴えた。

市町振興課は、「法違反の助言は出来るが、自治体の法解釈の判断もある。会計年度任用職員になれば一定整理される」と回答。臨職評は現段階で強く助言すること訴えた。

また、指定管理者制度に変更される職場の組合員から助言するが、自治体の判



賛成多数で方針を確認した

県本部は6月19日、第202回中央委員会を神戸市内で開き、17春闘の中間総括、当面の闘争方針、新規加盟組合の承認など6つの議案を審議・可決した。議案に対しては、5人の中央委員から発言があった。

59人の中央委員が参加した。尾西亮太郎書記長は、当面の闘争方針を提議した。①人勧期のたたき強化②

臨時・非常勤等職員に係る地公法改正の取り組み③現業・公企統一闘争のあり方などを強調した。

質疑では、「当局は市立病院の建て替えと指定管理を進めている。市民と一緒に地域医療を守る運動を広げたい」（川西病院労組）、「8月には臨職評が交渉を行う。地公法改正問題は迅速な情報提供と学習会の実施を」（南あわじ市職労）、「現業職場の声が各単組執

らは、組合に何の説明もなく議会や報道先行の事実を訴えたが、市町振興課は「制度導入中止の助言はできないが、勤務条件や雇用の変更について、事前に丁寧な説明をするよう助言する」と回答。65歳までの雇用は、年齢制限を設けるのは問題で雇用は可能。毎年の試験については簡素化や試験のやり方を工夫することの助言はできる」とした。

市町振興課は、法違反には助言するが、自治体の判



県内の状況を訴える交渉団

断もあることとなった。また、教育委員会との交渉では、研修や特別休暇など、雇用形態の違いで正規と差をつけたいよう助言を訴えた。

夏期一時金・人員確保闘争で県本部は6月9日に統一行動日を設定し、各単組で交渉が行われ、阪神淡路ブロックではスト配置の西宮水労・伊丹・宝塚・三田を含めて17単組が交渉した。一時金の+0.05月については基本組織単組で確保、職務加算の改善は川西・淡路南あわじ、嘱託・芦屋・川西・宝塚・西宮・尼崎、臨職（競走・芦屋・宝塚・西宮）が引き上げ、淡路は懸案の保育士・清掃員等を含め正規採用を確認した。

播磨ブロックは、明石・明石水労・加古川が1時間ストを、三木が29分食い込み集会を配置するなど交渉を展開。明石は中核市移行

行部に届いているのか疑問。他の取り組みに埋没しないよう、県本部も意見反映を（明石市職労）など5人から発言があった。

尾西書記長は、「地公法改正は、兵庫の臨職運動の歴史を踏まえ方向性を整理したい。現業公企闘争は、年間闘争の中で、10月期の差別闘争を強化していきたい」と答弁した。

中央委員会では、加西社協労組を新規加盟組合として承認した。石原雅紀委員長は、「職場改善に取り組む。ご支援を」とあいさつ。また特別報告では小野市バ

執行部 答弁 臨職に係る法改正で

県本部中央委員会

ワハラ裁判をたたかう原告が、「パワハラが」あったことをなかったことにできない。6月12日付で控訴した。引き続き支援を」と訴えた。

森薩守委員長は、「一強政治のもと、憲法や民主主義がないがしろにされている。こうした政治に向き

明石は人員増を確認 阪神間 臨職一時金の改善

6・9統一行動

に伴う人員増員を確認。加古川・三木は、一時金傾斜配分の増額を要求したが、継続交渉となった。また、明石市民病院は、昨年度、人勧分の一時金増を見送られていたが、黒字化により交渉で人勧どりの増額回答。姫路市労連や市川など夏期一時金については、国並み支給で妥結した。

但馬丹波ブロックでは全単組で統一要求書を提出し、豊岡・豊岡病院八鹿病院・新温泉が交渉を行った。また、人事評価の勤勉手当への反映は豊岡・篠山・新温泉が新たに今年6月の一時金から導入で合意し、丹波・香美は今年度実施しないと確認を行った。

いまいち座

藤井四段 快進撃



松本 貴紀子

県本部福祉集会のご案内

日時 7月22日（土）午後1時 開会
 場所 ひょうご共済会館
 内容 ・基調講演「社会福祉評議会の運動づくり」
 講師 佐保昌一自治労本部社福評事務局長
 ・福祉行政・介護職場福祉施設・社協交流会

歴史踏まえ方向性整理

テーマ

アナログ
または ぬくもり

県本部まんがコンクール作品募集中

【募集要項】
 ・テーマ 「アナログ」または「ぬくもり」
 ・募集締切 8月31日（木）必着
 ・募集対象 組合員、組合員の家族、退職者
 ・商品券 【大笑】1点・2万円
 【おもしろ笑】3点・各5千円など
 ・作品規格 B5版。1コマまんが
 カラー・白黒は自由
 ・応募先 自治労兵庫県本部・教宣部宛
 650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8
 大東ビル7階

しこう

いわれる共謀罪法案が成立してしまつた。その手法であるが、参院委員会採決を省いて、「中間報告」という形で本会議に於いて強行に成立させるといふものだった。政府の説明不足もあり、担当大臣でさえ理解できていないのに、私たち一般市民はもう理解できていないのが現状である。その裏で加計学園問題では、まるで「小さな巨人」のドラマで組織の威厳を保つためのように、政府にとって都合の悪いことは黒い物も白にしてしまふ政治が行われている。菅官房長官は「怪文書」として切り捨てたが、実際は正文書だったし、内閣府は無いと言って、文科省はあると言って、内閣府VS文科省の様相も呈している。内部告発者も守秘義務違反で処分もありうるとまで言われている。何が正義で何が悪なのか、もうこの世の中で善悪の判断ができなくなつてしまつてい

7月10日、県庁前スタート

反核平和の火リレー 地域で平和考えよう

「核兵器の廃絶」「非核自治体宣言採択」などを求める第33回反核平和の火リレーが、7月10日、兵庫県庁前をスタートする。兵庫県内約500kmを青年女性延べ1200人が走りつながら平和運動。各地域をランナーが通過する日程は下表の通り。組合員はもとより、地域で平和運動を担う仲間にも声をかけ、取り組みを広げよう。

第33回兵庫県反核平和の火リレーの日程

日程	曜日	引継ぎ場所	引継ぎ場所	予定時刻
7月10日	月	兵庫県庁	妙法寺アナムキ	12:55
7月11日	火	南あわじ市中央庁舎	一帯星	16:12
7月12日	水	淡路市役所	船岡役場	14:37
7月13日	木	船岡役場	船岡役場	15:03
7月14日	金	船岡役場	船岡役場	16:15
7月15日	土	船岡役場	船岡役場	16:49
7月16日	日	船岡役場	船岡役場	15:52
7月17日	月	船岡役場	船岡役場	17:26
7月18日	火	船岡役場	船岡役場	17:02
7月19日	水	船岡役場	船岡役場	14:44
7月20日	木	船岡役場	船岡役場	16:27
7月21日	金	船岡役場	船岡役場	15:46
7月22日	土	船岡役場	船岡役場	15:20
7月23日	日	船岡役場	船岡役場	15:59
7月24日	月	船岡役場	船岡役場	11:46

7月31日は事務局が不在のため走行しませんのでご注意ください



約300人が参加し交流を行った

県本部保育部会は6月11日、明石市民会館において、第34回保育を考えるつどいを開催し、28単組1団体292人が参加した。

非正規の処置改善をめざす

安心・安全で働きやすい施設を

保育を考えるつどい

保育にあたる、定員を減らさざるを得ない等の状況となつて表れている。非組合員に声をかけ、力を高めていかなければならない。子どもにとって安心・安全で、私たちが働きやすい施設をつくるという労働組合としての取り組みや、非正規職員の処遇改善の取り組みなど、経験交流もさることながら、日々の保育に役立つ専門的な知識の研修の場でもあることも意識し、本日の開催に至った。有意義な

第2回 女性組合員交流会

セミナー
断捨離でライフスタイルを見直そう
とき 8月2日(水)
午後1時30分開会
ところ ひょうご共済会館

現退一致の取り組みを 会員拡大をめざす

但馬丹波B
退職者会

但馬丹波ブロック退職者会は、5月15日に豊岡市ホテル大丸で21人が参加し、第2回定期総会と懇親会を開催した。

主催者を代表して湊崎康長は「退職者を取り巻く環境は非常に厳しく、年金、医療、介護にとまらず、憲法、平和、環境が脅かされている。現退一致の取り組みが必要だ。会員も少なく、更なる組織の拡大を図りながら、高齢者が地域に住みやすい社会を作っていくことが、16年度活動報告、会計報告の承認を受け



あいさつをする湊崎会長

その後、16年度活動報告、会計報告の承認を受け、その後、16年度活動報告、会計報告の承認を受け

えさきたか参議院議員のホームページ esakitakai.net で検索



あいはらくみこ参議院議員のホームページ aikumi.info で検索



新入組合員の皆さん

ただ今 申し込み受付中です!

社会人としての備えの第一歩は団体生命共済から。
組合員だから利用できる生命と医療の保障です。

長期共済 積み立て型の長期共済もあります。

団体生命共済

団体定期生命共済

手続は組合で
新入組合員の方は
継続募集期間外でも
申し込みます。

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済本部
全日本自治労労働者共済生活協同組合

全労済は、営利を目的としない「保障の生協」として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とやいある暮らしを支援しています。出資金を積み立てた組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

※ご契約にあたってはパンフレットをご覧ください。
ご不明な点がございましたら、必ず組合員に連絡ください。

全労済自治労共済本部資料より引用

当面の日程

22日 県本部福祉集会(ひょうご共済会館)
25日 人勤期中央行動(日比谷野外音楽堂)
28～30日 全国保育集会(名古屋国際会議場他)
30～31日 ひょうご青年女性大交流会 in 淡路島
(エトワール生石)

自治ひろこ



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1500号

2017. 7. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/尾西亮太郎・編集人/宮本誠之

労働安全衛生集会・講演要旨

長時間労働と健康障害

西野方庸 連合大阪労働安全衛生センター参与



連合大阪労働安全衛生センター参与の西野方庸さんから「長時間労働と健康障害」というテーマで講演を受けた。

長時間労働については、そもそも労働時間が法律で規制されているにもかかわらず、36協定でも締結すれば青天井に働かせることができるなど例外が多い。また、過労死が議論となってきたのは、裁判で争われ始めた約20年前からで、それまでは脳心臓疾患と仕事の負担は関係ないと言われていたが、時代の移り変わりで働き方の変化で労働者の健康に影響してきている。

そして、労働時間の上限

規制されているにもかかわらず、36協定でも締結すれば青天井に働かせることができるなど例外が多い。また、過労死が議論となってきたのは、裁判で争われ始めた約20年前からで、それまでは脳心臓疾患と仕事の負担は関係ないと言われていたが、時代の移り変わりで働き方の変化で労働者の健康に影響してきている。

規制については、上限を出すところまでは認めるという使用者が出てくるという危惧はあるが、初めて刑事罰を課すとしたことは評価できる。ただし、この規制については適用除外もある、公然と無茶な例外を認めるような実行計画が危惧される。過労死を出させないために更なる取り組みで制度改革を求めていく必要があると問題提起された。

午前中の講義は県本部の青木慎吾執行委員が「組合活動活性化に向けて」と題して行った。「組合がなぜその取り組みを行っているのか、次の世代に丁寧に伝えることで結集力が高まり、交渉力強化につながる」と強調した。

昼食をはさみ、宮本誠之副委員長が「自治体労働者の賃金」と題して講義。公務員の労働基本権制約と人事院勧告制度などに触れ、「交渉だけで賃金を決められない歯がゆさがある。権利が制限された弱い立場ゆえに何もなかったら引き下げてしまおう」と要求。交渉の大切さを訴えた。

3班は「年休超勤」をテーマに解決策を話し合った。「サビス残業は誰かの雇用を奪っているなど、1人ひとりの意識変革が職場改善につながる」と確認した。



21班組57人の労安担当者が参加し交流した

県本部は6月29日ひょうご共済会館において「長時間・過重労働対策」をメインテーマに労働安全衛生集会を開催し、36協定締結や安全衛生委員会の取り組みを各単組で推進することを確認した。

集会では宮本誠之労安推進委員長が「労働者を守る法律として、特に労働安全衛生法は活用しきれていない現状にある。月1回職場の問題等意見を言う場であり、産業医からの改善措置を出すこともできるメリットを生かし改めて単組でも活動を活性化してほしい」とあいさつを行った。

また、青木慎吾事務局長は「自治労が発行する『職場点検活動のてびき』を活用し、本日学んだ事をそれぞれの単組や職場で生かし、安全衛生活動の活性化につなげていただきたい」と基調提起を行った。

その後、連合大阪労働安全衛生センターの西野方庸さんから「長時間労働と健康障害」をテーマに講演を受け、兵庫県職労の金本信二副委員長より、超過勤務削減に向けた報告がされた。分散会では、参加者が6班に分かれ「長時間労働・過重労働」をテーマに、職場環境の問題点や解決方法などを話し合った。

全衛生センターの西野方庸さんから「長時間労働と健康障害」をテーマに講演を受け、兵庫県職労の金本信二副委員長より、超過勤務削減に向けた報告がされた。分散会では、参加者が6班に分かれ「長時間労働・過重労働」をテーマに、職場環境の問題点や解決方法などを話し合った。

自治労はこの間、共謀罪法案廃案に向けて、連合、平和フォーラムと連携し、反対署名や国会前行動を展開してきた。

しかし、安倍政権は6月15日、組織的犯罪処罰法改正案、いわゆる「共謀罪」法案を自民、公明、維新などで強行成立させた。今回の法案には、過去3回廃案された共謀罪に「テロ等準備罪」が新たに組み込まれており、このことにより、犯罪実行により処罰するとしていた今までの刑

県本部2017労働安全衛生集会

安全衛生活動の活性化を

職場点検活動のてびきを活用

刑法の大原則を覆す

濫用防止が急務

共謀罪成立

自治労はこの間、共謀罪法案廃案に向けて、連合、平和フォーラムと連携し、反対署名や国会前行動を展開してきた。

しかし、安倍政権は6月15日、組織的犯罪処罰法改正案、いわゆる「共謀罪」法案を自民、公明、維新などで強行成立させた。

今回の法案には、過去3回廃案された共謀罪に「テロ等準備罪」が新たに組み込まれており、このことにより、犯罪実行により処罰するとしていた今までの刑

結集力を高め交渉力強化を

県本部労働学校 次世代を担う青年女性が交流



職場の問題点と解決策を考えた

県本部は第27期労働学校を6月28日、神戸市内で開催し、16単組29人が参加した。次世代育成を目的とした労働学校には、単組青年女性部幹事などが参加し、他の職場環境などが交流でき「よかった」と感想を述べた。

午前の講義は県本部の青木慎吾執行委員が「組合活動活性化に向けて」と題して行った。「組合がなぜその取り組みを行っているのか、次の世代に丁寧に伝えることで結集力が高まり、交渉力強化につながる」と強調した。

いまいち座

「どこを削れば…」



大植 賢(豊岡市職労)

しこう

長女一家に家族が増えた。久々の嬉しいニュースだが、仕事を持つ身としては、家事などを手伝う毎日、なかなかハードな日々であった。しかし、忙しい日程でも職場の理解で半休・時間休を振り分けて出勤することができた▼民間会社で働く彼女は、労基法通りの産前産後休暇のみである。1年後の職場復帰は、家庭の状況ですでに無理と諦めている。今後はパートかアルバイトの短時間労働で家計を助け、社会とつながりたいと言ふ▼保育所の待機児童とかの問題ではなく、フルタイムで働けば毎日定時に帰れず、保育園のお迎えが困難な職場環境があるらしい▼社会問題になっているサビス残業も他人ごとでは済まされない。職場環境の改善には組合をと言っても、笑って済まされる。今の働き方改革は企業にとつての働き方改革ではないのか?この頃強く思う。(三)

野球

宝塚が接戦を制し2連覇 神崎病院が悲願の初優勝

李バレー



決勝戦で打投に大活躍した宝塚市職労の長谷川晃司選手

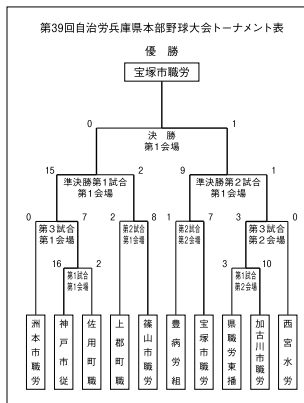
野球大会

県本部野球大会決勝は、6月22日上郡町スポーツセンター野球場で、宝塚市職労チーム（以下宝塚）が、1対0で神戸市役所（以下神戸）を下し優勝した。宝塚は7月31日から開催される近畿地区大会に出場する。

決勝は、神戸津田投手、宝塚長谷川投手の投げ合いで緊迫した好試合となった。

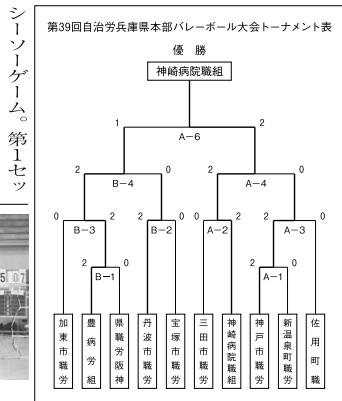
が、宝塚は2回表にレフト前ヒットで出塁した友清選手がレフト犠牲フライでホームを陥れた。長谷川投手は、3回以降ヒットを許さず1点を守り切った。神戸は1回裏に3塁打で出塁したが、次打者の投前ゴロで本塁を狙ったがタッチアウトが悔やまれる。大会は17日、22日に各5ブロックから予選を勝ち上がった10チームがトーナメントをたかかった。

1回戦・2回戦の好試合は、篠山対上郡。両投手の好投もあって7回まで無得点のままタイブレーク（フリーアウト満塁）の延長戦で篠山が逃げ切った。また、加古川対西宮では、加古川の大槻投手がノーヒットノーランを達成した。準決勝第1試合は、神戸が15対2（5回コールド）で篠山を下し、第2試合では宝塚が9対1（6回コールド）で加古川を下した。



女子バレーボール大会

6月24日、新温泉町健康公園体育館で、第39回県本部女子バレーボール大会が行われ、神崎病院職組が初優勝、準優勝は豊岡病院職組、3位は丹波市職労と神戸市職労となり、神崎病院は7月31日に大阪で開催される近畿地区大会に出場する。



強烈なアタックが決まる

無知・無理解な人が危ない

人権学習会

県本部は人権学習会を兼ねて7月1日、神戸市教育会館で開催された解放同盟兵庫県連主催の「部落差別解消推進法を考える連続講座」に執行委員を中心に参加した。

部落差別解消推進法は昨年12月に公布・施行されたが、その意義は、現在もなお部落差別が存在すると国が認めたこと、また部落差別は許されないと法的に社会規範を示したこと、そして、無知・無理解な人が危なく、デマ情報と拡散力



講演を行う川口泰司さん

地域医療の重要性を訴える

阪淡ブロック ポスティングで住民へ周知

昨年12月に突然発表された「市立川西病院の経営改革プラン（案）」に、市北部からの移転、経営形態の変更の方針が出された。これを受け、川西市北部の地域医療を守るため、市立川西病院労組、阪神淡路ブロック病院部会、県本部衛生医療評議会が、組織内議員や住民団体と連携し、新聞折り込みや街頭でのビラ配布活動、署名活動を展開した。

アナログ または めくもり

県本部まんがコンクール作品募集中

- ・テーマ 「アナログ」または「めくもり」
- ・募集締切 8月31日（木）必着
- ・募集対象 組合員、組合員の家族、退職者
- ・商品券 【大笑】1点・2万円 【おもしろ笑】3点・各5千円など
- ・作品規格 B5版。1コマまんが カラー・白黒は自由
- ・応募先 自治労兵庫県本部・教宣部宛 650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル7階

域医療の重要性を訴え、川西市当局の計画の問題点を指摘したビラを作成し、7月1日を集中行動日として、川西市北部約1万5千世帯にポスティング行動を実施し、阪神淡路ブロック単組を中心に約50人が、約2時間ビラ配布に汗を流した。今後も引き続き、住民団体と連携し署名活動などを続けていく予定。

優勝した神崎病院の末戸由香主将は「夢みたいで」と初優勝の喜びを語り、勤務の関係でなかなか全員揃っての練習ができないが「1試合でも取りたい」と、近畿大会への決意を述べた。

ZENROSAL NEWS

51136260

↓対照的なお二人ですが…



※ご契約にあたってはパンフレットをご覧ください

違いはコレ!

長期共済

- 掛金は月々3,000円(1口)から
- 退職後の保障に備え、在職中に掛金を積み立てる制度です

団体生命共済に加入していれば 毎月ご加入いただけます!

在職中：新団体年金共済
退職後：新団体年金共済・個人年金共済
個人長期生命共済・終身生命共済

ご不明な点があれば、まずは組合員にご連絡ください。

全労済 自治労共済本部

全日本自治労労働者共済生活協同組合

全労済は、営利を目的としない保障の施設として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

全労済自治労共済本部資料より引用

当面の日程

- 4～5日 県本部現評総会・各種集会（舞子ビラ神戸）
 5日 県本部衛生医療評総会（ひょうご共済会館）
 10日 県本部都市文評総会（県本部会議室）
 11日 県本部拡大青年部・女性部長会議（ひょうご共済会館）
 28～30日 自治労本部定期大会（新潟市朱鷺メッセ）

自治ひょうご



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL 078-392-0820 FAX 078-392-0920
 http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail: jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1501号

2017. 8. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円
 購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部
 書記長／尾西亮太郎・編集人／宮本誠之

核兵器禁止条約受け「核廃絶を訴えたい」

第33回平和の火リレーが発



第1ランナーに平和の火を灯す

第33回反核平和の火リレーが7月10日、兵庫県庁前をスタートした。8月1日の神戸市役所到着まで、県内全自治体を青年女性が走りつづける。

9時30分からは行われた出発式では、平和友好祭の北村望実行委員長（県本部青年部書記長）が、「国連で核兵器禁止条約が採択された。リレーを通して「核兵器廃絶」を訴えてきた」とあいさつ。続いて県本部の服部圭司副委員長をはじめ、政党内閣関係者が激励の言葉を述べた。

リレーは北村実行委員長が平和の火を灯し、県庁前から、県職労、朝鮮総連のメンバーが走った。

生活困窮者自立支援法の成立や高齢化社会など、社会保障を取り巻く状況が変化する中、福祉行政や福祉施設を担う組合員の課題を明らかにしようとして7月22日、県本部福祉集会所を開催した。19組50人が参加し、社会福祉評（社福評）の運動づくり、分設会による実態交流を行った。

「運動づくり」では、本部長の佐保昌一事務局長が講演。仕事量の多さや住民・利用者からの要望など福祉現場の現状に触れ、「みんなが抱える問題を一緒に考え、解決をはかるのが組合と強調した。また、現



講演する佐保さん

いまいち座
「共謀罪だ！」

テロ防止法

大西 英剛



全国から3千人が結集した7.25集会

6月20日の交渉で交渉団は、17春闘での民間の引き上げ状況を踏まえ、月例給・一時金の引き上げ勧告実現、超過勤務の縮減等に向けた「働き方改革」の推進を重要課題とし、①公務員労働者の賃金について②非常勤等職員の制度および処遇の改善、の3点について要求書を提出。

公務員連絡会の石原議長は、「民間は4年連続となる賃上げが実現。賃上げの流れは非正規労働者も含め、社会全体に広く波及し

生活困窮者自立支援法の成立や高齢化社会など、社会保障を取り巻く状況が変化する中、福祉行政や福祉施設を担う組合員の課題を明らかにしようとして7月22日、県本部福祉集会所を開催した。19組50人が参加し、社会福祉評（社福評）の運動づくり、分設会による実態交流を行った。

自治労が政府要請に取り組んでいることも紹介し「現場の声や実態から組合を築こう」とまとめた。

分設会は、①自治体福祉行政組合員②介護職福祉施設③社会福祉協議会にわかれ、議論を深めた。

施設交流では、「正規補充がなくアルバイトの割合が高くなっている。正規に増える負担が偏り、回数が増えている」（町営老健施設、「施設長は行政の人で数年で異動するためスキルを持っていない。現場のことがわからず、利用者や家族の声に引っ張られてしまう」（多数）、「例えば、現

2017人勤期闘争

人事院勧告は8月上旬の予定

公務員給与の引き上げを求める

6月20日、公務員連絡会は、人事院に「17年人事院勧告に関わる要求書」を提出。7月25日には全国から3千人が日比谷公園に結集し、早期勧告を求めるとともに、交渉支援行動を行った。

6月20日の交渉で交渉団は、17春闘での民間の引き上げ状況を踏まえ、月例給・一時金の引き上げ勧告実現、超過勤務の縮減等に向けた「働き方改革」の推進を重要課題とし、①公務員労働者の賃金について②非常勤等職員の制度および処遇の改善、の3点について要求書を提出。

公務員連絡会の石原議長は、「民間は4年連続となる賃上げが実現。賃上げの流れは非正規労働者も含め、社会全体に広く波及し

これに対し吉田人事官は、「人事院としては、国会と内閣に必要な報告勧告を行うという国家公務員法に定められた責務を着実に果たしていく所存。今後、本年の勧告に向けて、皆さ

ん意見も聞きながら、検討を進めてまいりたいと考えている」と応えた。

すでに造幣局及び国立印刷局の賃金も4年連続、0.29%相当額引き上げとする調停案を受けて決着。

公務員連絡会は、早期勧告実施を求め、7月25日には全国から3千人が日比谷公園大音楽堂に結集。この日の交渉では月例給・一時金等について具体的な回答は示されず、「勧告日は昨年の日程を念頭に置きながら作業を進めている」との回答に留まった。

4日に県本部森薩守委員長と県職労の大野義政委員長連名の申し入れ書を県人事委員会の太田和成委員長に手渡し、「働き方改革による長時間労働の是正」「臨職の処遇改善」など、県人事委員会勧告に向けて最大限の努力をするよう要請した。



県人事委員会申し入れの様子

「核兵器禁止条約」が7月7日国連総会において賛成多数で採択された。本条約は、前文で「核兵器使用の犠牲者の受け入れ難い苦痛と被害に留意する」と明記し、核兵器の開発や保有、使用などを全面的に禁止するものである。驚くことに日本政府は本条約に「反対」の立場をとってきた。岸田外務大臣は、「核兵器を持つていない国と持っている国との間で対立が深まり、より核のない世界を遠ざける可能性がある」と述べた。米国の「核の傘」に頼る結果がこれだ。▼現行の核拡散防止条約（NPT）体制は、核保有国のエゴで核軍縮は進んでいない。唯一の戦争被爆国である日本は、「核保有国と非保有国の橋渡し役」として核軍縮への役割を果たすべきだ。（誠）

訂正とお詫び

自治ひょうご1499号において掲載した「えさきたかし」参議院議員のホームページアドレスに誤りがありました。訂正しお詫び申し上げます。正しくは

「えさきたかし」参議院議員のホームページアドレスに誤りがありました。訂正しお詫び申し上げます。正しくは

神戸市従退職者会の取り組み 私たちにできる事とは 料理を通して社会貢献めざす



リハーサルでの調理の様子

神戸市従業員労働組合と退職者会は結成50周年記念事業として、これまで培ってきた技術と経験を活かした社会貢献活動を模索する中、7月から毎月第4土曜日の原則に月1回、子と親の料理教室「ホット・HOT・キッチン」を神戸市ひとり親家庭支援センターで開催している。

今回の活動は、現業単独労組である「神戸市従退職者会」にしかできない活動で社会貢献事業ができないうのかの思いから幹事で協議し、豊富な人材とこれまでの経験と技術を活かし、親子料理教室で「作ったり・食べたりすることによって、大人ともかわり深め、来てくれた子ども

たちが笑顔で帰る長期的な取り組み」としている。

神戸市従退職者会の田淵常雄事務局長と岡村孝子事務局長は「経験と技術を活かし、必要不可欠だと認識される活動を通じて現業職場の大切さを訴えようと、親子団らんの場として、長期的活動にしたい」とし、神戸市従の小原主之書記長は「市民福祉を組合が主体的に取り組み時代が来ている、今回の活動が長期的に続くよう協力していきたい」と話した。



メタン発酵機の説明を受ける

今回の点検では特に問題点はなかったが、廊下に歩行器等が置かれていたなどの改善点を指摘。点検後の意見交換会で「貴重な意見をいただいた。早急に改善する」との当局回答があった。また、電子カルダの導入と診療体制、動線の改善により待ち時間が約20分短縮したという改善報告もされた。

なお、当日は「ひようこ労働安全衛生センター」の

阪神淡路ブロック
公営企業評議会水道部会が7月14日に、伊丹市千僧浄水場の職場安全点検活動を実施し、8単組から14人が参加した。

まず職場巡視前の打ち合わせとして、伊丹市上下水道局の労働安全衛生の取り組みについて、当局担当者より説明を受けた。労働安全衛生法に基づき、局規定を整備したうえで、安全衛生委員会を設置し、毎月の開催、職場パトロールの実

施など、職場の安全衛生を確立するための取り組みが報告された。

続いて、伊丹市水道事業のPR映像を視聴し、施設の概要説明を受けた後、職場巡視を行った。

河川や貯水池からの原水を取り込む着水井から、沈でん池、オゾン・活性炭による高度浄水処理施設等を巡視し、手すり等の転落防止、薬品など危険物の管理、備品等の整理などについて聞き取り、点検をした。

職場巡視終了後の意見交換では、清掃等の委託業者



伊丹市千僧浄水場を点検

の安全管理や夜間の照明について指摘や質問があったが、参加者からは伊丹市水道局の安全に十分配慮した取り組みに感心したという声が多くあった。

なお、ブロック現業評議会については、7月31日に宝塚市営火葬場で職場安全点検活動を行っている。



指摘したピット内での洗車

はじめに当該施設の職員で播磨ブロック現評副議長河本剛さんから施設の概要説明を受けた。

今回点検を実施した施設は「開設以来13年間一度も労災事故はない」ということだったが、委託業者の作業員がピット内で洗車するなど、危険な作業をしている実態があり、統一的な作業マニュアルを作る必要性を指摘。その他、毎月1回以上の安全衛生委員会の開催など改善点があった。

また、衛生医療評議会については、7月11日に明石市民病院での職場点検活動を実施した。

今回の点検では特に問題点はなかったが、廊下に歩行器等が置かれていたなどの改善点を指摘。点検後の意見交換会で「貴重な意見をいただいた。早急に改善する」との当局回答があった。また、電子カルダの導入と診療体制、動線の改善により待ち時間が約20分短縮したという改善報告もされた。

なお、当日は「ひようこ労働安全衛生センター」の

労働安全衛生月間
地域ブロックの活動

統一的な作業マニュアルが必要

点検により動線など改善

憲法という希望

木村草太さん講演会

首都大学東京法学系教授

◆9月5日(火)18時開場
18時30分開会

◆丹波の森公苑ホール
入場料/前売800円(当日1,000円)
主催/木村草太さん講演会実行委員会
◇問い合わせ&チケット申込み◇
電話:0795-73-3869
FAX:0795-72-3639
メール:soutasan28@gmail.com



但馬丹波ブロック

但馬丹波ブロック現業評議会は7月14日、朝来市にある南但クリンセンターの職場安全衛生点検活動を行った。

この施設は自治労組合員7人が所属し、直営のリサイクルセンターと外部委託している高効率原料回収施設(ごみ処理施設)を視察した。

今回は一般開放されている見学順路からの視察で、機械設備は稼働から3年目であり、特に問題もなく、室内は整理整頓もされていたが、排水溝にグレーチングがない箇所や、薬品の取り扱い注意事項の表示がない点など、作業時の危険箇所を指摘した。

ZENROSAI NEWS
5115B117

いざというとき、大丈夫ですか?

風水害から盗難まで保障、地震にも備える

新 自然災害共済

毎月加入できます!

※新自然災害共済は、新火災共済に付帯しての契約となります。
新自然災害共済のみに加入することはできません。

※最高加入限度口数住宅400口・家財200口で加入の場合の保障内容

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とよりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いただいた組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

全労済の 住まいる共済

(新)火災共済・(新)自然災害共済
風水害等給付金付火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済

「全労済の住まいる共済」は、新火災共済と新自然災害共済をあわせた呼び名です。

ご不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。

全労済 自治労共済本部
全国労働者共済生活協同組合連合会
全日本自治体労働者共済生活協同組合

ご契約にあたってはパンフレットをご覧ください。

全労済自治労共済本部資料より引用

風水害などのケース	
最高保障額	4,200万円
突風・台風・豪雨・洪水雪崩・高波など	

地震などのケース	
最高保障額	1,800万円
地震・噴火・津波など	

(1) 姓名
 (2) 性别
 (3) 年龄
 (4) 职业
 (5) 住址
 (6) 电话
 (7) 电子邮箱
 (8) 其他

(単位: 百円)

年度	6 級					7 級					8 級					9 級					10 級								
	現行	前年	増減	比率	増減率	現行	前年	増減	比率	増減率	現行	前年	増減	比率	増減率	現行	前年	増減	比率	増減率	現行	前年	増減	比率	増減率				
1	3,177	22	3,155	22	0.3	3,618	25	3,653	25	6.1	1	4,073	24	4,077	24	4.1	1	4,676	31	4,680	31	4.1	1	5,209	29	5,213	29	4.1	1
2	3,199	23	3,207	23	0.3	3,644	25	3,649	25	5.1	2	4,097	25	4,101	25	4.1	1	4,697	30	4,611	30	4.1	1	5,238	31	5,242	31	4.1	1
3	3,222	22	3,230	22	0.3	3,659	26	3,674	26	5.1	3	4,122	24	4,129	24	4.1	1	4,697	30	4,541	30	4.1	1	5,269	31	5,273	31	4.1	1
4	3,244	22	3,252	22	0.3	3,695	29	3,700	19	6.1	4	4,146	18	4,150	18	4.1	1	4,697	30	4,871	30	4.1	1	5,300	31	5,304	31	4.1	1
5	3,269	20	3,274	20	0.2	3,715	25	3,719	25	4.1	5	4,166	23	4,169	23	4.1	1	4,697	30	4,701	30	4.1	1	5,331	28	5,335	28	4.1	1
6	3,296	22	3,294	22	0.2	3,740	23	3,744	23	4.1	6	4,188	21	4,192	21	4.1	1	4,727	30	4,781	30	4.1	1	5,364	25	5,368	25	4.1	1
7	3,308	22	3,316	22	0.2	3,753	25	3,761	25	4.1	7	4,209	22	4,213	22	4.1	1	4,757	31	4,781	31	4.1	1	5,379	24	5,383	24	4.1	1
8	3,330	21	3,338	22	0.3	3,788	25	3,792	25	4.1	8	4,231	20	4,235	20	4.1	1	4,788	27	4,792	27	4.1	1	5,403	24	5,407	24	4.1	1
9	3,351	22	3,359	22	0.2	3,813	27	3,817	27	4.1	9	4,251	21	4,255	21	4.1	1	4,815	31	4,819	31	4.1	1	5,427	18	5,431	18	4.1	1
10	3,373	21	3,380	20	0.2	3,840	26	3,844	26	4.1	10	4,272	21	4,276	21	4.1	1	4,846	30	4,850	30	4.1	1	5,449	18	5,449	18	4.1	1
11	3,394	22	3,400	22	0.2	3,868	27	3,870	27	4.1	11	4,293	21	4,297	21	4.1	1	4,876	31	4,880	31	4.1	1	5,468	10	5,467	10	4.1	1
12	3,416	19	3,422	18	0.2	3,893	24	3,897	24	4.1	12	4,314	17	4,318	17	4.1	1	4,907	27	4,911	27	4.1	1	5,482	17	5,486	17	4.1	1
13	3,436	20	3,440	20	0.1	3,917	23	3,921	23	4.1	13	4,331	18	4,335	18	4.1	1	4,934	28	4,938	28	4.1	1	5,499	14	5,503	14	4.1	1
14	3,458	21	3,460	21	0.1	3,940	22	3,944	22	4.1	14	4,349	20	4,353	20	4.1	1	4,961	23	4,961	23	4.1	1	5,513	13	5,517	13	4.1	1
15	3,476	20	3,481	20	0.1	3,962	24	3,966	24	4.1	15	4,369	20	4,373	20	4.1	1	4,989	29	4,984	29	4.1	1	5,526	11	5,530	11	4.1	1
16	3,496	18	3,501	17	0.1	3,986	18	3,990	18	4.1	16	4,389	19	4,393	19	4.1	1	5,003	21	5,007	21	4.1	1	5,537	13	5,541	13	4.1	1
17	3,514	20	3,518	20	0.1	4,008	20	4,008	20	4.1	17	4,406	18	4,412	18	4.1	1	5,024	14	5,028	14	4.1	1	5,554	10	5,554	10	4.1	1
18	3,534	18	3,538	18	0.1	4,024	19	4,028	19	4.1	18	4,426	18	4,430	18	4.1	1	5,038	15	5,042	15	4.1	1	5,569	9	5,564	9	4.1	1
19	3,552	19	3,556	19	0.1	4,043	18	4,047	18	4.1	19	4,444	17	4,448	17	4.1	1	5,053	14	5,057	14	4.1	1	5,569	8	5,573	8	4.1	1
20	3,571	20	3,575	20	0.1	4,061	19	4,065	19	4.1	20	4,461	18	4,465	18	4.1	1	5,067	12	5,071	12	4.1	1	5,579	9	5,582	9	4.1	1
21	3,591	19	3,595	19	0.1	4,080	18	4,084	18	4.1	21	4,479	16	4,483	16	4.1	1	5,079	14	5,083	14	4.1	1	5,587	5,591	4.1	1	1	
22	3,610	20	3,614	20	0.1	4,098	18	4,102	18	4.1	22	4,494	14	4,498	14	4.1	1	5,093	15	5,097	15	4.1	1						
23	3,630	19	3,634	19	0.1	4,116	19	4,120	19	4.1	23	4,508	15	4,512	15	4.1	1	5,108	15	5,112	15	4.1	1						
24	3,649	20	3,653	20	0.1	4,135	18	4,139	18	4.1	24	4,523	14	4,527	14	4.1	1	5,123	11	5,127	11	4.1	1						
25	3,669	19	3,673	19	0.1	4,153	15	4,157	15	4.1	25	4,537	13	4,541	13	4.1	1	5,134	11	5,138	11	4.1	1						
26	3,688	20	3,692	20	0.1	4,172	15	4,176	15	4.1	26	4,550	13	4,554	13	4.1	1	5,145	12	5,149	12	4.1	1						
27	3,708	20	3,712	20	0.1	4,191	16	4,195	16	4.1	27	4,563	12	4,567	12	4.1	1	5,157	12	5,161	12	4.1	1						
28	3,728	15	3,732	15	0.1	4,210	16	4,214	16	4.1	28	4,575	10	4,579	10	4.1	1	5,169	10	5,173	10	4.1	1						
29	3,748	18	3,747	18	0.1	4,229	13	4,233	13	4.1	29	4,588	7	4,589	7	4.1	1	5,179	9	5,183	9	4.1	1						
30	3,768	18	3,765	18	0.1	4,248	13	4,252	13	4.1	30	4,599	8	4,599	8	4.1	1	5,189	8	5,192	8	4.1	1						
31	3,779	16	3,778	16	0.1	4,267	12	4,271	12	4.1	31	4,610	7	4,610	7	4.1	1	5,199	8	5,201	8	4.1	1						
32	3,795	18	3,799	18	0.1	4,286	12	4,290	12	4.1	32	4,621	7	4,621	7	4.1	1	5,209	8	5,210	8	4.1	1						
33	3,813	14	3,817	14	0.1	4,305	13	4,309	13	4.1	33	4,632	8	4,632	8	4.1	1	5,219	9	5,218	9	4.1	1						
34	3,827	15	3,831	15	0.1	4,324	13	4,328	13	4.1	34	4,642	7	4,642	7	4.1	1	5,229	7	5,227	7	4.1	1						
35	3,842	16	3,846	16	0.1	4,343	12	4,347	12	4.1	35	4,652	6	4,652	6	4.1	1	5,239	5	5,234	5	4.1	1						
36	3,858	14	3,862	14	0.1	4,362	12	4,366	12	4.1	36	4,663	5	4,663	5	4.1	1	5,249	7	5,239	7	4.1	1						
37	3,872	12	3,876	12	0.1	4,381	8	4,385	8	4.1	37	4,674	6	4,674	6	4.1	1	5,259	6	5,248	6	4.1	1						
38	3,884	12	3,888	12	0.1	4,399	8	4,403	8	4.1	38	4,684	6	4,684	6	4.1	1	5,269	6	5,258	6	4.1	1						
39	3,896	11	3,900	11	0.1	4,418	8	4,422	8	4.1	39	4,695	5	4,695	5	4.1	1	5,279	5	5,268	5	4.1	1						
40	3,907	11	3,911	11	0.1	4,437	6	4,441	6	4.1	40	4,706	4	4,706	4	4.1	1	5,289	5	5,286	5	4.1	1						
41	3,918	12	3,922	12	0.1	4,456	7	4,460	7	4.1	41	4,717	3	4,717	3	4.1	1	5,299	4	5,297	4	4.1	1						
42	3,930	12	3,934	12	0.1	4,475	7	4,479	7	4.1	42	4,728	2	4,728	2	4.1	1	5,309	4	5,307	4	4.1	1						
43	3,942	11	3,946	11	0.1	4,494	7	4,498	7	4.1	43	4,739	1	4,739	1	4.1	1	5,319	3	5,317	3	4.1	1						

[illegible]

(単位：百円)

50

給与勧告の骨子

○ 本年の給与勧告のポイント

月例給、ボーナスともに引上げ

- ① 民間給与との較差 (0.15%) を埋めるため、俸給表の水準を引き上げるとともに、給与制度の総合的見直しにおける本府省業務調整手当の手当額を引上げ
- ② ボーナスを引上げ (0.1月分)、民間の支給状況等を踏まえ勤勉手当に配分

給与制度の総合的見直し

- ① 本府省業務調整手当の手当額を引上げ
- ② 経過措置の廃止等に伴って生ずる原資を用いて、若年層を中心に、平成27年1月1日に抑制された昇給を回復

Ⅰ 給与勧告制度の基本的考え方

1 給与勧告の意義と役割

- ・ 国家公務員給与は、社会一般の情勢に適切するように国会が随時変更することができる。その変更に関し必要な勧告・報告を行うことは、国家公務員法に定められた人事院の責務
- ・ 勧告は、労働基本権制約の代償措置として、国家公務員に対し適正な給与を確保する機能を有するものであり、能率的な行政運営を維持する上での要諦
- ・ 公務には市場の抑制力という給与決定上の制約がないことから、給与水準は、経済・雇用情勢等を反映して労使交渉等によって決定される民間の給与水準に準拠して定めることが最も合理的

2 現行の民間給与との比較方法等

- ・ 公務と民間企業の給与比較は、単純な平均値ではなく、役職段階、勤務地域、学歴、年齢等の給与決定要素を合わせて比較することが適当
- ・ 企業規模50人以上の多くの民間企業は部長、課長、係長等の役職段階を有しており、公務と同種・同等の者同士による給与比較が可能。さらに、現行の調査対象事業所数であれば、実地による精緻な調査が可能であり、調査の精度性を維持

Ⅱ 民間給与との較差に基づく給与改定

1 民間給与との比較

約12,400民間事業所の約53万人の個人別給与を实地調査 (完了率87.8%)

<月例給> 公務と民間の4月分の給与額を比較

- 民間給与との較差 631円 0.15%
(行政職(一)…現行給与 410,719円 平均年齢43.6歳)
(俸給 456円 本府省業務調整手当 119円 はね返し分(注) 56円)
(注) 俸給等の改定に伴い諸手当の額が増減する分

<ボーナス> 昨年8月から本年7月までの直近1年間の民間の支給実績(支給割合)と公務の年間の支給月数を比較

- 民間の支給割合 4.42月 (公務の支給月数 4.30月)

2 給与改定の内容と考え方

<月例給>

(1) 俸給表

- ① 行政職俸給表(一)
民間の初任給との間に差があること等を踏まえ、総合職試験、一般職試験(大卒程度)及び一般職試験(高卒者)採用職員の初任給を1,000円引上げ。若年層についても同程度の改定。
その他は、それぞれ400円の引上げを基本に改定(平均改定率0.2%)
- ② その他の俸給表
行政職俸給表(一)との均衡を基本に改定(指定職俸給表は改定なし)

(2) 本府省業務調整手当

給与制度の総合的見直しを円滑に進める観点から、係長級の手当額を900円、係員級の手当額を800円引上げ

(3) 初任給調整手当

医療職俸給表(一)の改定状況を勘案し、医師の処遇を確保する観点から、所要の改定

<ボーナス>

民間の支給割合に見合うよう引上げ 4.30月分→4.40月分

民間の支給状況等を踏まえ、勤務実績に応じた給与を推進するため、引上げ分を勤勉手当に配分

(一般の職員の場合の支給月数)

	6月期	12月期
29年度 期末手当 勤勉手当	1.225月(支給済み) 0.95月(支給済み)	1.375月(改定なし) 0.95月(現行0.85月)
30年度 期末手当 以降 勤勉手当	1.225月 0.90月	1.375月 0.90月

【実施時期】

- ・ 月例給：平成29年4月1日
- ・ ボーナス：法律の公布日

Ⅲ 給与制度の総合的見直し等

1 給与制度の総合的見直し

- ・ 国家公務員給与における諸課題に対応するため、平成26年の勧告時において、地域間の給与配分、世代間の給与配分及び職務や勤務実績に応じた給与配分の見直しを行うこととし、平成27年4月から3年間で、俸給表や諸手当の在り方を含めた給与制度の総合的見直しを実施
- ※ 55歳を超える職員(行政職俸給表(一)6級相当以上)の俸給等の1.5%減額支給措置及び俸給表水準の引下げの際の経過措置については、平成30年3月31日をもって廃止
- ・ 平成30年度は、本府省業務調整手当の手当額について、係長級は基準となる俸給月額額の6%相当額に、係員級は同4%相当額にそれぞれ引上げ
- ・ 経過措置の廃止等に伴って生ずる原資の残余分を用いて、若年層を中心に、平成27年1月1日に抑制された昇給を回復することとし、平成30年4月1日において37歳に満たない職員の号俸を同日に1号俸上位に調整

2 その他

(1) 住居手当

受給者の増加の動向を注視しつつ、職員の家賃負担の状況、民間の支給状況等を踏まえ、必要な検討

(2) 再任用職員の給与

再任用職員の給与の在り方について、各府省における円滑な人事管理を図る観点から、民間企業の再雇用者の給与の動向、各府省における再任用制度の運用状況等を踏まえつつ、定年の引上げに向けた具体的な検討との整合性にも留意しながら、引き続き、必要な検討

(3) 非常勤職員の給与

本年7月、勤勉手当に相当する給与の支給に努めることなど、非常勤職員の給与に関する指針を改正。早期に改正内容に沿った処遇の改善が行われるよう、各府省を指導

公務員人事管理に関する報告の骨子

働き方改革などにより、有為の人材を確保し、全ての職員の十全な能力発揮を可能とする魅力ある職場を実現することは、公務が行政ニーズに応えていくための基盤。職員意識調査の結果も踏まえ、国民の理解を得つつ、活力ある公務組織を維持できるよう、引き続き中・長期的な視点も踏まえた総合的な取組を推進

1 人材の確保及び育成

(1) 多様な有為の人材の確保

民間の多様な取組の動向も注視し、公務の魅力や大学関係者を含め広く具体的に発信することが重要。女性や地方の大学生、民間人材など対象に応じたきめ細かな人材確保策を各府省と連携し展開

(2) 能力・実績に基づく人事管理の推進

人事評価制度は公務職場に定着。今後、長時間労働の是正や多様な働き方の推進を踏まえた適正な評価が必要。引き続き人事評価結果の任免・給与等への活用、苦情の解決を適切に推進

(3) 人材育成

能力開発の方向性等につき職員とのコミュニケーションが重要。本院は、マネジメント研修、キャリア形成・女性登用拡大に資する研修、中途採用者向け研修を充実強化

2 働き方改革と勤務環境の整備

(1) 長時間労働の是正の取組

超過勤務予定の事前確認等の徹底など職場におけるマネジメントの強化、府省のトップが先頭に立って組織全体として業務の削減・合理化に取り組むことなどが重要。本院としても、官民の参考事例の収集・提供等により、各府省の取組を支援

(2) 長時間労働の是正のための制度等の検討

各府省の取組や上限規制に係る民間法制的議論等を踏まえ、各府省や職員団体等の意見を聴きながら実効性ある措置を検討。また、超過勤務の多い職員の健康への更なる配慮として必要な措置を検討

(3) 仕事と家庭の両立支援の促進等

指針の改正による両立支援の促進、フレックスタイム制の活用促進、ハラスメント防止対策・心の健康づくりの推進

(4) 非常勤職員の勤務環境の整備

非常勤職員の給与については、本年7月に指針を改正したところであり、引き続き、指針の内容に沿った処遇が行われるよう、各府省を指導。また、民間における同一労働同一賃金の議論を踏まえ、雇用に係る休暇等について検討

3 高齢職員の能力及び経験の活用

質の高い行政サービスを維持するには、高齢職員を戦力としてその能力及び経験を本格的に活用することが不可欠。このためには採用から退職までの人事管理の一体性・連続性が確保され、職員の意欲と能力に応じた配置・処遇も可能となることから定年の引上げが適当。その際、組織活力の維持のための方策について政府全体で検討を進めることが必要。本院は、定年の引上げに係る人事管理諸制度の見直しについて、平成23年の意見の申出以降の諸状況の変化も踏まえ、論点整理を行うなど鋭意検討

当面の日程

- 8～9日 県本部公企評議会・公企集会 (ゆめ春来)
 9日 県本部青年部総会 (神戸市教育会館)
 9日 県本部女性部総会 (神戸市教育会館)
 9日 県本部公企民間協議会 (フルーツフラワーパーク)
 13日 町職連協議会 (太子町保健福祉会館)

自治ひろこ



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
 http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1503号

2017. 9. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円
 購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部
 書記長/尾西亮太郎・編集人/宮本誠之

現業評議会定期総会

直営堅持を基本に 2017現業公企闘争を推進

県本部現業評議会は、8月4日、舞子ビラ神戸において2017現業評議会総会を開催した。主催者を代表して長谷川克彦議長は「今後の現業公企統一闘争のあり方について様々な機会での学習し、本部現評・公企評や近畿地連現評と意見交換を行ってきた。県本部現評は『直営堅持』を基本にどのような形になろうとも取り組んで行くことを皆さんと意思統一を終えた。」

「したい」とあいさつと決意を述べ、県本部森藤守委員長、三宅一茂公企評事務局長、前田克子臨職評議長から、連帯と激励のあいさつを受けた。

総会では、2017年度の活動を確認・総括し、2018年度の運動方針と神戸一議長、北池宏光事務局長の新役員体制を確認し、神戸新議長の発声で団結ガンパロー三唱により総会を閉じた。

翌8月5日は、清掃学校一般現業の各部会に分かれて集会を開催し、参加者同士で各単組の現状や課題を話し合い交流した。

衛生医療評議会定期総会

藤田さん(加西市民病院)が新議長に

状況の説明を受け、自治労本部の白井桂子衛生医療評議会事務局長から来賓あいさつを受けた。活動報告と活動方針案の確認後、藤田勝也さんを議長とする新役行は「変化は激しいが、労働条件にあって、協議や交渉を経て労使で決めていくことに変わりはない。川西病院の状況には引き続き取り組みを強化したい」とあいさつを行った。また、森藤守県本部委員長から、人事院勧告の方向性について

員体制について全体の拍手で承認した。

総会後は、城西大学教授の伊関友伸さんから「生き残る(働き続けるための)病院づくり」というタイトルで記念講演を受け、会場からは「当市は他市町に比べて、消滅の危機が深刻。病院の存続の前に、人口を増やす施策が必要と学んだ」「現状で、若手の優秀な職員の離職防止策について教えて欲しい」等の活発な意見や質問が出された。



2日間の熱戦を制した宝塚市職労チーム

近畿地連スポーツ大会が7月31(日)8月1日に大阪府内で開催され、兵庫県本部からは野球大会に宝塚市職労、女子バレーボール大会へは神崎病院職組が出場。野球大会では宝塚市職労が昨年準優勝の雪辱を果たし近畿の頂点に立った。

野球大会出場した宝塚市職労は1回戦で奈良市職と対戦。4回裏、奈良に1点を先行されたものの、8回表に宝塚打線が爆発し、一挙6点を挙げ準決勝へコマを進めた。

準決勝の自治労寝屋川との対戦は2回に宝塚が1点を先行したものの6回に寝屋川が2点を奪い逆転された。しかし宝塚は7回に1点を追加し同点、その後時間切れで9回は特別ルールのタイブレークとなり、宝塚は相手エラーと2安打で4点を奪った。その裏、寝屋川は3点を返すも反撃はこきま、宝塚が決勝戦に勝ち進んだ。

決勝戦は2年連続の宝塚と近畿大会3年ぶり出場の福知山市職労が対戦。福知山先行で始まった試合は初回に宝塚が3番中島選手との3ランホームランなどで4点を先取りし、3回に3点、4回に2点、5回にも2点、6回に1点を追加し、12対2の大差で6回コールドで勝利を決めた。

なお、宝塚は来年開催される全国大会に近畿代表として出場する。

また、女子バレーボール大会は7月31日に大阪市中央体育館で開かれ、神崎病院職組は奈良県職連と対戦。序盤はお互いに点を取合う展開となったものの、神崎病院は初出場の緊張から全体的に動きが硬く、波に乗った奈良県職に全力を出し切れず2対0のセットカウントで惜敗した。

神戸市長選挙が10月8日告示、22日開票の日程で行われる。今回の選挙では現職で2期目をめざす「久元きぞう」さんを、神戸3単組(市職労市従交通)は

久元さんは、この4年間神戸市行政の舵取り役として、井戸県政と県市連携した政策をはじめ、神戸に活力と新たな風を起こす取り組みを進めている。神戸市在住の組合員、友人・知人の紹介を要請する。

「15平和のための市民の集い」で知花昌一さんと山城博治さんの話を聞いた。8月15日は日本では敗戦の日だが、アジアの国々では「日本からの解放の日」だ。教科書からは沖縄での「集団自決」の記載から「日本軍による」との表記が削られた。知花さんは沖縄戦での20数万人の犠牲から、軍隊は住民を守らないということ、そして、教育の恐ろしさと大切さを伝えなければと訴えた。山城さんは長い間の拘留で、「誰と一緒にやったのか」としつこく聞かれたそう。権力側は、「共謀罪」をチラつかせて現場から大衆運動を引き離すことを狙っている。絶対的平和主義、絶対的反戦主義しか日本の平和を守る道は、古のたたりはまだまだこれからだ。日本という国そのものを米軍基地化しようとする動きを「何としても止める」との思いをあらたにした1日だった。

近畿地連 スポーツ大会

野球

宝塚が近畿の頂点に立つ

女子バレーボール

神崎病院は硬さ取れず惜敗

神戸市長選挙 10/8告示、22投開票

久元きぞうさんを推薦決定

いまいち座

迷走台風



おやすみ漫

都市交評総会

横の繋がりを強め 都市交の団結を維持



伊丹交通と神戸交通が情報共有

伊丹交通と神戸交通が情報共有
伊丹交通と神戸交通が情報共有
伊丹交通と神戸交通が情報共有

伊丹交通と神戸交通が情報共有
伊丹交通と神戸交通が情報共有
伊丹交通と神戸交通が情報共有



35人が職場や組合活動について議論

35人が職場や組合活動について議論
35人が職場や組合活動について議論
35人が職場や組合活動について議論

「断捨離とは自分自身を尊重すること。物と自分の関係を見つめ直すことで、思考や環境を変える力にしよう」
県本部男女がともに担う委員会(委員会)が主催する第2回女性組合員交流会

自分を大切にできる働き方を

第2回女性組合員交流会

断捨離とは自身の尊重

断捨離とは自分自身を尊重すること。物と自分の関係を見つめ直すことで、思考や環境を変える力にしよう

断捨離とは自分自身を尊重すること。物と自分の関係を見つめ直すことで、思考や環境を変える力にしよう

断捨離とは自分自身を尊重すること。物と自分の関係を見つめ直すことで、思考や環境を変える力にしよう



ドローンを飛ばし、BBQの様子を撮影

あわじ島に78人 グループでウオーラリーなど

あわじ島に78人
グループでウオーラリーなど

候補者を推薦決定
豊岡市議選 10/22告示、29投開票
足田 仁司さん(新人)
新温泉町議選 10/24告示、29投開票
中村 茂さん(現職)
阪本 晴良さん(新人)

もしもが起きるその前に…入って安心! 住まいと家財のための新自然災害共済



- ①「新自然災害共済」は、「新火災共済」に付帯して利用いただけます。
- ②「新自然災害共済」には「大型タイプ」「標準タイプ」があります。いずれかのタイプをご選択ください。
- ③賃貸住宅にお住まいの方も、大切な家財のために、ご利用をおすすめします。

自治労共済本部
全労済の住まいる共済
新火災共済・新自然災害共済



全労済は、営利を目的としなない保障の生産として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただく組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

全労済自治労共済本部資料より引用

自治体ネットワーク情報

No.161
2017. 6. 1
発行人/尾西亮太郎・編集人/宮本誠之

県本部 2017 反行革・組織集会分科会報告 (5/13 開催)

安心して働ける人員の確保を

人員確保にむけた課題の分科会報告

職員不足により超勤増、職場環境の悪化などにより、メンタル職員の増加。また、臨時・非常勤等職員も増加。長時間労働が慢性化する中、過労死が大きな社会問題となっており、長時間労働の是正が大きな課題として、分科会を開催した。

資料として厚労省の「労働時間の適正な把握のために使用者が講ずべき措置に関するガイドライン」とH28年度県内市町の定員管理調査結果が説明されたのち、三田市職労、高砂市職、姫路市従より人員要求について職場オルグの大切さが報告された。

単組状況については、「40～50 代の人員割合が多く年齢構成のひずみ解消のため、ここ何年間かは計画的な採用を求めている」「職場ごとの不足人数など調べての要求とはなっていない」「若年層の離職が増えている」「時間外が多い部署に人員増を求めるも人員定数の縛りで難しい」「職場オルグ及び4月異動後には、各執行委員から情報を得て人員確保の取り組みに活かしている」等の意見が出された。



臨職等の組織化と処遇改善分科会報告



地方公務員法及び自治法の一部を改正する法律が衆議院本会議で可決されたことから、分科会では臨時・非常勤職員等に対するこれまでの地公法の課題が報告され、法律改正で臨時・非常勤職員等の任用根拠が明確化し、法律上存在が位置付けられる説明がされた。処遇の改善が目的であり細かい点から納得はできないが、全国的な大きな視点で見れば半歩前進でもあるが、兵庫は運動が進んでいる組合も多くあり、少し後退の心配もある。

新制度は任期を1会計年度とする会計年度職員のフルタイムか、パートタイムで任用が分けられることから、今まで労使交渉で勝ち取った一時金や退職金について、不安な声が多く出された。法律改正は2020年度4月から。それまで単組は正規組合と一緒に協議することや協議会組織は必ず当事者を入れて協議するように提案があった。その後単組報告では、赤穂市職と県職労から非正規職員の組織化について今後の取り組みについて報告がされた。

反行革課題の分科会報告



この間の合理化攻撃で地方公務員の数は1994年のピーク時の328万人から2015年は275万人と大幅な削減がされてきた状況や、現在、地方財政制度改革と自治体「トツプランナー方式」、「見える化」から各自治体に行革を強いる国の政策を学び、各単組が置かれている状況・問題点の共有化を図った。

参加単組からも、行革の名のもと、委託化の流れに歯止めがきかない状況に危機感を持っている発言がされ、尼崎市職労からは「窓口業務委託化の交渉時、当局はメリットばかりを強調、委託導入時、住民票発行も2時間待ちとなるなど市民から苦情が多く寄せられた。導入から1年が経過したが年度末も混乱」と委託化による弊害事例等が報告された。

反行革の取り組みは、私たちの労働条件改善だけでなく住民サービスに直結することから、あらためて、権利闘争を念頭に、産別闘争の取り組み強化が重要であり、6月期にひかえる人員確保闘争を全力でたたかっている！と締めくくった。

第27期労働学校受講生募集

今回は1日開催の日程に変更となりました

日時 6月28日(木)10:30～17:00

場所 ひょうご共済会館

内容 講義①「労働組合の意義と組合活動活性化に向けて」

講師 青木慎吾県本部現外部部長
講義②「自治体労働者の賃金」

講師 宮本誠之県本部副委員長
分散会交流「職場の問題点を話し合おう」

自治労共済の分科会報告

兵庫での団体生命共済及びびんかー共済の加入率は10%程度で全国平均を大幅に下回っており、こうした状況を改善するため、共済推進活動の分科会では、加入促進に向けた議論を行った。

単組報告では、「単組では基本型の説明しか出来ていない。執行部が1年交代であったり、書記もいない状況ではなかなか活動できない」「外資系の自動車保険に切り替える人が増えている」「子どもが生まれたのをきっかけに入ってくれる組合員がいる」「団生のメリットが周知できていない」等の現状が報告された。

県本部からは、「共済活動を推進するためには、まずは、単組役員が団生に入らなければ組合員へ制度の優位性も説明できない。加入が増えれば単組の財政も潤うことも把握してほしい。団生については私達の声を聴いて改正がある。運動方針も考え、どういった運動を進めていくのかを考えて取り組みを進めてほしい」と要請し、分科会を終了した。



県本部 2017 労働安全衛生集会

健康で安心して働き続けられる職場づくりに向け、安全衛生委員会の活性化を重視した取り組みの意思統一をするために見出しの集会を開催します

日時 6月29日(木) 13:30～17:00

場所 ひょうご共済会館

内容 集会基調と今後の取り組み提起
単組報告
講演「長時間労働・過重労働」
分散会

自治ひょうこ ネットワーク情報

No.162
2017. 6. 2
発行人/尾西亮太郎・編集人/宮本誠之

兵庫県知事選挙

井戸敏三さんの推薦を決定



井戸敏三略歴

1945 年 8 月 たつの市に生まれる
1952 年 新宮小学校入学
1962 年 東京大学法学部卒業、
1968 年 自治省に採用され、鳥取

県、佐賀県、宮城県、静岡県、国土庁土地局、自治省税務局を経て、運輸省航空局、自治省行政局、財政局、大臣官房各課長を歴任

1995 年 自治大臣官房審議官
1996～2000 年 兵庫県副知事
2001～現在 兵庫県知事
2010～現在 関西広域連合長

趣味 山歩き、タウンウォッチング
座右の銘 「誠心誠意」
著書 「地方自治総合講座」(編集代表)
「随筆集 歩みながら」
「随筆集 一歩いっぽ」他

2017 年 1 月の県本部旗開きであいさつをする井戸敏三さん

県本部は連合兵庫の要請を受け、5 月 8 日の第 8 回執行委員会で、6 月 15 日告示の兵庫県知事選挙に、現職の井戸知事の推薦を決定した。「働くことを軸とする安心社会」の実現や、「地方分権の推進」が今後ますます重要であり、関西広域連合での井戸知事や久元神戸市長の発言力に期待している。

投票日は 7 月 2 日。各単組・支部等で「井戸敏三」予定候補の推薦決定を行うとともに、最後の最後まで、ご家族・知人・友人に周知徹底をお願いする。

No.162

自治ひょうこ ネットワーク情報

No.163
2017. 6. 15
発行人/尾西亮太郎・編集人/宮本誠之

県本部の各評議会を紹介①

県本部では、職種別など専門的に活動する補助機関として、14 の評議会を組織している。今回より、県本部で組織する評議会の活動を順次紹介する。

町職員組合連絡協議会

【構成と目的】

平成の大合併前は 70 町を超える組織で構成され、町長側の当局（事務局：町村会）と町職連協（事務局：自治労）は、交渉により妥結した内容を統一基準として「町村会準則」を策定してきた。その後、平成の大合併以降、統一交渉から意見交換会に移行した。現在は、猪名川・多可・稲美・播磨・神河・市川・福崎・上郡・佐用・太子・香美・新温泉の 12 町職と神崎病院・猪名川臨職労、佐用ひまわり労組・新温泉臨職労が町職連協に結集している。

町職は、県・都市職に比べ賃金・労働条件が低い
ため、町職連協に結集し、真の地方自治確立と住民福祉の向上をめざしている。



総会では町職連協の歌を全員で合唱する⑤

【今後の課題】

町では都市部への人口流出や人口減少、農業をはじめとした地場産業の衰退、高齢化など地域社会の形成にとって大きな課題をかかえている。

平成の大合併で町の数は 6 分の 1 になり、行政区域が拡大した。職員は限られた人数で恒常的に複数の仕事を掛け持ちして業務を行っている。人事が硬直化したり、専門性に不安を持ちながら任務にこななければならぬ場合もある。

こうした町村固有の課題のほか、賃金・労働条件の改善、財政の確立が課題である。また、住民と顔の見える関係を活かした地域づくりを進めていかなければならない。

【現在の幹事会体制】

議長	高見 浩樹 (佐用町職)
副議長	藤原 一宏 (神河町職)
事務局長	水田 載久 (香美町職)
事務局次長	北川 寿一 (稲美町職)
幹事	佐倉 翼 (多可町職)
	後藤 幸基 (市川町職)
	石田 義浩 (猪名川町職)
	橋本 優 (播磨町職)
	澤田 和也 (福崎町職)
	井上 博基 (上郡町職)
	村上 泰広 (太子町職)
	村尾雄一郎 (新温泉町職)
特別幹事	小中 武 (猪名川町職)
	足立 育生 (神河町職)

No.163-1

全国一般兵庫地方労働組合

【結成の歴史】

全国一般は、1955年に官公労や民間大手産別からのカンパと支援を受けて結成された合同労組。中小労働者の結集をめざして、職種・企業・雇用形態を問わず、個人加盟を原則とし、企業の枠を越えて、あらゆる労働者が加盟できる組織として、中小労働運動を取り組んでいる。

兵庫県では、1969年から全国一般労働組合兵庫地方本部として県内の中小労働者の指導にあたってきた。

全国一般は2006年1月、自治労と中央本部間で産別統合し、2009年1月に全国一般の各県組織が自治労の各県本部に単組加盟して完全統合した。正式名称を「全国一般兵庫地方労働組合」と改称して活動を続けている。

【日常活動】

組合員の職場における労働条件の維持・改善や社会的地位の向上に努めている。

各職場単位に支部を作り、職場での賃金引き上げの交渉や、夏・年末の一時金交渉など会社側と団体交渉を行い、それぞれの労働条件を決定しているほか、休暇が取得できる条件整備や時間外労働の削減など、職場環境の改善要求も課題として取り組んでいる。

また、労働法関連の学習活動を実施し、日常活動の強化や組織の活性化を目標に活動を継続している。

【組織の特徴】

全国一般は各県段階で単位労働組合として結成され、専門的な専従役員を配置し、労働関係の法律や団体交渉、争議指導などを取り組んでおり、日常は各地区（地域）単位での協議会を中心に、支部（職場）の団体交渉や組合員の指導にあたっている。

現在の組織形態も個人加盟を原則とし、職場毎に組合員の要求や要望を集約するため、組合員の団結の単位として支部や分会を作り、活動している。

加盟する業種は、製造業だけではなく、運輸、卸・小売、ビルメン、エルフ場、幼稚園、社会福祉、医療、その他のサービス産業など様々な業種に働く労働者で組織し、その多くは主として中小企業の労働者である。

【今後の課題】

中小企業に働く労働者の生活と権利を守るため、未組織労働者の組織化、労働相談活動、平和運動など、地域におけるさまざまな課題に対して、積極的に取り組みを進めている。

これらの取り組みを通じて、地域労働運動の運動強化と中小労働運動のさらなる前進にむけ、組織全体での取り組みを強化していく。

【役員紹介（四役）】

執行委員長	小林 繁幸（山野印刷支部）
副執行委員長	菊元 隆志（甲南ユニオン支部）
書記長	西川 雅之（本部書記局 専従）
書記次長	菱田 弘樹（丸山印刷支部）



自治労" ネットワーク情報

No.164
2017. 6. 20
発行人/尾花元太郎・編集人/宮本誠之

県本部の各評議会を紹介②

障害労働者評議会

【評議会の紹介】

障害者が快適に働き続けられるよう、障害者差別の撤廃と人権確立、あらゆる障害に対応出来る社会の実現や、障害者・重度障害者等の雇用の拡大をめざしている。また、障害者が安心して働き続けられるように、各ブロック・単組の障害者職員組織強化、連携を図るため評議会が主体となり取り組んでいる。

【評議会の目標】

現在の評議会の幹事会体制は、議長以下6人の幹事・特別幹事で構成されているが、なかなか結集出来ていない。各種課題や情報共有をするため、各単組の協力が得られるようオルグを実施し、評議会体制を充実させることが第一の目標としている。



【現在行っている取り組みや課題など】

兵庫労働局に対し「障害者雇用の推進に向けた要求書」を提出し、毎年春開期に交渉を行っており、「自治労障害労働者全国連絡会総会」、「近畿連社会福祉評議会」、「平和・人権・環境の集い」、「障害者春闘」など上部団体や民間団体の集会等に積極的に参加し、課題や情報の共有に努めている。

また、各単組向けに、「電話・フリップス・e-mail相談」を実施し、8月に各単組オルグを実施し、各単組の障害者職員の状況確認を行い、評議会への結集と9月に開催する「自治体に働く障害労働者のつどい」への参加を呼びかけている。

課題として、障害者職員の現状や人数を把握していない単組もあるため、まず、各単組の執行部に理解してもらい、障害者職員の組織化を目標として働きかけることが重要となっている。そのため、オルグや「自治体に働く障害労働者のつどい」を通じて情報交換や交流を深めることで、協力しあい評議会体制の強化や運動の強化を図らなければならない。

衛生医療評議会

【評議会の紹介】

病院や保健所などで働く職員で構成。県本部衛生医療評議会へは29 申組が結集しており、この内病院は35、診療所12、組合員数は約1 万8800 人である。

【活動状況】

地域フロッグ等から選出された幹事で構成され、学習会・市民アピール活動・総会などを取り組んでいる。

夜勤交替制勤務による過重労働のため、離職が止まらない看護職の課題や、地域人口の減少と社会保障費削減施策に伴う病院の再編統合や、運営形態の変更に伴う労働条件の引き下げに反対する取り組みを進めている。

今年3月5日の病院集会では「本当のチーム医療は、お互いの役割を知ること」について、講演と交流会を行った。また、5月7日のチアーズアクションでは、「地域医療の確保と共に働き続けられる職場を作ろう」と話し合い、指定管理制度の導入が懸念される川西病院の課題を市民に訴えた。

8月5日開催予定の総会では、城西大学の伊関友伸さんから「地域医療と職場の確保」と題した講演を受け、学習と意思統一をする予定。



【今後の課題】

- ① 地方自治体の財政悪化を背景とし、地域医療構想の策定や病床機能報告に運動して進む公的病院の官民間わなない統合再編に対する取り組み
- ② 事務・医療技術・看護・介護・補助業務・病院食など多くの職種の役割を知り、尊重し合える職場づくりをめざし、学習と交流を深める
- ③ 労基法や労組法など、基準となる法規を学び、交渉力を強化できるよう取り組む
- ④ 途中採用者など多様な価値観や経験を有する職員の増加を踏まえて、新採用者・未加入者の組合加入を促進する

【現在の幹事会体制】

議長代行	藤田 勝也 (加西市職)
副議長	米田 正樹 (八咫病院職組)
事務局長	澤本 明 (兵庫県職労)
幹事	前田祐太郎 (神戸市役)
幹事	山根 正也 (伊丹病院労組)
幹事	中村 圭一 (三田市職労)
幹事	愛甲 大洋 (川西病院労組)
幹事	名郷 勝彦 (加東市職労)
幹事	平山 春樹 (明石市立市民病院労組)
幹事	斉藤美由紀 (豊岡病院労組)
幹事	松丸 重子 (伊丹病院労組)
幹事	白居 和浩 (伊丹病院労組)

自治体いっしょ ネットワーク情報

No.165
2017. 6. 23
発行人/尾西亮太郎・編集人/宮本誠之

県本部の各評議会を紹介③

青年部

【評議会の紹介】

青年部は、部長1名、副部長3名、書記長1名、各フロッグから選出された常任委員で組織している。

個性豊かな仲間が集まり開催する常任委員会は、形にとらわれることなく様々な意見を活発に交わし青年特有の課題に取り組んでいる。

各種活動は女性部と連携しながら若者ならではの発想力と一ひねりを加え、組合活動の楽しさを追求し、学習と交流を繰り返し実施することにより次世代を担う活動家の育成にも力を注いでいる。



【役員の紹介】

部長	： 安井智士
副部長	： 岩田真幸、喜田啓義、上田裕司、
書記長	： 北村望
常任委員	： 竹野佑、大前愛美、藤原祥悟
	相田浩希、角元優生、野津智哉、
	衣川翔太

【評議会の目標】

- ・安心して定年退職を迎えられる当たり前の職場をみんなで作りに上げること。
- ・誰もがより良い仕事ができる環境をみんなで作りに上げること。
- ・学習と交流を通して働く者の見方・考え方を確立すること。
- ・次世代を担う活動家を育成すること。

【現在行っている取り組みや課題など】

地域や職場での人間関係の希薄化は全国的に深刻な状態にある。多忙な業務に追われ仲間と関わる時間が無い、分からない事はネットで調べる、書類はメールで提出するなど、人と人が交わる機会が少なくなっている。

組合活動の原点は仲間づくりだと考えている。

精良な行動も仲間との団結力が弱ければ取り組みは広がらない。

青年部では職場の人員不足や人事評価制度の導入による組織弊害や中途採用者の処遇など、様々な問題の解決に向け、学習により知識を高める事も重要だと考えるが、それ以前にとりくみの拡散や浸透を考えると、職場や単組、地域、フロッグを超えた広域な仲間づくりや連携・連帯の強化が重要と考えている。

その第一歩のとりくみとして、今夏7月31日から8月1日にかけて、「ひょうご青年女性大交流会 in あわじ島」を開催する。交流に特化したとりくみを繰り返し実施することにより各種集会や学習会を活性化させていく。

公営競技評議会

【公営競技評議会とは】

私たちは公営競技場で働く従業員と審判等に従事する職員の労働組合。
一般的には公営ギャンブルと言われているが、老若男女が楽しめる場を提供できるように努めている。競馬は県が、競艇は尼崎市と伊丹市が主催している。

【役員紹介】

議長 鎌浦 利恵 (尼崎競艇労組)
事務局長 松本志洲代 (阪神公営競走労組)

【評議会構成組織】

- ・尼崎競艇労組
- ・日本モーターボート競走会兵庫県支部
- ・阪神公営競走労組 (園田姫路競馬)



【活動】

- ・幹事会 (年2回程度)
- ・春闘学習会 (単組執行委員・代議員)
- ・県本部オクルズ (春闘・年末)

それぞれ開催日が違うため、他評議会のような統一行動は難しいが、近畿地連や全国規模の交流集会等で、情報を共有している。

兵庫県には競輪場はないが、全国的には競輪の身分保障で紛糾している。幸い私たちは、社会保険や雇用保険も適用されているが、賃金や待遇では日々雇用のままでは不安定であることには違いない。

最後に、尼崎競艇、園田競馬には会議室もあり、会議の後に楽しんでいただけよう、場所を提供しており、ぜひご連絡いただき、レクレーションとしてもお使いいただきたい。



兵庫県知事選挙

投票日は7月2日、必ず投票に行こう!

兵庫県知事選挙が、6月15日告示された。

今回の知事選挙へは4人の候補者が立候補しているが、自治労兵庫県本部は連合兵庫の要請を受け、現職の井戸敏三さんを5月8日の第8回執行委員会で推薦決定している。

県本部は、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて井戸敏三さんに期待している。

しかしながら、今後の県政を決める大切な選挙だが、過去の投票率は決して高くない。

投票日は7月2日。残された期間はあとわずか。最後の最後まで、ご家族・知人・友人に周知徹底をお願いする。とりわけ選挙事務に従事する組合員は不在者投票を実施し、投票もれないようご注意ください！



6月13日には森薩県本部委員長(写真右)より井戸知事へ推薦決定書を手渡した

自治労会" ネットワーク情報

No.166
2017. 6. 27
発行人/尾花亮太郎・編集人/宮本誠之



自治ひろし ネットワーク情報

No.167
2017. 6. 29
発行人/尾西亮太郎・編集人/宮本誠之

県本部の各評議会を紹介④

社会福祉評議会

【役員の紹介】
議 長 内海 千寿 (姫路市職)
副 議 長 後藤 伸嘉 (加西市職)
事務局長 長谷 敬大 (神戸市役)

【組織と構成】
生活保護、老人保健、介護保険等で働く行政職員、保育職場 (保育士・保育教諭・保育所調理士)、幼稚園職場 (幼稚園教諭)、社会福祉事業団 (障害者施設等の支援員等)、社会福祉協議会 (社会福祉士・ヘルパー・ケアマネジャー)、民間関連協議会に属する介護職場等、社会福祉に関係するすべての職場に働く組合員等、非常に多くの職種から構成されている。

【目的】
県下市町の住民福祉の向上をはかるため、職員の賃金労働条件の改善と均衡をはかる。



【経過と今後の課題】

社会福祉評議会では各部会制を敷いていたが、現在、保育部会のみ活動になってしまっている現状にある。

保育部会では毎年 6 月に「保育を考えるつどい」を開催し、保育士・保育所調理士・幼稚園教諭・学童保育支援員など約 300 人が結集している。労働条件改善に向けた分科会や保育実践に繋げる分科会等で、それぞれ取り組み報告を発表し意見交換などを行っている。

また、社会福祉職場で働く組合員の課題や悩みなどの意見交換する場を作る中から社会福祉評議会の運動強化を進めていかなければならないことから、県本部内福祉関連単組、福祉関連職場で働く組合員の学習と交流の場とするとともに組織拡大に向けた取り組みとするため、今年度「2017 兵庫県本部福祉集会」を開催することとした。未組織組合等についても参加を呼びかけ、自治労加盟に向けた取り組みを強化していく。

公営企業評議会

【評議会の紹介】

安心・安全な水道水の供給や災害時の対応など市民サービス水準の維持のため、水道・下水道職場で働く労働者の労働条件の改善に向けた取り組みを行っている。

【県本部公営企業評議会 4 役体制】

議 長 甘中 章二 (明石水労)
副 議 長 藤田 直樹 (神戸市職労)
副 議 長 郷田 征男 (西宮水労)
副 議 長 吉谷 藤昭 (豊岡市職労)
事務局 長 三宅 一茂 (宝塚市職労)
事務局次長 堀 信史 (神戸市役)
事務局次長 中谷 智幸 (姫路水労)

【現在行っている取り組みや課題など】

7 月の自治労安全衛生月間は、各ブロック公企評によるモデル職場安全点検を行い、単組労安の重要性を訴える。

8 月 1 日～7 日の自治労「第 33 回水週間」では、公企評と平和・人権・環境委員会の共催により 8 月 3 日に「水と親しみ、水を考えるツアー」を丹波市で行う。そして、単組の組織強化するために、自治労総体の水週間を活用して「塗り絵コンクール」への参加と、阪淡 B 水道部会は 7 月 26 日に阪急西宮北口駅前で「きき水」などの街頭宣伝活動に取り組む。

【評議会としての課題】

課題として、県下ほとんどが中小自治体であり、退職者不補充や定員管理により、少人数で水道・下水道職場を運営している職場実態にある。公企評運動に結集が出来ていない単組も多くある。その為、公企評未結成の解消、特に播磨ブロックでは公企評の再構築に向けて、全単組の結集に取り組む。



県本部の各評議会を紹介⑤

現業評議会

【評議会紹介】

現業評議会は、直営堅持を柱に、現業労働者が、住民ニーズを把握し、安全・安心な公共サービス維持・向上、不安を覚えることなくやりがいをもって働き続けられる現業職場の確立へむけ取り組みを行っている。また、清掃部会、学校部会、一般現業部会ではそれぞれの専門的な諸課題解決への取り組みを行っている。

【役員紹介】

議長	長谷川克彦 (神戸市 従)
副議長	神戸 一 (兵庫県職労)
同	岡邊 賢二 (宝塚市職労)
同	泉 恵介 (丹波市職労)
事務局 長	吉田 秀夫 (明石市職労)
事務局次長	村上 誠 (尼崎市職労)
同	時本 昌明 (加東市職労)
同	足立 道昭 (豊岡市職労)
同	青木 慎吾 (県 本部)

【課題解決にむけて】

国・政府が推し進める骨太方針での「トッパンナー方式」の導入では全ての現業職員が携わる業務が含まれ、自治体では委託等を選択せざるを得なくなるような総務省からの助言が強められている。2015年自治労組織基本調査で兵庫県下での現業組合員数は5923人と2013年の前回調査から794人減員の結果となっている。

現業評議会では人員削減・新規職員の採用停止・非正規職員の増大、清掃・学校給食などの民間委託化、現業賃金の見直しなど全面的な合理化の実態や取り組みの交流から、要求―交渉―妥結（書面化・協約化）の交渉サイクルの確立をめざし10月期の現業・公企統一闘争を取り組んでいる。

現業・公企統一闘争で現業労働者が持つ権利を活用した交渉を全単組が取り組むことが各産別闘争の交渉・闘争サイクル確立の礎となることは確かであることから2017現業・公企統一闘争を全力で取り組む。



2017 県本部現評議会・各部会集会を開催します
8月4日（金）～5日（土） 舞子ピラ

女性部

【評議会紹介】

女性部は、年代、職種を超え、全ての女性組合員で構成されている。青年部と活動をともにすることが多く、賃金学習や交流会・平和活動などを合同で行っている。また、臨時職員としてはたらく仲間に女性が多いことから、毎年12月頃に臨職評と合同で学習会を開催している。



【役員紹介】

部長	藤原 潤子 (明石市職労)
副部長	川上 久美 (豊岡市職労)
書記 長	前垣 志穂 (八鹿病院職組)
常任委員	平林 佳代 (社保労連)
同	船津 友絵 (国保労組)
同	早川 敦子 (神戸市職労)
同	志方千香子 (神戸市従)
同	志智 恭子 (洲本市職労)
同	中野真由美 (加古川市職労)
同	中野 優子 (朝来市職労)
同	小林 由佳 (篠山市職労)

【女性部の目標】

本部女性部が進めている「結集しても、出席しても、年をとっても、安心して働き続けられる職場・社会をつくろう」をスローガンに、賃金や昇任・昇格、性別役割分業に基づいた差別などを点検し、女性自らが主体的に学び、交流し、行動し、支えあう場として運動を進めている。



【現在おこなっている取り組み課題】

女性が結婚しても年をとっても定年まで健康で安心して働けるよう、女性の労働権確立に向けた総点検・総学習・総実践の運動を行っている。毎年1～3月の自治労女性部の「女性のはたらく権利確立運動強化月間」には、生休年休アンケートや県市町振興課交渉を実施している。

オルグでの職場訪問や、定期総会等で分散会を開催して「女性の声」の聞き取りをし、そこで得た意見を元に、市町振興課に「はたらく女性の状況を訴え改善を行うよう」申し入れを行っている。生休年休アンケートは結果をまとめ、常任委員会で総括し各単組に配布している。

また、毎年臨職評と合同で学習会を開催し、正規・非正規問わず女性が働き続けられる職場をめざし、学習・交流を重ねている。



【参加要請等（集会、総会、学習会、勉強会など）】

7/30～31 ひょうご青年女性大交流集会inあわじ島（日～月）
8/11（金・祝） 県本部拡大青年部・女性部長会議
9/9（土） 県本部女性部第21回定期総会（予定）
12/16（土） 女性部・臨職評合同学習会（予定）

自治体

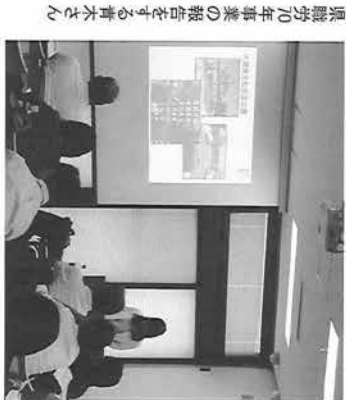
ネットワーク情報

発行 自治労兵庫県本部
書記長/尾西亮太郎 編集人/宮本誠之
No.169
2017.7.18

沖縄視察を契機に平和を考える

平和・人権・環境を考える集い分科会報告

姫路市内で開催した第20回平和・人権・環境を考える集いでは、3つの分科会で議論を深めた。県本部沖縄視察団を単組の取り組みにかかっている事例や、定住外国人と接する機会の多い自治体職員の問題などを考えた。また姫路平和資料館の視察も行い、平和行政の役割を学んだ。



県職労70年事業の報告をする青木さん

第1 平和・人権を地域で取り組む

単組で沖縄参加者の報告集を作成

第1分科会は、「平和・人権を地域で取り組む」をテーマとして、記念講演講師の高良敏美さんをお迎え、県本部役員を含めた32人の参加を得て、平和・人権といった課題を労働組合が地域や職場で担っていくための意見交換を行った。

はじめに県本部が毎年開催している沖縄視察団を県職労結成70周年事業として取り組んだ同労組の青木久美子さんから報告を受けた。青年層を中心に参加を募り、16人で参加したこと、報告集を作成し全体の集まりで報告したことを説明した。県職労結成70周年事業として取り組んだ同労組の青木久美子さんから報告を受けた。青年層を中心に参加を募り、16人で参加したこと、報告集を作成し全体の集まりで報告したことを説明した。年度の評価会の取り組みを、第17次沖縄視察団への参加をきっかけに結成された宝塚市職労三線サー

クル「はいゆじ」のメンバーは、三線の演奏を行った。意見交換の中では、安倍政権の憲法9条の改正に異議を唱える発言も見受けられた。「平和なくして人権なし」という強いメッセージも発せられ、参加者には平和と憲法について考える機会となった。

第2 在日外国人支援の現状と課題

行政と支援者の連携が重要

西播磨地域には、たくさんの外国人が住んでいる。しかし、生活、教育、労働、医療などの様々な面できちんと行政サービスや問題解決に結びついていない現状がある。

また、それを支援する支援者や団体も不足している。分科会では、この地域（西播磨）における在日外国人支援の現状と課題について議論した。

外国人支援の現状を学んだ

元神戸市職員でNGO外国人支援ネットの青木部（はしもと かおる）さんには、日本における外国人の社会保障と福祉について制度面からお話をいただいた。



県本部 第20回平和・人権・環境を考える集い 分科会報告

日本のほとんどの社会保障制度は「内外人平等」の原則によって、在住外国人にも同じとされている。短い時間だったが、憲法25条の生存権について「国民」と表現されている問題と公務員の通報義務についても解説していただいた。

外国人支援NGOのひめじ発世界代表の高嶋俊男さんからは、西播磨地域における外国人支援ボランティアの現状について事例を紹介いただいた。今回は自治労の組合員だけでなく、地域の支援者の方々も参加され、事例についても共有できたことで、外国人ケースには専門職と外国人支援者の連携が不可欠であるという方向性を実感することができた。

第3 フォーカスポーク 姫路平和資料館

姫路空襲の被害、戦中の暮らしを伝える

第3分科会は、フォーカスポークとして姫路平和資料館を視察した。事前の意思統一では、青年部の安井智士部長が反戦平和の火リレーなど、地域で取り組む平和運動について報告。その後、マイククロスバスで資料館に移動した。

この姫路資料館は、1985年3月の市会等で「戦争に関する資料館を建設してはどうか」との声を足がかりに、1996年4月に開館となった。姫路平和資料館館長より、「1945年6月22日姫路市、川西航空機（株）を中心に爆弾による空襲を受けた。目標物である川西航空機の工場は全滅の被害を受け、付近の民家等が破壊され罹災面積は比較的小



さいにもかかわらず、被害は甚大であった。また、翌月の7月3日深夜から市街地の全域に亘り、焼夷弾による攻撃を受け、総戸数の40%が消失した」と、2回の姫路空襲について説明を受けた。

その後、資料館を見学し当時の様子、空襲の疑似体験など戦争の怖さを実感した。



平和資料館長の説明を受けた①手樹山中中央公園にある慰霊の碑

憲法という希望

木村草太さん講演会

9月5日(火) 午後6時オープンニング
6時30分開会
丹波の森公苑ホール

入場料：前売り800円、当日1000円（全席自由）



木村草太さん講演会実行委員会
TEL 0795-73-3869
FAX 0795-72-3839
E-mail southsan28@gmail.com

自治ひょうこ ネットワーク情報

No.170
2017. 7. 18
発行人/尾西亮太郎・編集人/宮本誠之

県本部の各評議会を紹介⑥

臨時・非常勤職員等評議会

【臨職評とは】

自治体で働く臨時・非常勤等職員は基幹的・恒常業務を正規職員と共に担っている。

私たち臨職評は、賃金・労働条件や雇止め等の問題を抱えた仲間がいれば、みんなで一緒に相談し、解決に向けて明るく元気に運動している。

【結成の歴史】

臨職協は、1980年12月に「差別撤廃」「働く者としての権利確立」をスローガンに6単組で結成され、1994年に協議会から17単組で臨時・非常勤職員等評議会に改組し、現在46単組約2,300人の組合員が結集している。

【取り組み】

偶数月に幹事会、9月に定期総会を開催。10月に調理員交流会、1月に全単組幹事会及び学習合宿を行い、それぞれの単組の問題解決に向けて交流している。6月には対県交渉を行い働く実態を県に訴え、各市町への助言を求めている。また、女性部との合同学習会や保育を考える集いに参画し、正規職員と抱える課題を共有している。更に、県パートナーネットワークの運営委員や、働く女性の交流集会の委員を担い、民間労働者と共に活動に参加している。

その他、兵庫県内での活動はもとより、近畿地連や全国協議会へも幹事を選出し、集会等に積極的に参加し、先駆的活動を担っている。

【今後の課題】

臨職評に結集する単組は、正規職員組合との連携や粘り強いたたかいの中で労働条件の改善に取り組み、一定の雇用の安定が図られてきた。しかし、組織率は低く、法の谷間に置かれているため劣悪な労働条件はなかなか改善されなかったが、今年5月の国会において待たに待った地方公務員法・地方自治法が改正され、任用根拠や手当支給等の法制度が整備された。2020年4月施行に向けて条例化等、正規職員の協力を得ながら運動を進めていく必要がある。今後は、制度移行時に雇用や処遇が不安定になるおそれもあり、また、私たちの意見を反映させるためにも組織拡大・強化していく運動がますます必要となるため、みんなで一致団結して頑張る。

【役員紹介（四役）】

議長	前田 克子（明給労）
副議長	酒井 美幸（伊丹市職労）
同	木南 典子（佐用ひまわり労組）
同	西村 聖（八鹿病院職組）
事務局長	山本三千子（加東市監職労）
事務局次長	上原みゆき（尼崎市嘱託労）
同	本田さとみ（猪名川町臨職労）
同	古角智子（加西市ユニオン）
同	西岡喜久子（新温泉町職労）



公共サービス民間労働協議会

【公共サービス民間労働協議会（公共民間協）とは】

「公共」の職場で働く「民間」労働者が結集。公共民間協は、国保連合会、市町村共済の各種団体、自治体外郭団体や自治体業務の受託会社、スポンサー施設・公園等の施設管理、公共宿泊施設、高齢者・障害者福祉事業等の民間法人で働く労組や公共サービスで働く個人加盟ユニオンで組織された労働組合が結集している。

【公共民間職場の課題と協議会の活動】

公共民間職場は、自治体業務の外化に伴い増加していますが、労働組合の組織率は低く、労働条件活動の歴史が浅い単組が多いため、賃金・労働条件は、労働運動の歴史の長い公務員労組に比べて低い現状にある。また、指定管理者や業務受託で働く組合員の雇用確保、労働条件確保は、自治体の公契約制度に大きな影響を受けざるを得ない。

公共民間協単組は、職種や雇用形態も様々で、協

議会の活動は、各単組の取り組み交流、学習活動が中心となっている。これまで春闘期には、学習会を開催し、「ハラスメント対策」「過重労働解消」等の統一要求を行い、幹事会学習では、基本的な労働関係法令の学習に加え、「平和」「人権」といった課題にも視野を広げる取り組みを行っている。

総会時には家族も参加できるレクレーションを行い、交流を深めています。今後は、労働条件確保、雇用安定に向けて公契約条例制定に向けて、自治体単組との連携をさらに深めていくことが求められている。

【役員紹介】

議長	大野 敏隆（尼崎市環境財団労組）
副議長	大政 章（国民労組）
事務局長	津村 崇夫（みのり労組）



神戸ハーバーランドの「8時間労働発祥の地の碑」で

県本部の各評議会を紹介⑦

都市公共交通評議会

【評議会の紹介】

旧「日本都市交通労働組合（都市交）」が自治労に統合して4年が経過した。

兵庫県本部では本部組織統合と同時に「都市公共交通評議会（都市交評）」を立ち上げ、現在は神戸交通労組、伊丹交通労組の2単組で評議会を運営している。

都市交評では、公共交通施策が自治体における公共サービスの重要な位置を占めていることを訴え、公共交通施策の充実を柱とした、新たな自治体交通政策の確立と実現を目指している。



キャンペーンではボクシングウェアを配布

【評議会役員】

議長	長	五百旗頭 英裕	（神戸交通労組）
副議長	長	當野 博昭	（伊丹交通労組）
事務局長		加地 幸夫	（神戸交通労組）
幹事		藤崎 真二	（神戸交通労組）
〃		西田 太郎	（伊丹交通労組）
事務局		青木 慎吾	（県本部執行委員）
〃		山中 一徳	（県本部書記）

【評議会の取り組み】

旧都市交時代から、毎年4月と10月を統一行動期間として「安全・安心・信頼の一声運動」を実施、公共交通・地域公共交通の必要性や利用促進のPRを中心に取り組んできた。

今後は、この取り組みを発展させる目的で、政策制度要求課題の解決に向けて、県本部各単組、国・県・市など行政、交通事業者などへ広く訴えていくこととし、新たに「くらしをささえる地域公共交通確立キャンペーン」の取り組みを確認、年間闘争サイクルとして確立させていく事とした。

「誰もが、いつでも、どこでも移動できる地域公共交通」を確立していくため、利用者や住民と協働した運動を進めていく。

自治ひょうこネットワーク情報では7回にわたり、県本部に設置している各評議会を紹介した。

全部で14の評議会組織がある。今回紹介できなかったが、年金・医療保険など社会保障関係職場の組合員で構成している政府関係労働組合評議会を組織している。

各評議会では、8月以降にそれぞれ定期総会が予定されており、自治ひょうこにおいて、新役員体制などを紹介する予定。

なお、各評議会独自の署名活動や集会への参加については、積極的な参加とご協力をお願いします。